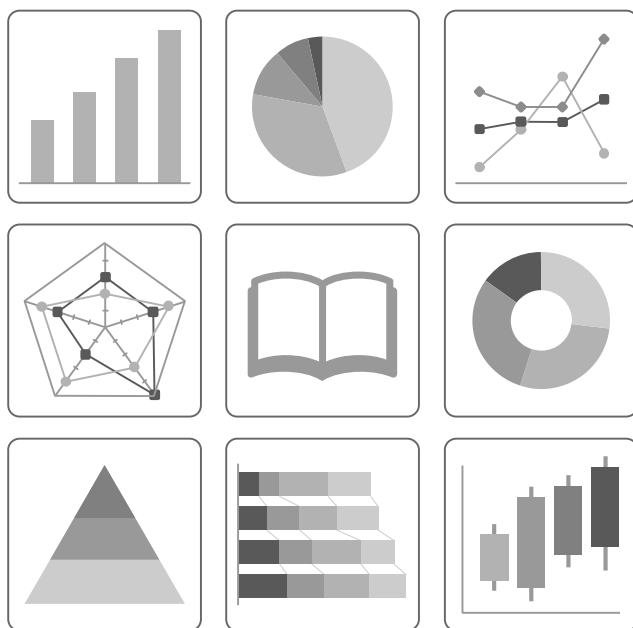


向日市

子ども・子育てに関するアンケート 調査結果報告書



令和元年 7 月

向 日 市

資料：1

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果の総括	2
1	子どもの育ちをめぐる環境	2
2	保護者の就労状況	4
3	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	6
4	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況	7
5	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望	8
6	お子さんの病気の際の対応	8
7	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	10
8	小学校就学後の放課後の過ごし方	11
9	職場の両立支援制度について	12
10	子育て支援対策の全般について	13
III	調査結果	14
1	就学前児童保護者	14
(1)	子どもと家族の状況	14
(2)	子どもの育ちをめぐる環境	19
(3)	家庭の食生活	28
(4)	保護者の就労状況	32
(5)	平日の定期的な教育・保育の利用状況	42
(6)	幼児教育・保育の無償化	56
(7)	地域の子育て支援事業の利用状況	57
(8)	土曜・休日、長期休暇中の「定期的」な教育・保育の利用希望	65
(9)	子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）	70
(10)	不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用	78
(11)	放課後の過ごし方（子どもが5歳以上の方のみ）	84
(12)	育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度	90
(13)	子育て支援対策全般	105

2	小学校児童保護者	107
	(1) 子どもと家族の状況	107
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境	112
	(3) 家庭の食生活	120
	(4) 保護者の就労状況	124
	(5) 放課後の様子	132
	(6) 子どもの病気の際の対応	140
	(7) 宿泊を伴う一時預かり等の利用	148
	(8) 子育て支援対策全般	150

IV	自由意見	152
1	就学前児童保護者	152
2	小学校児童保護者	154

I 調査の概要

1 調査の目的

「第2期向日市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、子育てに関する支援サービスの利用状況や利用意向を把握し、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

就学前児童保護者：向日市在住の小学校入学までのお子さんがいらっしゃるご家庭

小学校児童保護者：向日市在住の小学生がいらっしゃるご家庭

3 調査期間

平成31年4月19日から令和元年5月10日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1500通	578通	38.5%
小学校児童保護者	1000通	435通	43.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果の総括

1 子どもの育ちをめぐる環境

- ・主に子育てを行っている人について、就学前児童保護者では、「主に母親」が 53.6%で「父母ともに」が 45.5%であり、平成 25 年度調査と比較すると大きな変化はみられない。小学校児童保護者では、「主に母親」が 50.3%で、「父母ともに」が 47.4%であり、平成 25 年度調査と比較すると大きな変化はみられない。
- ・子どもをみてもらえる親族・知人等の有無について、就学前児童保護者では、64.2%の人が「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、18.7%の人が「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」環境にある。平成 25 年度調査と比較すると大きな変化はみられない。小学校児童保護者では、55.6%の人が「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、19.8%の人が「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、18.9%の人が「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」環境にある。平成 25 年度調査と比較すると、「いずれもない」が増加し、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が減少している。
- ・子育てに関する楽しさやつらさについて、就学前児童保護者では、60.9%の人が、小学校児童保護者では、55.2%の人が子育てに楽しさを感じている一方で、就学前児童保護者の 29.1%、小学校児童保護者の 29.9%が不安又は負担を感じている。

①主に子育てを行っている人 【就学前児童保護者：問 6、小学校児童保護者：問 6】

就学前児童保護者では、「主に母親」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 45.5%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられなかった。

小学校児童保護者では、「主に母親」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 47.4%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられなかった。

②子どもをみてもらえる親族・知人等の有無

【就学前児童保護者：問 9、小学校児童保護者：問 8】 ※複数回答

就学前児童保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 18.7%、「いずれもない」の割合が 15.4%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられなかった。

小学校児童保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 19.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 18.9%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加し、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少している。

③子育てに関する楽しさやつらさ 【就学前児童保護者：問 9-3、小学校児童保護者：9】

就学前児童保護者では、「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 60.9%、「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」をあわせた“不安又は負担を感じる”の割合が 29.1%となっている。

小学校児童保護者では、「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 55.2%、「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」をあわせた“不安又は負担を感じる”の割合が 29.9%となっている。

④子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無

【就学前児童保護者：問 10、小学校児童保護者：11】

就学前児童保護者では、気軽に相談できる人が「いる／ある」の割合が 93.3%、「いない／ない」の割合が 6.1%。

小学校児童保護者では、気軽に相談できる人が「いる／ある」の割合が 89.2%、「いない／ない」の割合が 10.3%。

⑤子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先

【就学前児童保護者：問 10-1、小学校児童保護者：11-1】 ※複数回答

就学前児童保護者では、「配偶者・パートナー」の割合が 87.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 77.4%、「友人や知人」の割合が 74.4%と続く。

小学校児童保護者では、「配偶者・パートナー」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 72.7%、「祖父母等の親族」の割合が 58.8%と続く。

2 保護者の就労状況

- ・母親の就労形態の現状をみると、就学前児童保護者では、「フルタイム」が 39.0%、「未就労」が 37.6%、「パート・アルバイト等」が 22.4%となっている。平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等」は大きな変化がないものの、「フルタイム」が増加、「未就労」が減少している。小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等」48.2%、「フルタイム」28.1%、「未就労」21.9%となっている。平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム」「パート・アルバイト等」が増加、「未就労」が減少しており、就学前児童保護者、小学校児童保護者ともに保育が必要な家庭が増加していることがうかがえる。
- ・就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等」で就労している母親のうちの 6.2%は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」に回答している。また、未就労の母親の 24.4%が「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」としている。小学校児童保護者では、6.7%は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」に回答している。また、未就労の母親の 28.4%が「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」としており、潜在的な保育需要がみられ、保育・教育サービスニーズの増加が予測される。

①保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

【就学前児童保護者：問 15、小学校児童保護者：問 17】

《母親》

就学前児童保護者では、「フルタイム」が 39.0%、次いで「未就労」が 37.6%、「パート・アルバイト等」が 22.4%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム」が増加、「未就労」が減少している。「パート・アルバイト等」は大きな変化がみられない。

小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等」が 48.2%、次いで「フルタイム」が 28.1%、「未就労」が 21.9%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム」「パート・アルバイト等」が増加、「未就労」が減少している。

《父親》

就学前児童保護者では、「フルタイム」が最も多く、回答者全体の 97.7%を占める。

小学校児童保護者では、「フルタイム」が最も多く、回答者全体の 95.8%を占める。

②フルタイムへの転換希望 【就学前児童保護者：問 16、小学校児童保護者：問 18】

※就学前児童保護者の問 15、小学校児童保護者の問 17 で「パート・アルバイト等」で就労している人に限定した設問。

《母親のフルタイムへの転換希望》

就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 34.1%と続く。

小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 22.5%と続く。

＜父親のフルタイムへの転換希望＞

就学前児童保護者では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件。

小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件。

③就労していない人の就労希望 【就学前児童保護者：問17、小学校児童保護者：問19】

※就学前児童保護者の問15、小学校児童保護者の問17で「未就労」と回答した人に限定した設問。

＜未就労の母親の就労希望等＞

就学前児童保護者では、「1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が41.0%と最も高く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が28.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.4%と続く。

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか」の年齢の内訳は、2歳以下が6.7%。

小学校児童保護者では、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が38.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が28.4%、「1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が23.2%と続く。

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか」の年齢の内訳は、2歳以下が4.5%。

3 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・定期的な教育・保育事業について、「利用している」人が72.5%で、「利用していない」人は26.6%。平成25年度調査と比較すると、「利用している」人が12.1ポイント増加している。
- ・定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が60.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が48.7%と高い。
- ・定期的に利用したい教育・保育事業は、「保育所」が52.4%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」が44.6%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」が33.2%となっている。

①「定期的な教育・保育事業」の利用の有無 【問18】

「利用している」の割合が72.5%、「利用していない」の割合が26.6%。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」が増加している。

②年間を通じて「定期的に」利用している事業 【問18-1】 ※複数回答

※問18で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「保育所」の割合が48.9%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が30.5%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が12.4%と続く。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられなかった。

③平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由 【問18-4】 ※複数回答

※問18で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が60.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が48.7%と続く。

④平日の教育・保育事業の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業【問19】

※複数回答

「保育所」の割合が52.4%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が44.6%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が33.2%と続く。

4 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

- ・「つどいの広場」「子育て支援センター」など地域子育て支援拠点事業を利用している人は回答者全体の21.8%だが、「利用していないが、今後利用したい」が21.1%となっており、潜在的なニーズがみられる。

①利用している地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」） 【問 21】

「利用していない」の割合が75.3%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が21.8%。

②地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 【問 22】

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が21.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が12.1%と続く。

③子育て支援事業の今後の利用意向 【問 23】

《事業の認知度》

『①保健師や助産師による赤ちゃん訪問』『②保健センターでの「乳児健診」』『③保健センターでの「相談」「教室」』で知っている人の割合が高くなっている。一方、『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で知らない人の割合が高くなっている。

《事業の利用経験》

『①保健師や助産師による赤ちゃん訪問』『②保健センターでの「乳児健診」』で利用したことがある人の割合が高くなっている。一方、『④向日市家庭児童相談室での相談』『⑦認定こども園の園庭解放や子育て講座』『⑩府保健所の情報・相談事業』『⑪府児童相談所の情報・相談事業』『⑫子育てコンシェルジュ』『⑬利用者支援事業 すくすくガイド』『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で利用したことがない人の割合が高くなっている。

《事業の利用意向》

『②保健センターでの「乳児健診」』で利用したいの割合が高くなっている。また、『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で利用意向がない人の割合が高くなっている。

5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

- ・「定期的」な教育・保育事業の利用希望は、土曜日に「月に1～2回は利用したい」が28.5%、日曜・祝日の「月に1～2回は利用したい」が17.1%、幼稚園等の長期休暇中に「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が12.5%など、土日・休日等の「定期的な」教育・保育事業に対して、潜在的なニーズがあることがうかがえる。

①土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 【問24】

《土曜日の利用希望》

「利用する必要はない」の割合が61.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が28.5%と続く。

《日曜・祝日の利用希望》

「利用する必要はない」の割合が77.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が17.1%と続く。

②幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

【問25】 ※複数回答

※幼稚園を利用していると回答した人に限定した設問。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が48.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が33.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が12.5%と続く。

6 お子さんの病気の際の対応

- ・お子さんの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験がある人について、就学前児童保護者は80.7%、小学校児童保護者は67.8%。
- ・その際の対処法として、就学前児童保護者では67.8%が「母親が休んだ」、32.0%が「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」としており、小学校児童保護者では59.0%が「母親が休んだ」、32.9%が「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」となっている。
- ・就学前児童保護者の33.1%、小学校児童保護者の12.3%が「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答している。

①お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

【就学前児童保護者：問27、小学校児童保護者：問27】

就学前児童保護者では、「あった」が80.7%、「なかった」が13.1%。

小学校児童保護者では、「あった」が67.8%、「なかった」が31.7%。

②お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処法

【就学前児童保護者：問 27-1、小学校児童保護者：問 27-1】 ※複数回答

就学前児童保護者では、「母親が休んだ」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 32.0%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 27.8%と続く。

小学校児童保護者では、「母親が休んだ」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 32.9%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 22.0%と続く。

③病児・病後児保育施設等の利用意向

【就学前児童保護者：問 27-2、小学校児童保護者：問 27-2】

※就学前児童保護者の問 27-1、小学校児童保護者の問 27-1 で「イ. 父親が休んだ」「ウ. 母親が休んだ」と回答した人に限定した設問。

就学前児童保護者では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 33.1%、「利用したいとは思わない」の割合が 66.5%。

小学校児童保護者では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 12.3%、「子どものためには利用したいとは思わない」の割合が 85.5%。

7 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

- ・一時預かりについて、就学前児童保護者の40.5%が今後、「利用したい」と回答している。利用したい目的としては、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が73.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が66.2%、「不定期の就労」が28.6%となっている。
- ・保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による家族以外による泊まりがけの対処経験がある人が、就学前児童保護者で16.4%、小学校児童保護者で13.6%いる。対処方法について、就学前児童保護者、小学校児童保護者ともに「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も高く、就学前児童保護者では91.6%、小学校児童保護者では89.8%となっている。

①私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業【就学前児童保護者：問28】

※複数回答

就学前児童保護者では、「利用していない」の割合が80.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が11.9%と続く。

②不定期の教育・保育事業の利用意向 【就学前児童保護者：問29】 ※複数回答

就学前児童保護者では、「利用したい」が40.5%、「利用する必要はない」が47.6%。

「利用したい」理由（複数回答）としては、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が73.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が66.2%、「不定期の就労」の割合が28.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「不定期の就労」が増加している。

③保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による家族以外による泊まりがけの対処経験 【就学前児童保護者：問30、小学校児童保護者：問28】 ※複数回答

就学前児童保護者では、「あった」が16.4%、「なかった」が73.0%。

この一年間の対処方法（複数回答）としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が91.6%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」の割合が11.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると大きな変化はみられなかった。

小学校児童保護者では、「あった」が13.6%、「なかった」が82.3%。

この一年間の対処方法（複数回答）としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が89.8%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」の割合が13.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると「子どもを同行させた」が増加している。

8 小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・就学前児童保護者では、28.6%の保護者が小学校低学年のうちに「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」で過ごさせたいとしており、平成 25 年度調査と比較するとやや減少している。
- ・高学年になった時は「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」が 19.5%と低学年と比較すると低くなっている。
- ・留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）に対する利用意向を持った保護者の土曜・休日や長期休暇中の利用意向をみると、「利用する必要はない」が高くなっている。
- ・小学校児童保護者では、22.5%の保護者の子どもが放課後に「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」で過ごしているとしており、平成 25 年度調査と比較すると減少している。

※就学前児童保護者では、5 歳以上の子どもに限定した設問。

①小学校低学年（1～3 年生）のうちの放課後子どもを過ごさせたい場所等

【就学前児童保護者：問 31】 ※複数回答

「自宅」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 50.6%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が 28.6%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」が減少している。

②小学校高学年（4～6 年生）になった時に放課後子どもを過ごさせたい場所等

【就学前児童保護者：問 32】 ※複数回答

「自宅」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 59.7%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が 19.5%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少している。

③放課後子どもが過ごしている場所等 【小学校児童保護者：問 20】 ※複数回答

「自宅」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 63.4%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が 22.5%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が減少している。

④土曜日と日曜日・祝日の留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）の利用意向

【就学前児童保護者：問 33】

※問 31 または 32 で「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」を選択した人に限定した設問。

《土曜日の留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）の利用意向》

「利用する必要はない」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 12.0%と続く。

《日曜・祝日の留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）の利用意向》

「利用する必要はない」の割合が 76.0%と最も高くなっている。

9 職場の両立支援制度について

- ・母親の46.2%が育児休業を「取得した（取得中である）」と回答しており、平成25年調査と比較すると増加している。一方、父親で「取得した（取得中である）」は4.8%と変化はみられていない。
- ・育児休業を利用していない理由は、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が47.8%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が30.4%と高く、父親では「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が48.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が41.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が29.3%と高い。

①おさんが産まれた際の育児休業の取得状況 【問 35】

《母親》

「取得した（取得中である）」の割合が46.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が40.7%、「取得していない」の割合が11.9%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加している。

《父親》

「取得していない」の割合が87.4%、「取得した（取得中である）」の割合が4.8%。

②育児休業を利用していない理由 【問 35】

《母親》

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が47.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が30.4%、「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が15.9%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加している。一方、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」の割合が減少している。

《父親》

「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が48.3%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が41.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が29.3%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が増加している。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少している。

③実際の復帰と希望が異なる方の希望の時期に職場復帰しなかった理由 【問 35-5】

※問35-3で育児休業取得後、職場復帰した人で復帰時期と希望が異なる人に限定した設問。

《母親》

「希望する保育所に入るため」の割合が72.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が23.7%と続く。

《父親》

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が45.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が18.2%と続く。

10 子育て支援対策の全般について

- ・子育てに関する情報の入手手段について、就学前児童保護者では、「広報やパンフレット」が60.0%、「インターネット（ホームページ、LINE・フェイスブックなどのSNS）」が50.0%と高くなっている。小学校児童保護者では、「向日市の広報やパンフレット」が66.7%、「友人・知人」が44.4%、「保育所、幼稚園、学校」が42.5%と高くなっている。
- ・住んでいる地域における子育ての環境や支援への満足度について、就学前児童保護者、小学校児童保護者ともに、「3」が最も高く、次いで「4」が高くなっている。

①望ましい子育て支援施策 【就学前児童保護者：問36、小学校児童保護者：問29】

※複数回答

就学前児童保護者では、「保育施設の整備や留守家庭児童会等の子育て支援の取組の充実」の割合が52.1%と最も高く、次いで「子どもの健康や医療に関する取組の充実」の割合が43.4%、「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が41.9%と続く。

小学校児童保護者では、「子どもの健康や医療に関する取組の充実」の割合が54.3%と最も高く、次いで「教育環境の整備」、「交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実」の割合が52.6%と続く。

②子育てに関する情報の入手手段 【就学前児童保護者：問37 小学校児童保護者：問30】

※複数回答

就学前児童保護者では、「向日市の広報やパンフレット」の割合が60.0%と最も高く、次いで「インターネット（ホームページ、LINE・フェイスブックなどのSNS）」の割合が50.0%、「友人・知人」の割合が38.2%と続く。

小学校児童保護者では、「向日市の広報やパンフレット」の割合が66.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が44.4%、「保育所、幼稚園、学校」の割合が42.5%と続く。

③住んでいる地域における子育ての環境や支援への満足度

【就学前児童保護者：問38 小学校児童保護者：問31】

就学前児童保護者では、「3」の割合が43.1%と最も高く、次いで「4」の割合が25.1%、「2」の割合が20.1%と続く。

小学校児童保護者では、「3」の割合が43.4%と最も高く、次いで「4」の割合が25.7%、「2」の割合が18.9%と続く。

Ⅲ 調査結果

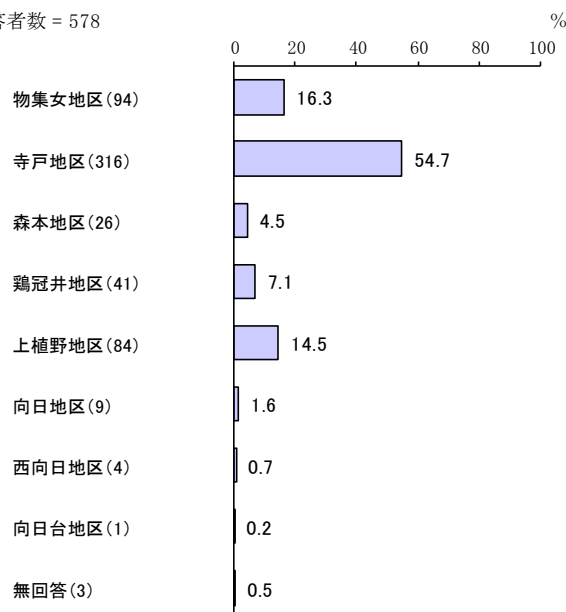
1 就学前児童保護者

(1) 子どもと家族の状況

問1 向日市には8つの自治連合区がありますが、お住まいの地区はどこですか。お住まいの地区に○をつけ、() 内に小字をご記入ください。(○は1つ)

「寺戸地区」の割合が54.7%と最も高く、次いで「物集女地区」の割合が16.3%、「上植野地区」の割合が14.5%となっています。

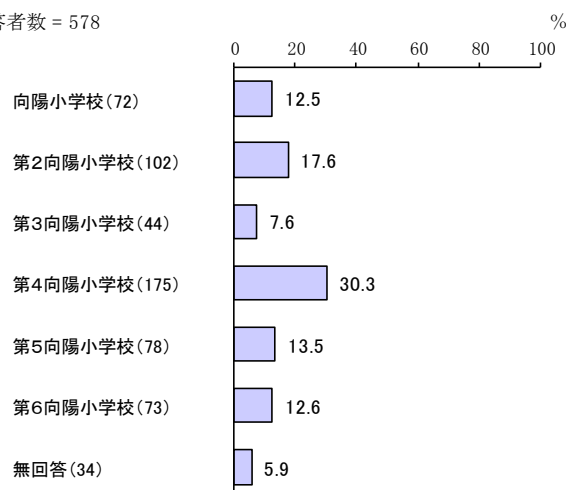
回答者数 = 578



問1-1 お住まいの地区はどの小学校区にあたりますか。(○は1つ)

「第4向陽小学校」の割合が30.3%と最も高く、次いで「第2向陽小学校」の割合が17.6%、「第5向陽小学校」の割合が13.5%となっています。

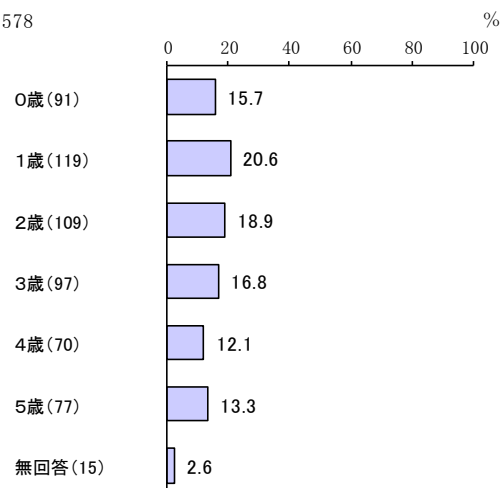
回答者数 = 578



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

「1歳」の割合が20.6%と最も高く、次いで「2歳」の割合が18.9%、「3歳」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 578

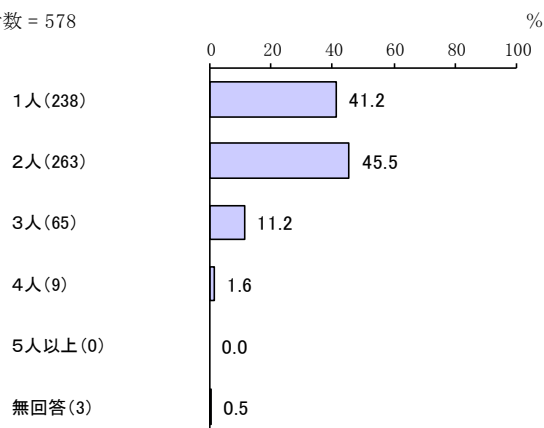


問3 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア 子どもの数

「2人」の割合が45.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が41.2%、「3人」の割合が11.2%となっています。

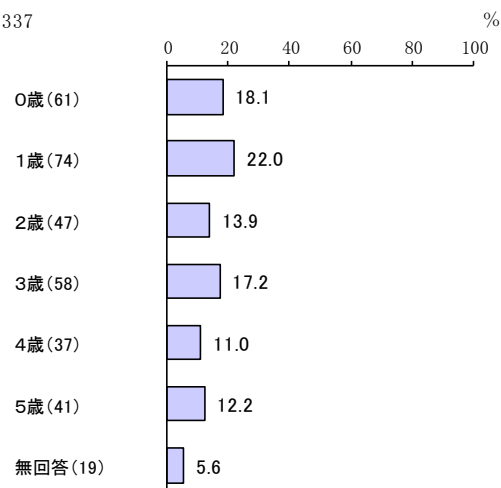
回答者数 = 578



イ 末子の年齢

「1歳」の割合が22.0%と最も高く、次いで「0歳」の割合が18.1%、「3歳」の割合が17.2%となっています。

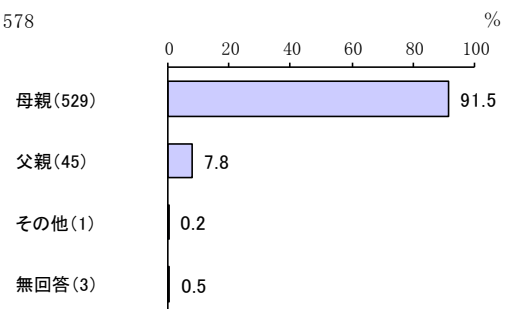
回答者数 = 337



問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

「母親」の割合が91.5%、「父親」の割合が7.8%
となっています。

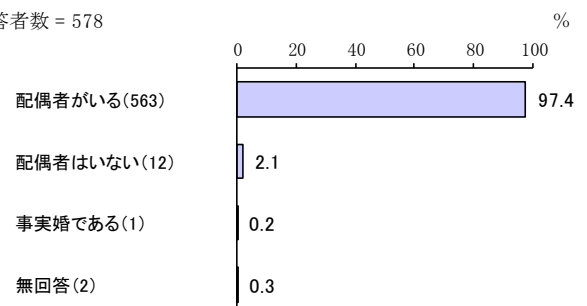
回答者数 = 578



問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が97.4%と最も高くな
っています。

回答者数 = 578

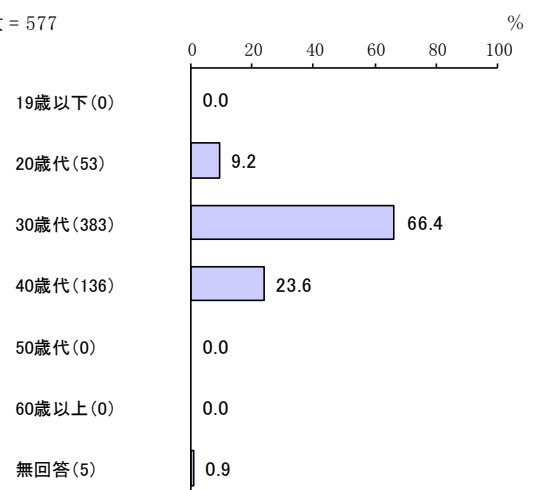


問5-1 母親、父親の該当する年齢階層に○をつけてください。(ひとり親家庭の方は、母親又は父親のみお答えください)

ア 母親

「30歳代」の割合が66.4%と最も高く、次いで
「40歳代」の割合が23.6%となっています。

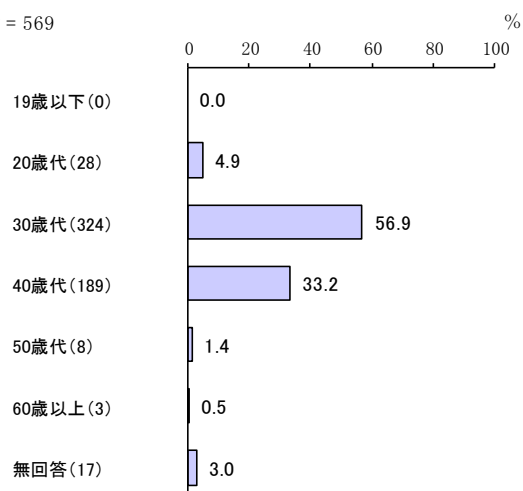
回答者数 = 577



イ 父親

「30歳代」の割合が56.9%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が33.2%となっています。

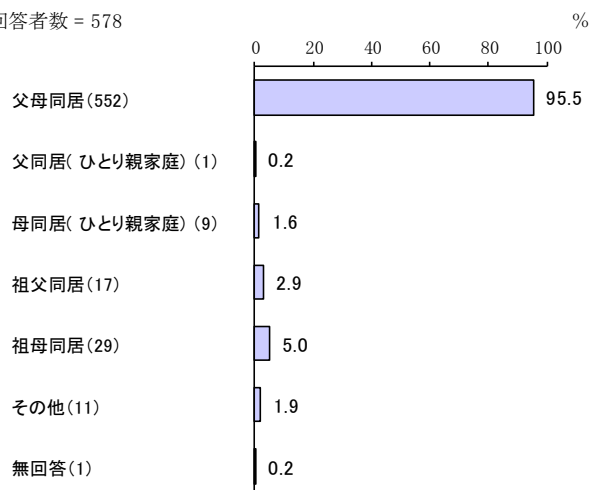
回答者数 = 569



問5-2 お子さんとの状況についてあてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可) 続柄はお子さんからみた関係です。

「父母同居」の割合が95.5%と最も高くなっています。

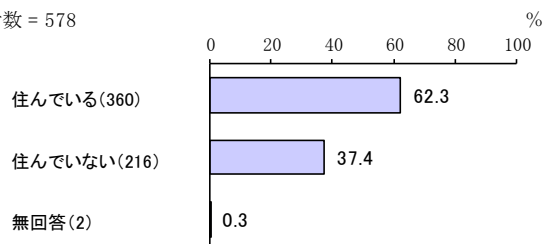
回答者数 = 578



問5-3 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号に○をつけてください。近くとは、概ね30分程度に行き来できる範囲です。

「住んでいる」の割合が62.3%、「住んでいない」の割合が37.4%となっています。

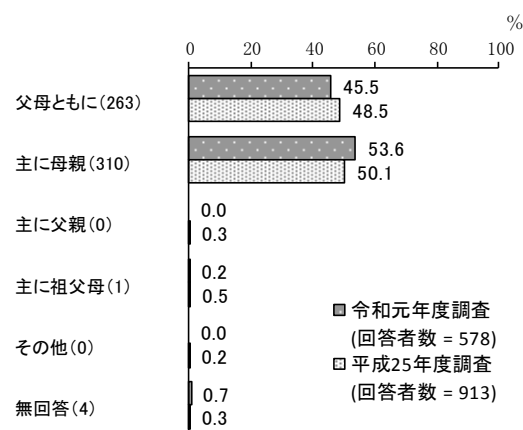
回答者数 = 578



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号に○をつけてください。

「主に母親」の割合が53.6%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が45.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

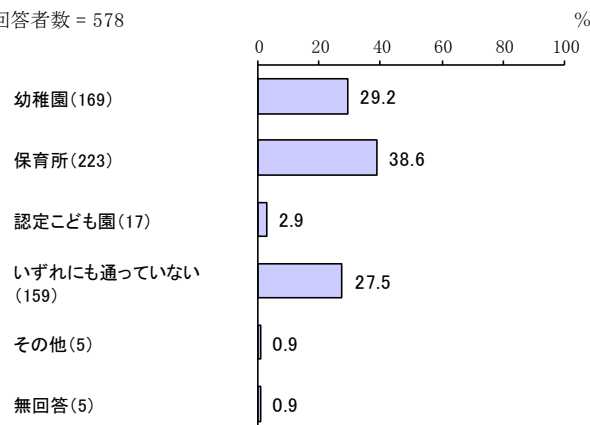


(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問7 お子さんが日常的に通っている施設に○をつけてください。

「保育所」の割合が38.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が29.2%、「いずれにも通っていない」の割合が27.5%となっています。

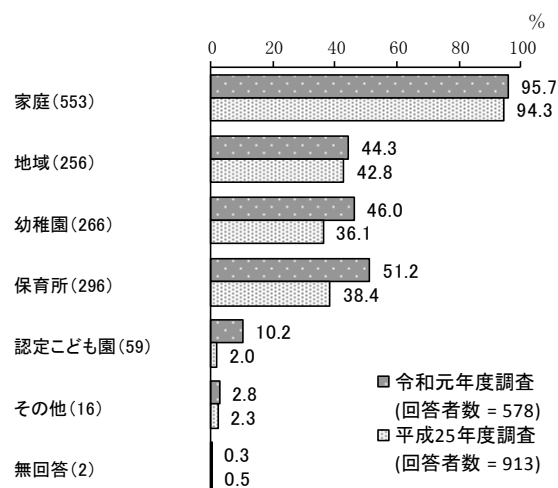
回答者数 = 578



問8 お子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境に○をつけてください。 (複数回答可)

「家庭」の割合が95.7%と最も高く、次いで「保育所」の割合が51.2%、「幼稚園」の割合が46.0%となっています。

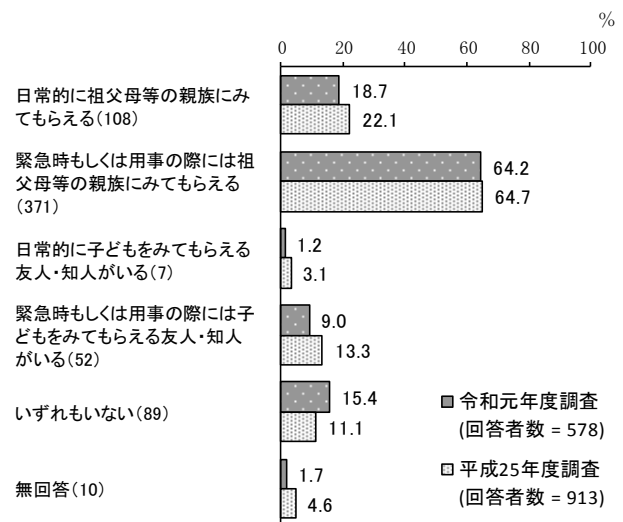
平成25年度調査と比較すると、「幼稚園」「保育所」「認定こども園」の割合が増加しています。



問 9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が64.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が18.7%、「いずれもない」の割合が15.4%となっています。

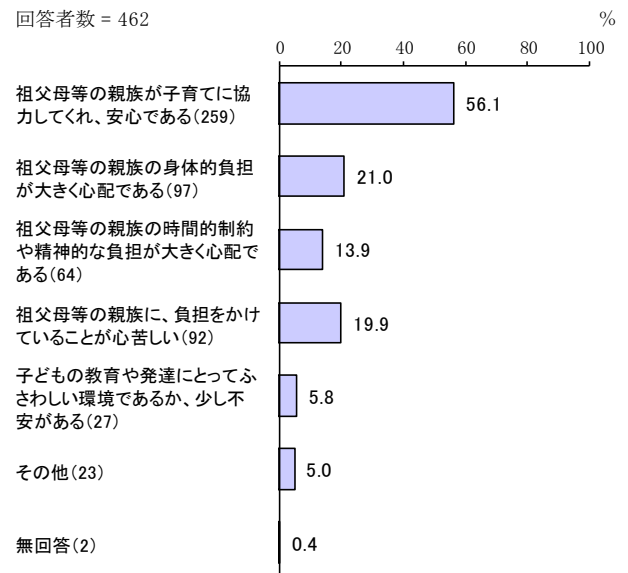
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 9 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問 9 - 1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

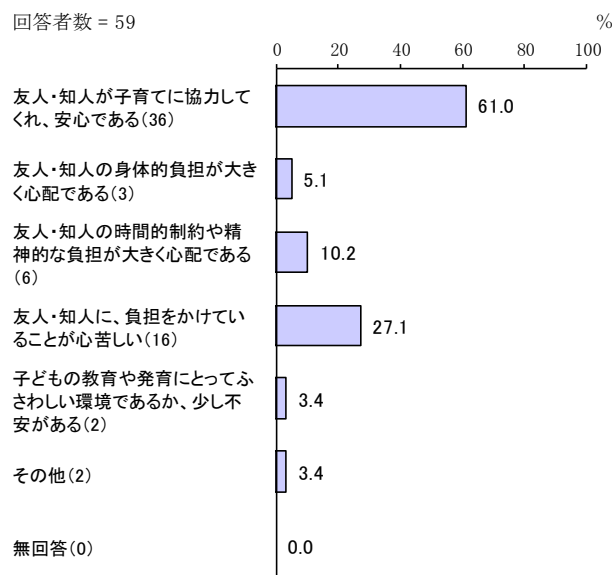
「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が56.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が21.0%、「祖父母等の親族に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が19.9%となっています。



問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

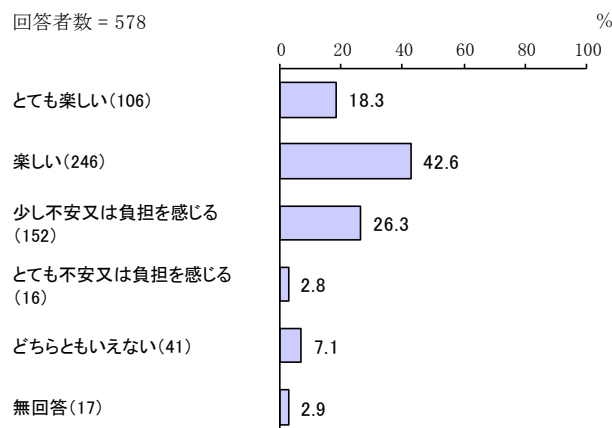
問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください（複数回答可）。

「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が61.0%と最も高く、次いで「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が27.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」の割合が10.2%となっています。



問9-3 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものに○をつけてください。

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が60.9%、「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」をあわせた“不安又は負担を感じる”の割合が29.1%となっています。

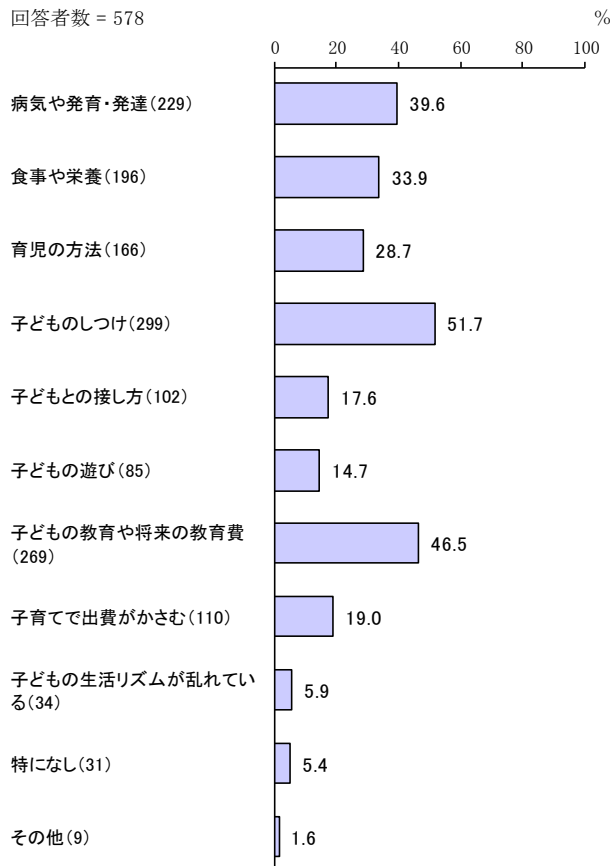


問 9－4 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、その他のことについてそれぞれ当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

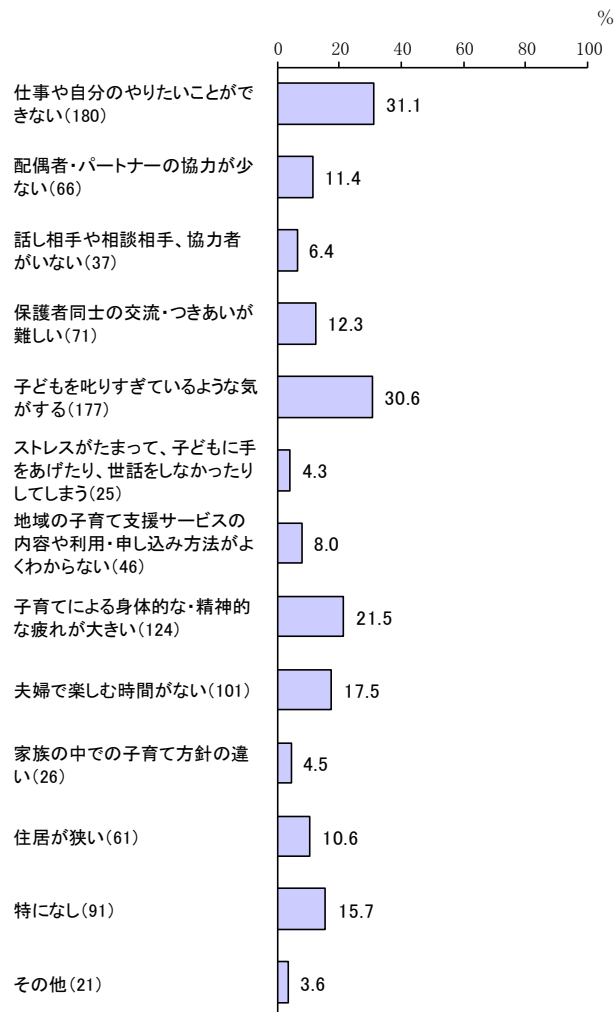
「子どものしつけ」の割合が51.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や将来の教育費」の割合が46.5%、「病気や発育・発達」の割合が39.6%となっています。

【お子さんのこと】

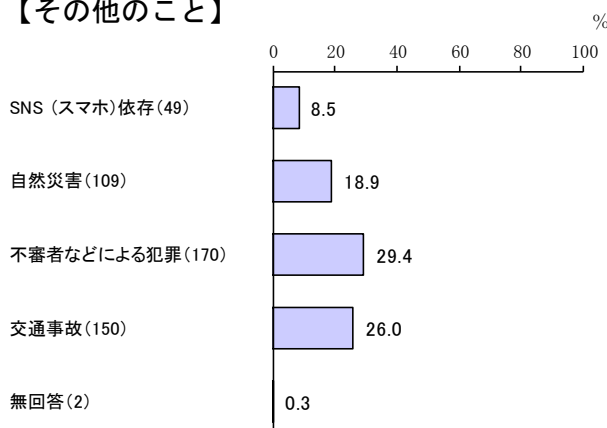
回答者数 = 578



【保護者のこと】



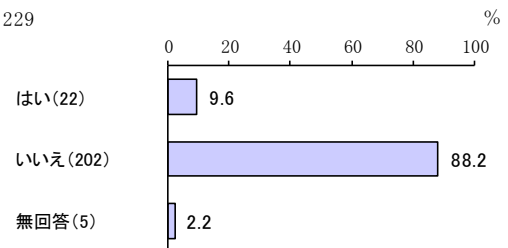
【その他のこと】



問 9-5 問 9-4 で「1 病気や発育・発達」に○を付けた方にお伺いします。
お子さんは療育を受けていらっしゃいますか。

「はい」の割合が9.6%、「いいえ」の割合が88.2%となっています。

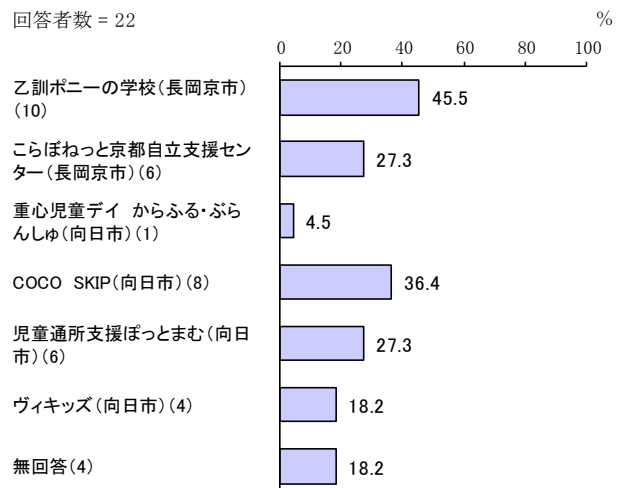
回答者数 = 229



問 9-6 (問 9-5 で「はい」と答えた方)
ご利用されている施設ならびにご存知の療育施設に○をつけてください。
(複数回答可)

「乙訓ポニーの学校(長岡京市)」の割合が45.5%と最も高く、次いで「COCO SKIP(向日市)」の割合が36.4%、「こらぼねっと京都自立支援センター(長岡京市)」、「児童通所支援ぽっとまむ(向日市)」の割合が27.3%となっています。

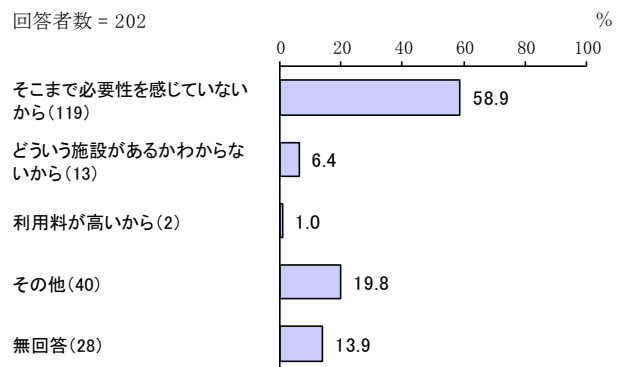
回答者数 = 22



問 9-7 (問 9-5 でいいえと答えた方)
療育を受けておられない理由は何ですか。もっとも当てはまるものに○をつけてください。

「そこまで必要性を感じていないから」の割合が58.9%と最も高くなっています。

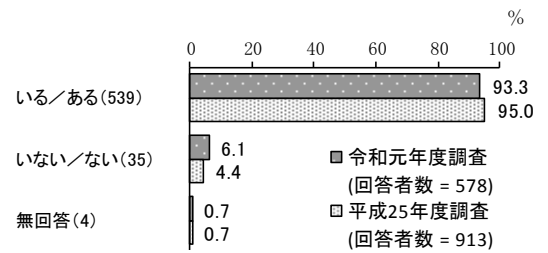
回答者数 = 202



問10 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「いる／ある」の割合が93.3%、「いない／ない」の割合が6.1%となっています。

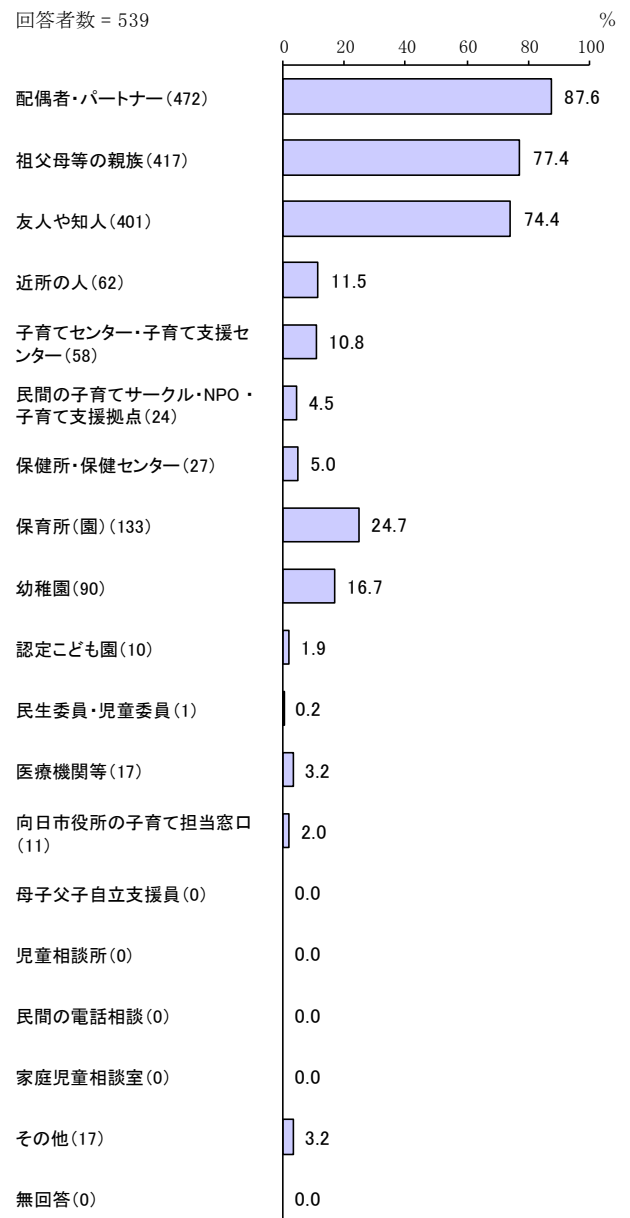
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10で「1 いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

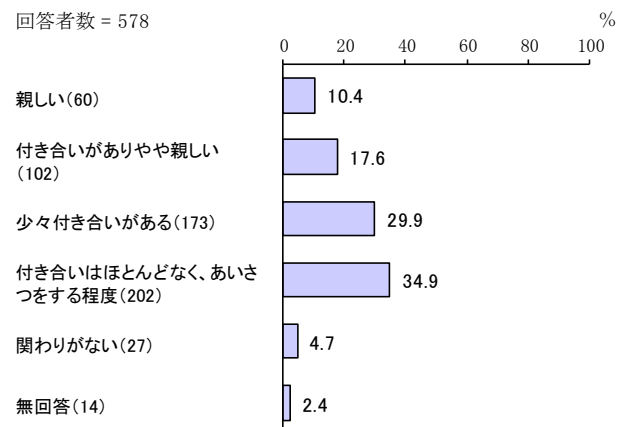
「配偶者・パートナー」の割合が87.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が77.4%、「友人や知人」の割合が74.4%となっています。



問10ー2 ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。あてはまるものに○をつけてください。

「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が34.9%と最も高く、次いで「少々付き合いがある」の割合が29.9%、「付き合いがありやや親しい」の割合が17.6%となっています。

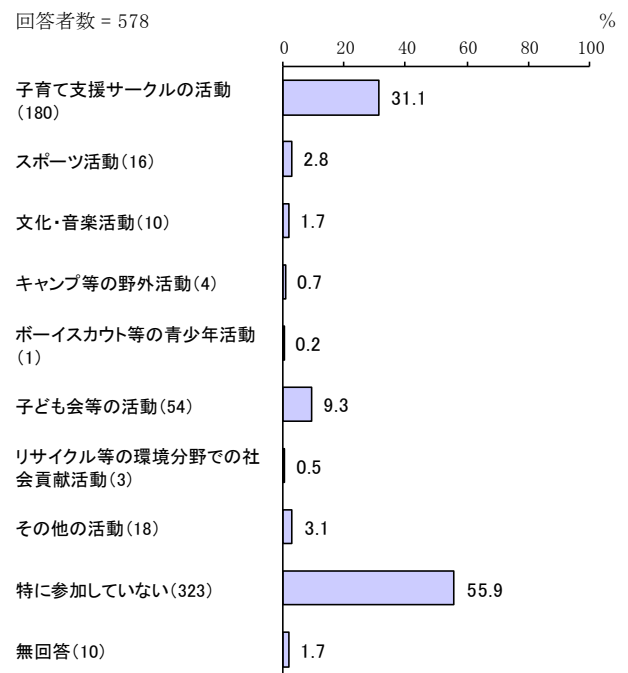
回答者数 = 578



問10ー3 お子さんが次の地域での催しへ参加したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

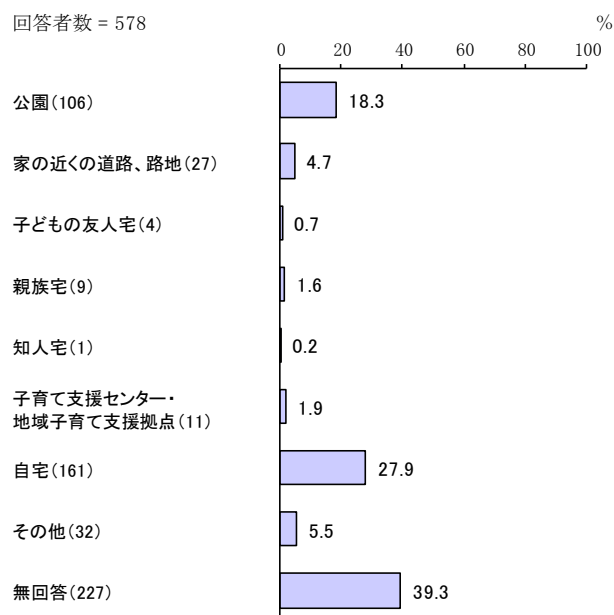
「特に参加していない」の割合が55.9%と最も高く、次いで「子育て支援サークルの活動」の割合が31.1%となっています。

回答者数 = 578



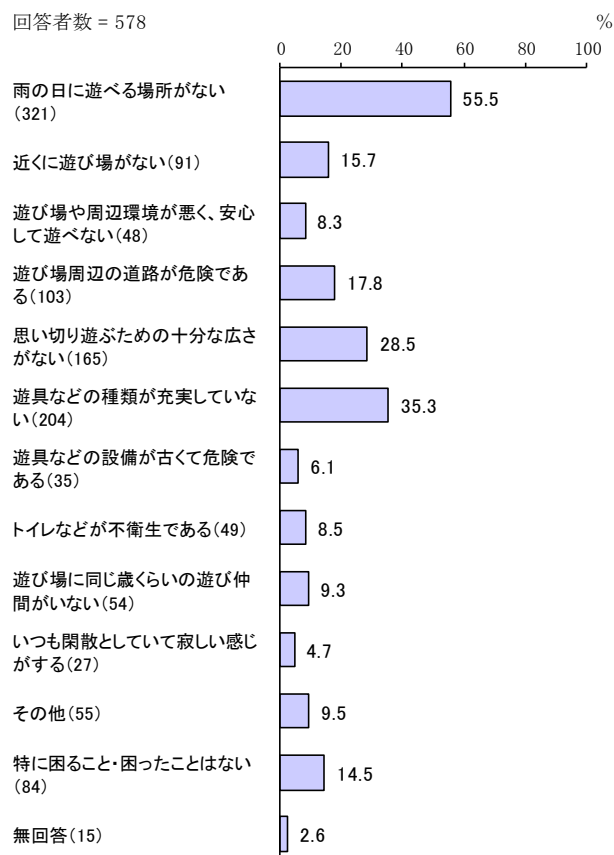
問10－4 お子さんは日中にどこで遊ぶことが多いですか。主なものに○をつけてください。

「自宅」の割合が27.9%と最も高く、次いで「公園」の割合が18.3%となっています。



問10－5 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

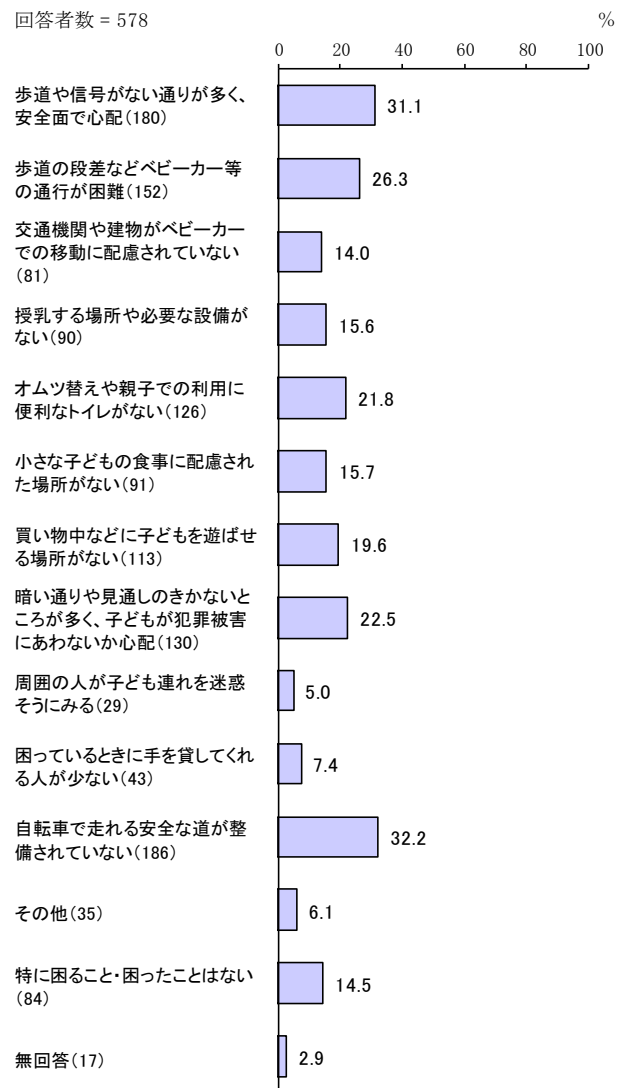
「雨の日に遊べる場所がない」の割合が55.5%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が35.3%、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」の割合が28.5%となっています。



問10－6 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

「自転車で走れる安全な道が整備されていない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」の割合が31.1%、「歩道の段差などベビーカー等の通行が困難」の割合が26.3%となっています。

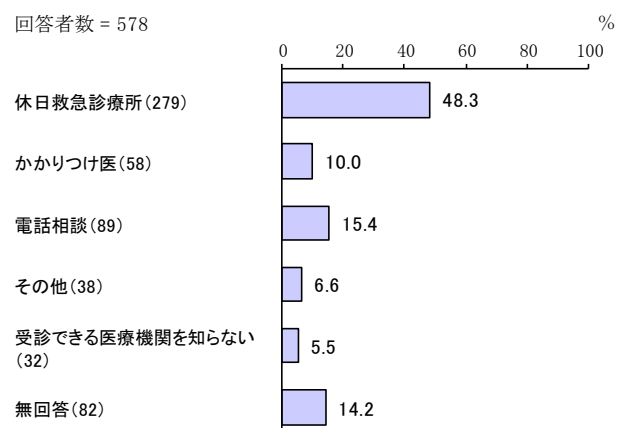
回答者数 = 578



問10－7 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応されていますか。もっとも当てはまるものに○をつけてください。

「休日救急診療所」の割合が48.3%と最も高く、次いで「電話相談」の割合が15.4%、「かかりつけ医」の割合が10.0%となっています。

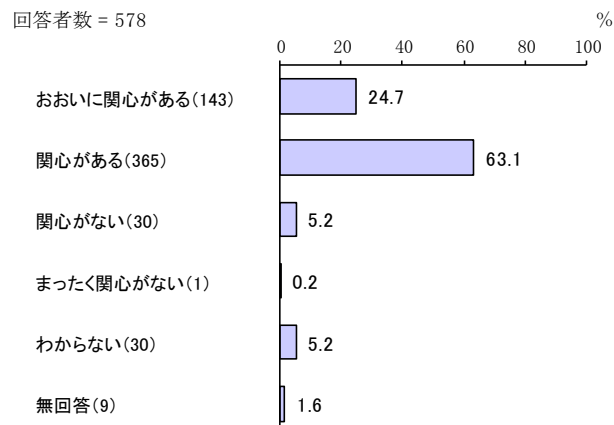
回答者数 = 578



(3) 家庭の食生活

問12 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

「おいに関心がある」と「関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が87.8%、「関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が5.4%となっています。



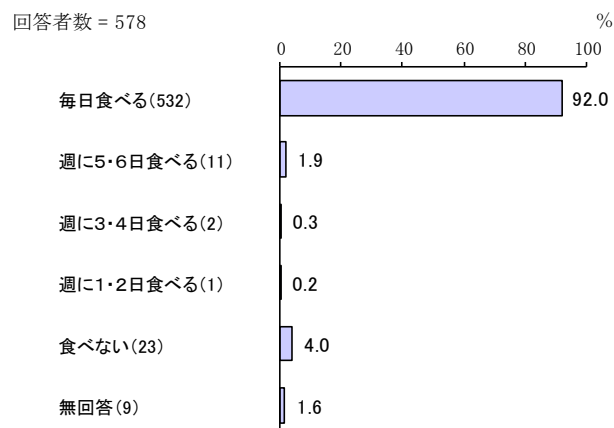
問13 ご家族の朝食の摂取状況を、宛名のお子さん、母親、父親、それぞれについてお答えください。

※飲み物だけ、果物だけ、サプリメントだけは、「5 食べない」に含みます
※ひとり親家庭の方は、母親または父親のみお答えください

ア 子ども

①朝食の摂取状況 (○は1つ)

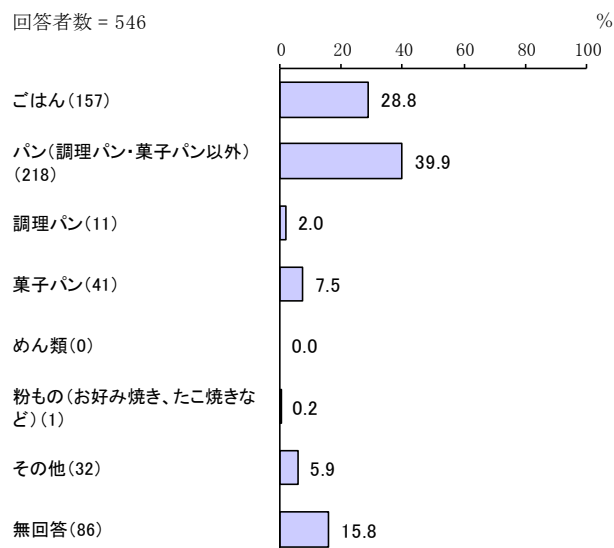
「毎日食べる」の割合が92.0%と最も高くなっています。



②朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が39.9%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が28.8%となっています。

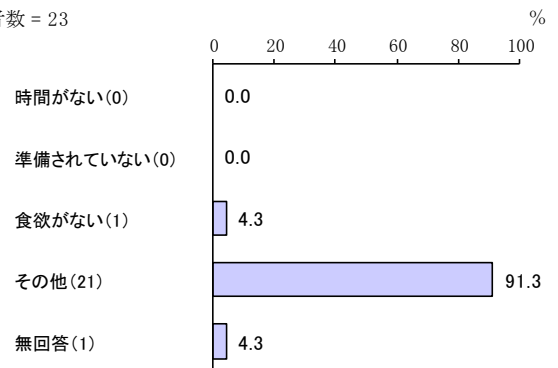


③朝食を食べない理由

(朝食を食べない方(「5. 食べない」に○をつけた方)のみ(主なもの1つに○))

「食欲がない」の割合が4.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 23

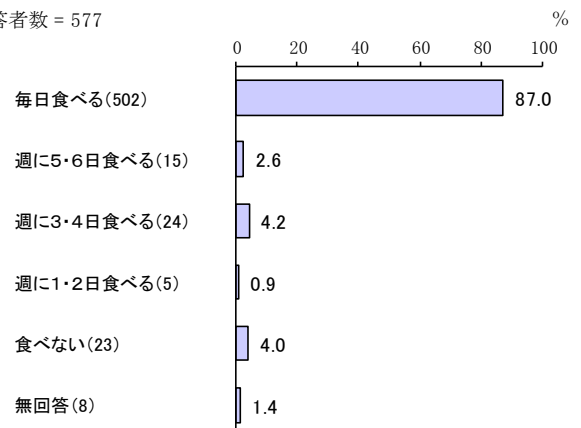


イ 母親

①朝食の摂取状況 (○は1つ)

「毎日食べる」の割合が87.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 577

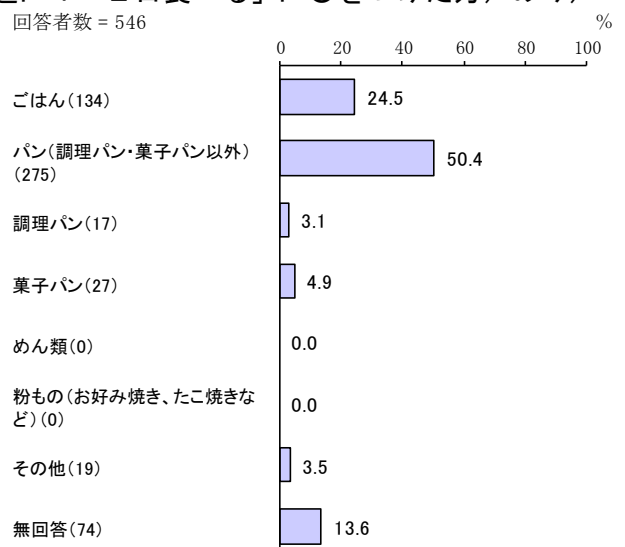


②朝食を食べている方朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が50.4%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が24.5%となっています。

回答者数 = 546

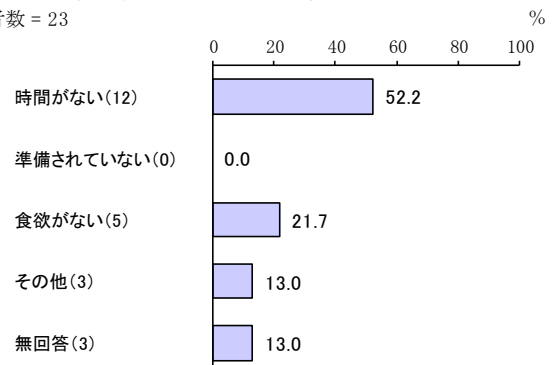


③朝食を食べない理由

(朝食を食べない方(「5. 食べない」に○をつけた方)のみ(主なもの1つに○))

「時間がない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「食欲がない」の割合が21.7%となっています。

回答者数 = 23

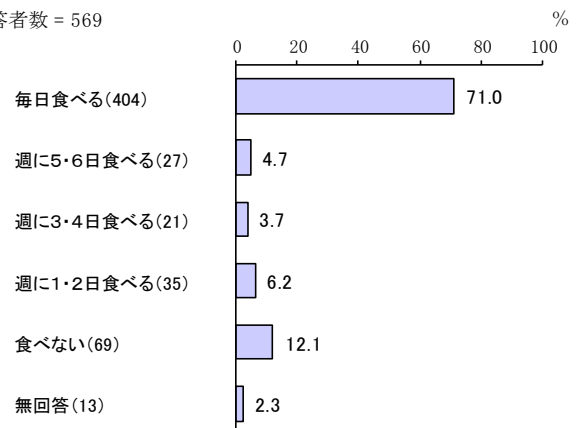


ウ 父親

①朝食の摂取状況 (○は1つ)

「毎日食べる」の割合が71.0%と最も高く、次いで「食べない」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 569

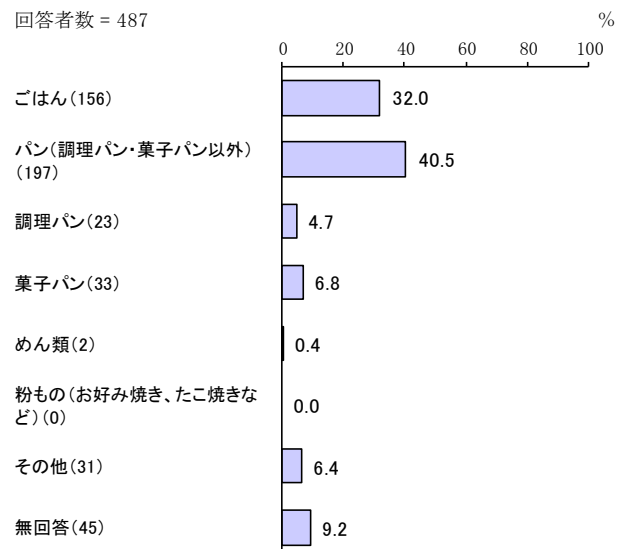


②朝食を食べている方朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が40.5%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が32.0%となっています。

回答者数 = 487

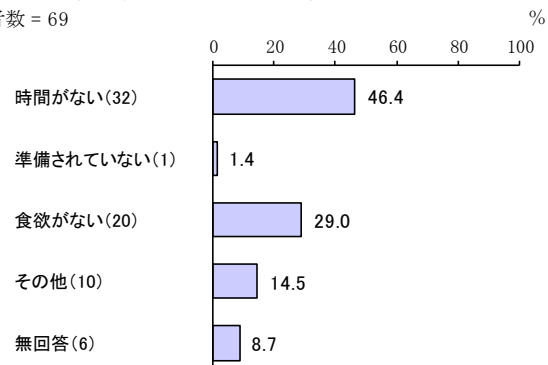


③朝食を食べない理由

（朝食を食べない方（「5. 食べない」に○をつけた方）のみ（主なもの1つに○）

「時間がない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「食欲がない」の割合が29.0%となっています。

回答者数 = 69

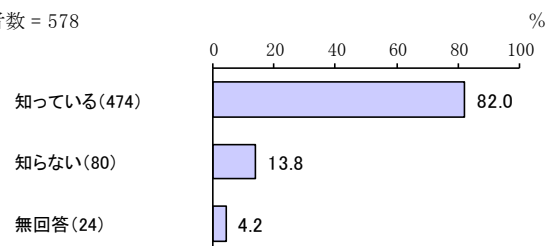


問14 （保護者の方へ質問です）

ご自分の身長にあった標準体重を知っていますか。（○は1つ）

「知っている」の割合が82.0%、「知らない」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 578



（４）保護者の就労状況

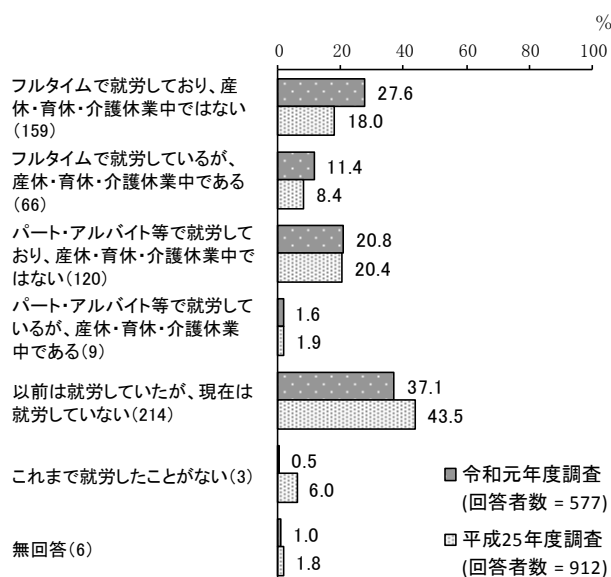
ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

問15 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

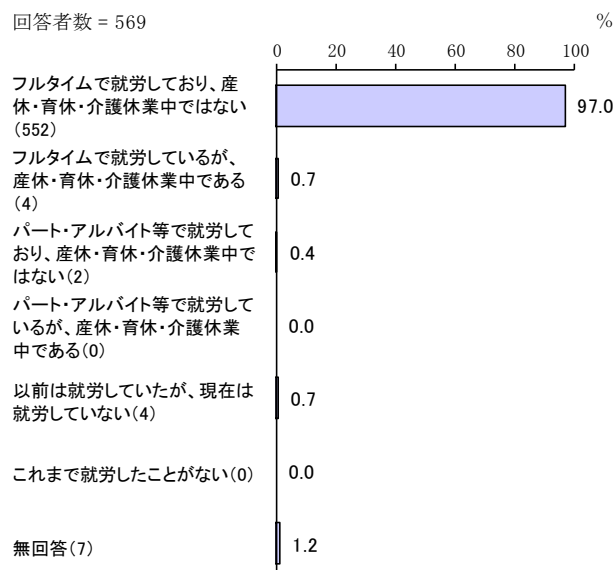
「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が37.1%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.6%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が97.0%と最も高くなっています。



就労している方（「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○を付けた方）にうかがいます。就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

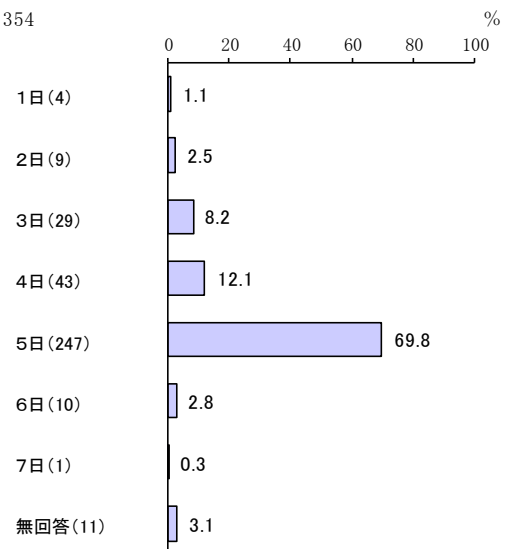
（１）－１ 週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

ア 母親

（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が69.8%と最も高く、次いで「４日」の割合が12.1%となっています。

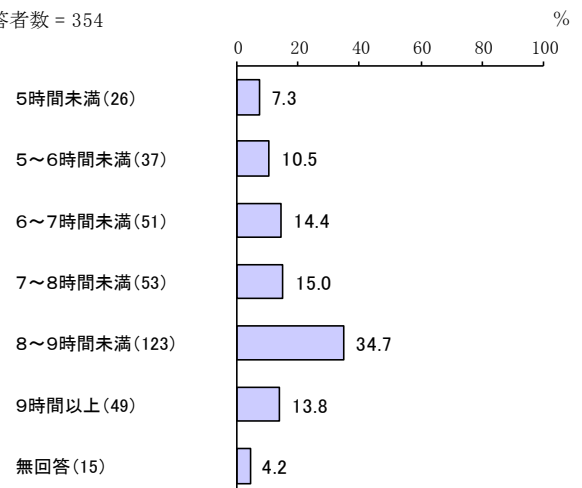
回答者数 = 354



（イ）１日あたり就労時間

「８～９時間未満」の割合が34.7%と最も高く、次いで「７～８時間未満」の割合が15.0%、「６～７時間未満」の割合が14.4%となっています。

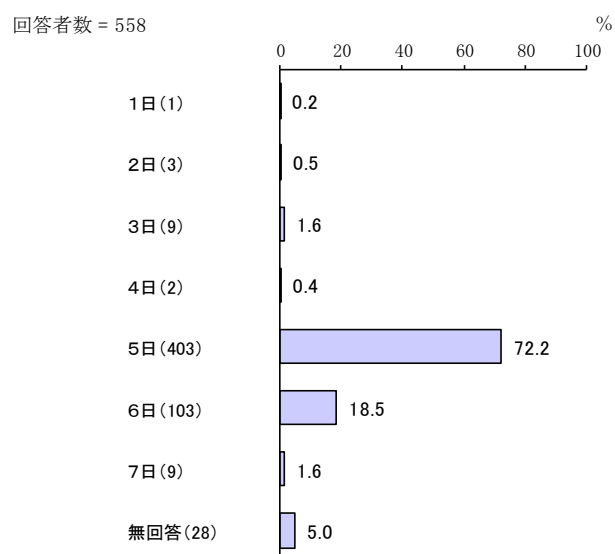
回答者数 = 354



イ 父親

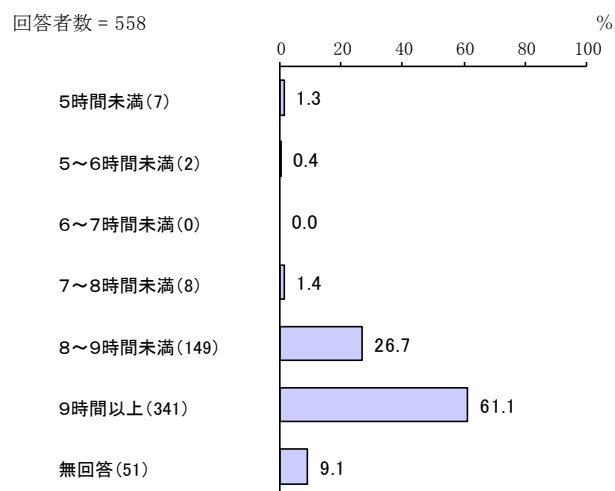
(ア) 1週あたり就労日数

「5日」の割合が72.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が18.5%となっています。



(イ) 1日あたり就労時間

「9時間以上」の割合が61.1%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が26.7%となっています。



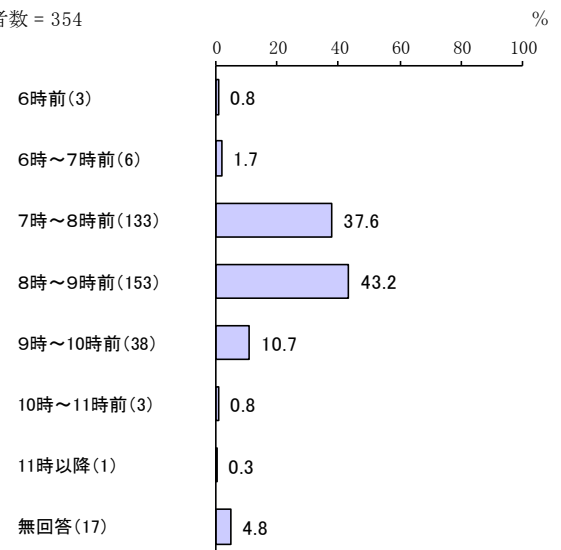
(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず(例)08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア 母親

(ア) 家を出る時刻

「8時～9時前」の割合が43.2%と最も高く、次いで「7時～8時前」の割合が37.6%、「9時～10時前」の割合が10.7%となっています。

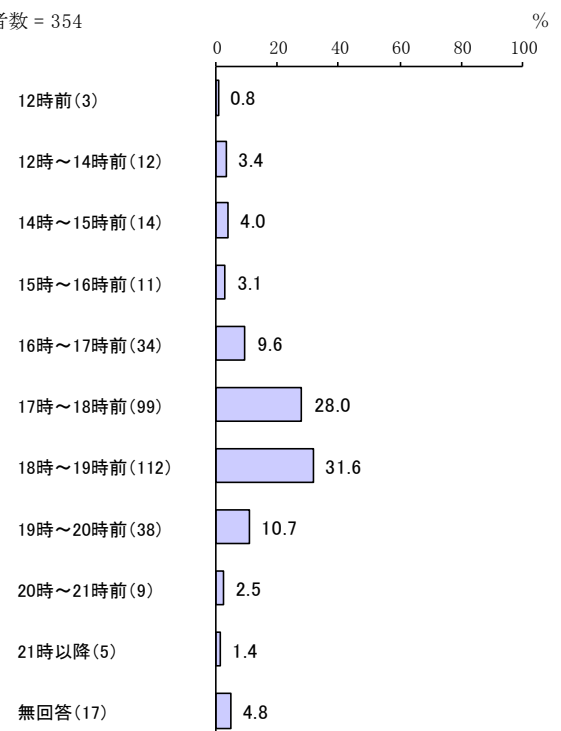
回答者数 = 354



(イ) 帰宅時刻

「18時～19時前」の割合が31.6%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が28.0%、「19時～20時前」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 354

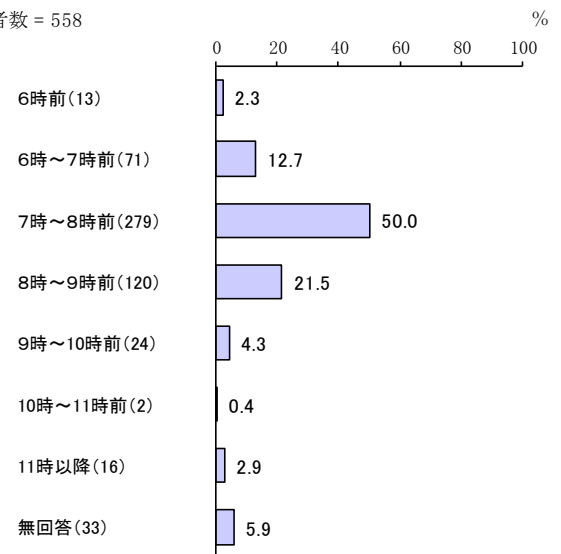


イ 父親

(ア) 家を出る時刻

「7時～8時前」の割合が50.0%と最も高く、次いで「8時～9時前」の割合が21.5%、「6時～7時前」の割合が12.7%となっています。

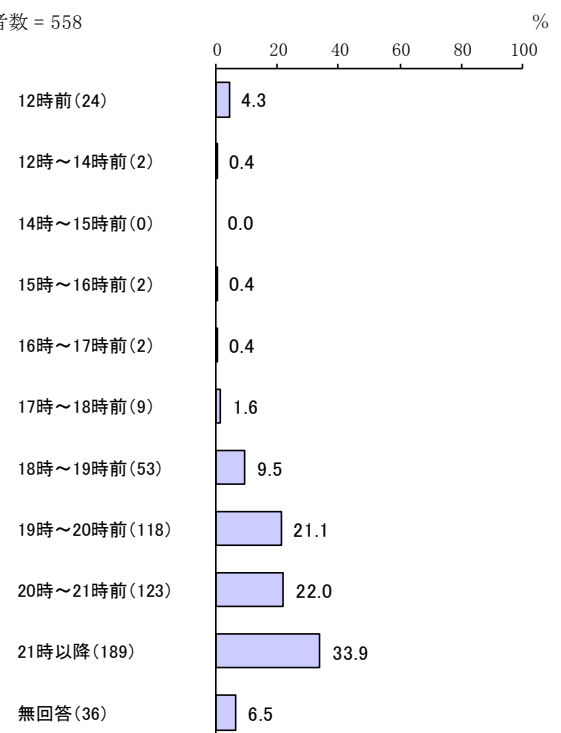
回答者数 = 558



(イ) 帰宅時刻

「21時以降」の割合が33.9%と最も高く、次いで「20時～21時前」の割合が22.0%、「19時～20時前」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 558

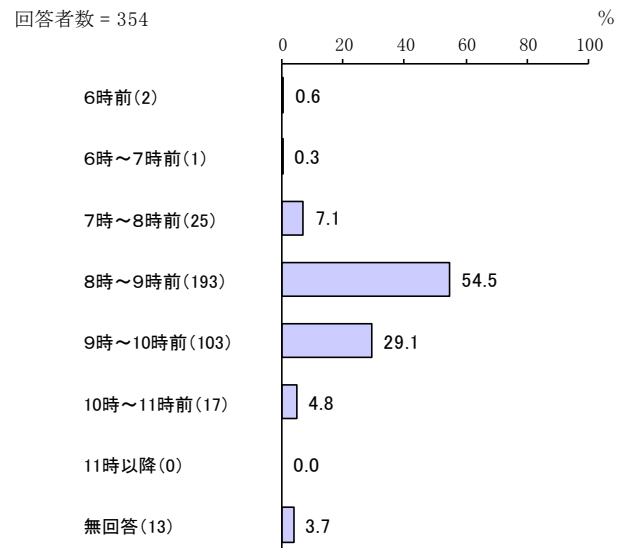


(1) - 3 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず(例)08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。
(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア 母親

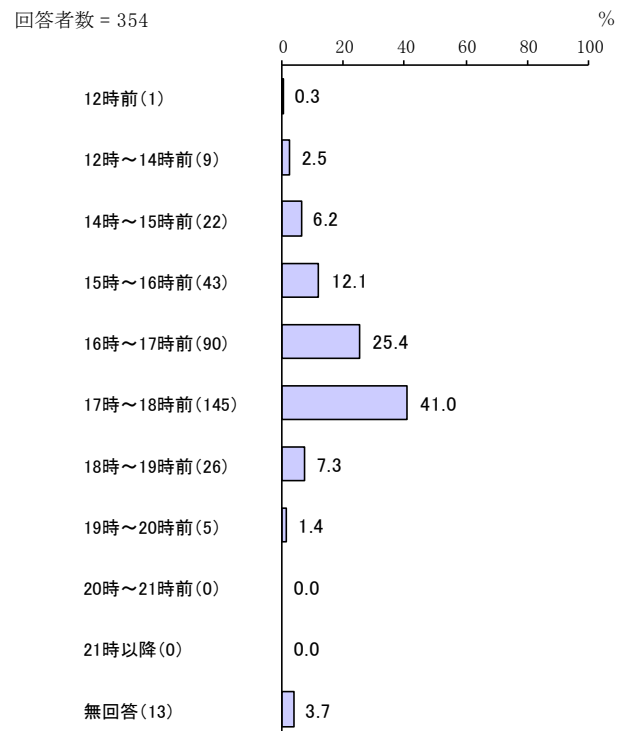
(ア) 理想の家を出る時刻

「8時～9時前」の割合が54.5%と最も高く、次いで「9時～10時前」の割合が29.1%となっています。



(イ) 理想の帰宅時刻

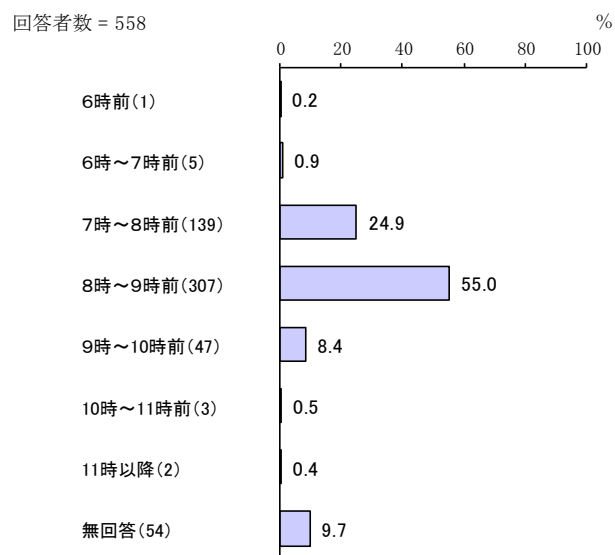
「17時～18時前」の割合が41.0%と最も高く、次いで「16時～17時前」の割合が25.4%、「15時～16時前」の割合が12.1%となっています。



イ 父親

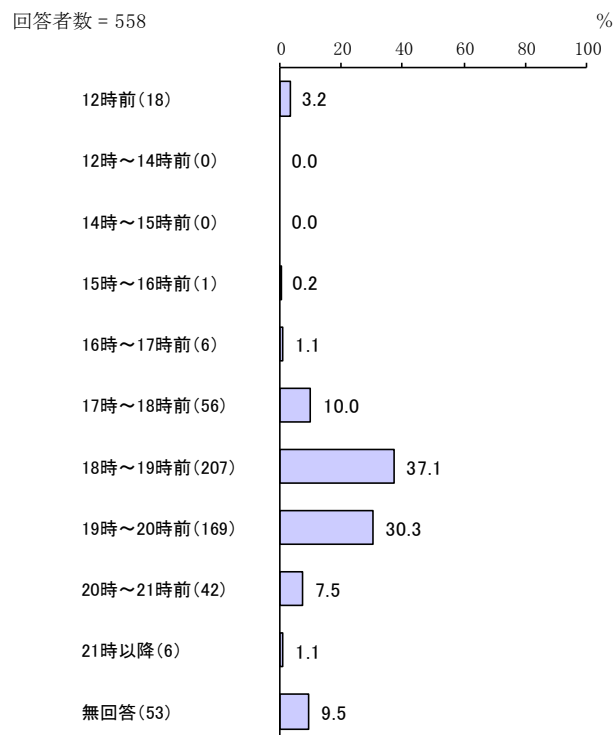
(ア) 理想の家を出る時刻

「8時～9時前」の割合が55.0%と最も高く、次いで「7時～8時前」の割合が24.9%となっています。



(イ) 理想の帰宅時刻

「18時～19時前」の割合が37.1%と最も高く、次いで「19時～20時前」の割合が30.3%、「17時～18時前」の割合が10.0%となっています。



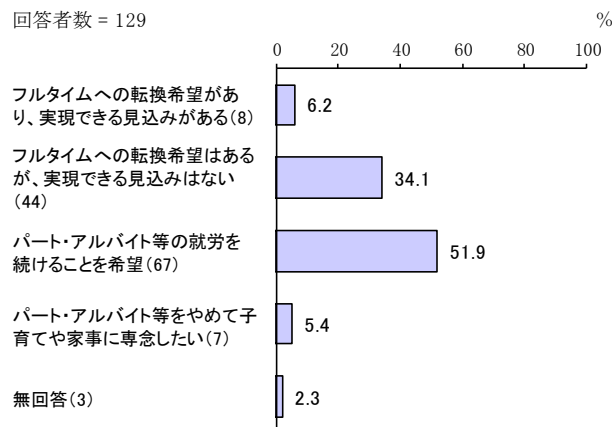
パート・アルバイト等で就労している方(問15で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方)にうかがいます。

問16 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が51.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が34.1%となっています。

回答者数 = 129



イ 父親

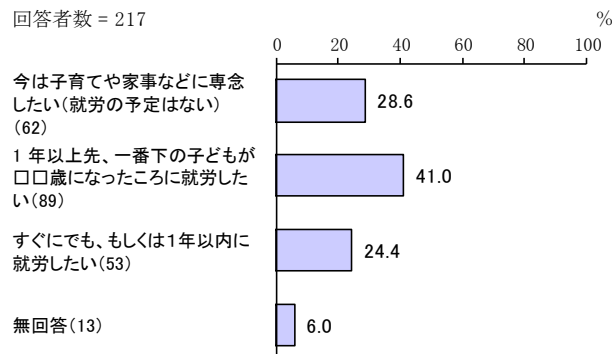
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

問17 問15で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

「1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が41.0%と最も高く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が28.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.4%となっています。

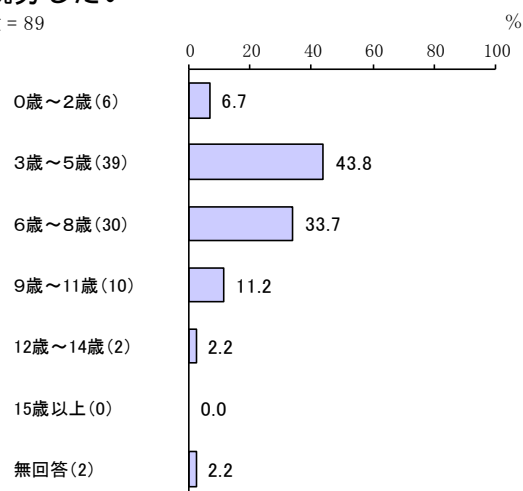
回答者数 = 217



2 1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい

「3歳～5歳」の割合が43.8%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が33.7%、「9歳～11歳」の割合が11.2%となっています。

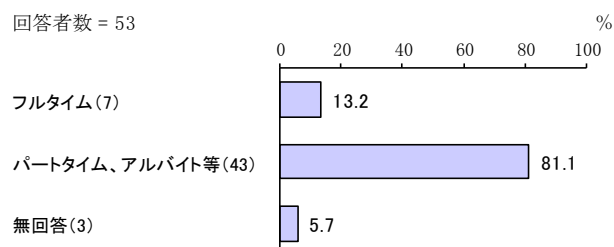
回答者数 = 89



ア 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が13.2%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が81.1%となっています。

回答者数 = 53

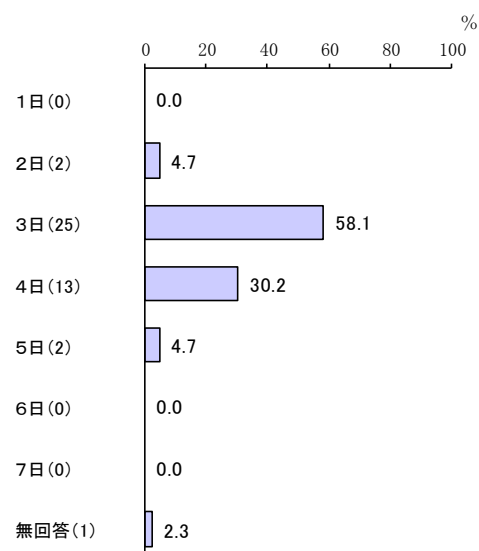


(ア) パートタイム、アルバイト等

1週あたり希望就労日数

「3日」の割合が58.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が30.2%となっています。

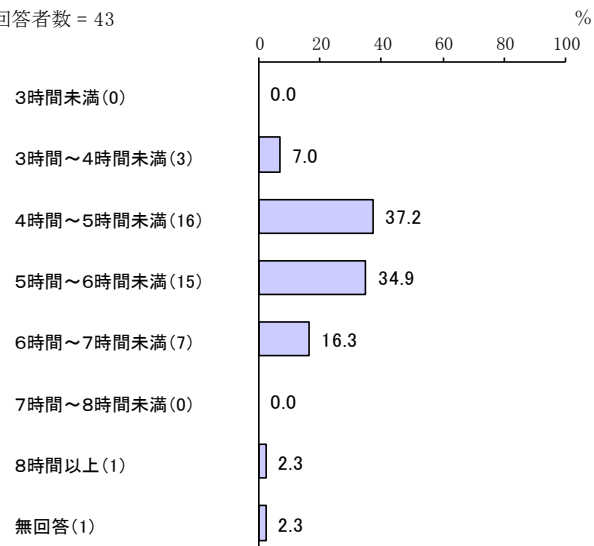
回答者数 = 43



1 日あたり希望就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が37.2%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が34.9%、「6時間～7時間未満」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 43



(2) 父親

「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

2 1年以上先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
有効回答がありませんでした。

ア 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

(ア) パートタイム、アルバイト等 1週あたり希望就労日数
有効回答がありませんでした。

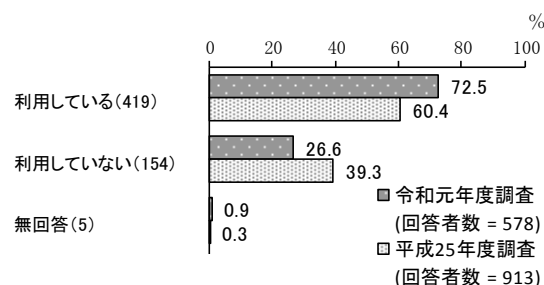
(イ) パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間
有効回答がありませんでした。

(5) 平日の定期的な教育・保育の利用状況

問18 お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。
当てはまる番号に○をつけてください。

「利用している」の割合が72.5%、「利用していない」の割合が26.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。

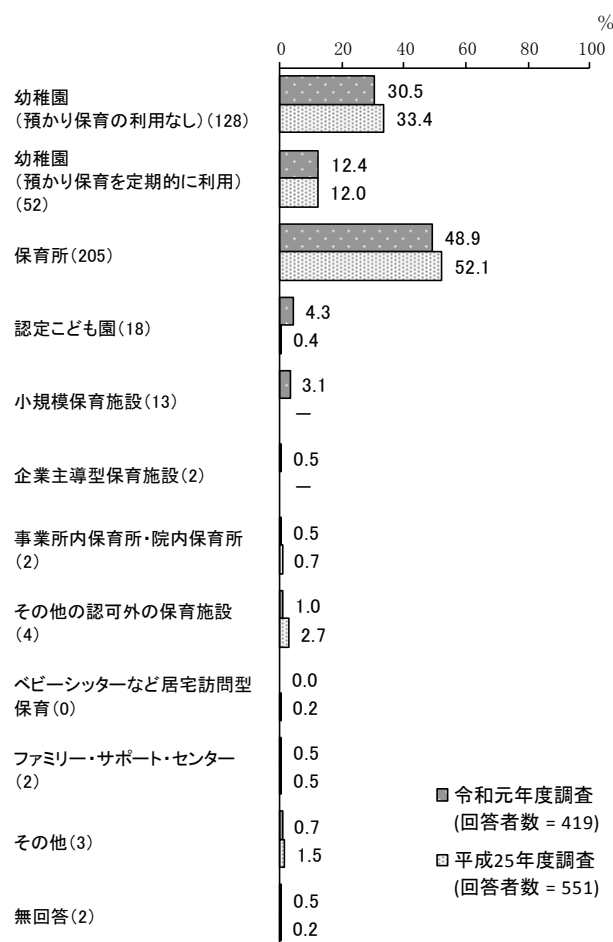


問18-1～問18-5は、問18で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を定期的に利用していますか。
当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「保育所」の割合が48.9%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が30.5%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が12.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成25年度調査では、「小規模保育施設」「企業主導型保育施設」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、1歳で「保育所」の割合が、3歳、5歳で「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	幼稚園 (預かり保育の利用なし)	幼稚園 (預かり保育を定期的に利用)	保育所	認定こども園	小規模保育施設	企業主導型保育施設	事業所内保育所・院内保育所	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育 ベビーシッターなど	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	25 100.0	4 16.0	2 8.0	18 72.0	1 4.0	1 4.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
1歳	63 100.0	2 3.2	5 7.9	44 69.8	2 3.2	6 9.5	2 3.2	1 1.6	— —	— —	— —	1 1.6	2 3.2
2歳	77 100.0	24 31.2	7 9.1	37 48.1	1 1.3	4 5.2	— —	1 1.3	3 3.9	— —	1 1.3	2 2.6	— —
3歳	96 100.0	40 41.7	11 11.5	42 43.8	4 4.2	— —	— —	— —	1 1.0	— —	— —	— —	— —
4歳	70 100.0	22 31.4	13 18.6	29 41.4	8 11.4	— —	— —	— —	— —	— —	1 1.4	— —	— —
5歳	77 100.0	35 45.5	12 15.6	28 36.4	2 2.6	1 1.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

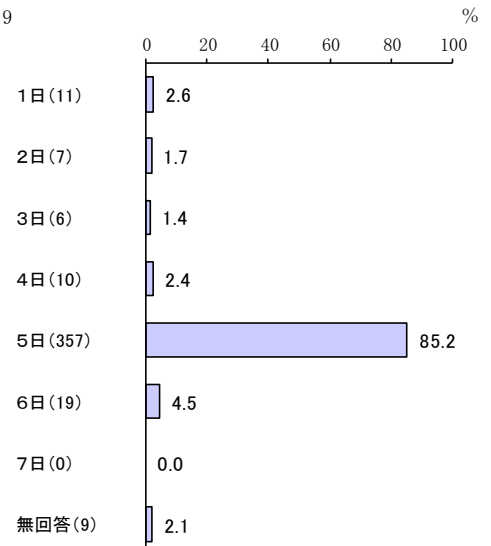
問18ー2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

（１）現在

ア 1週あたり利用時間

「5日」の割合が85.2%と最も高くなっています。

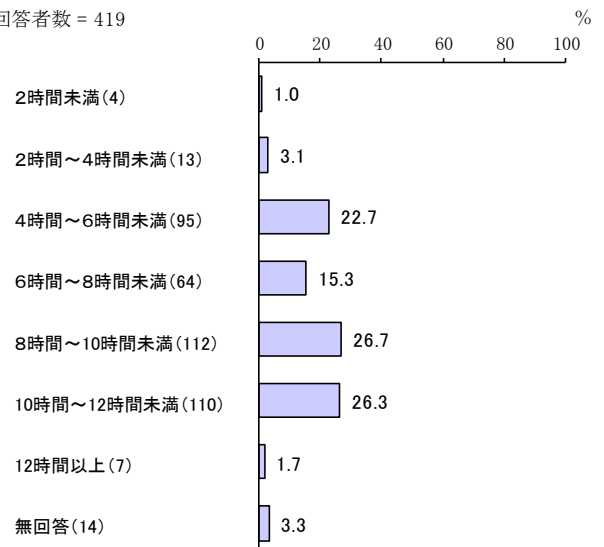
回答者数 = 419



イ 1日あたり利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が26.7%と最も高く、次いで「10時間～12時間未満」の割合が26.3%、「4時間～6時間未満」の割合が22.7%となっています。

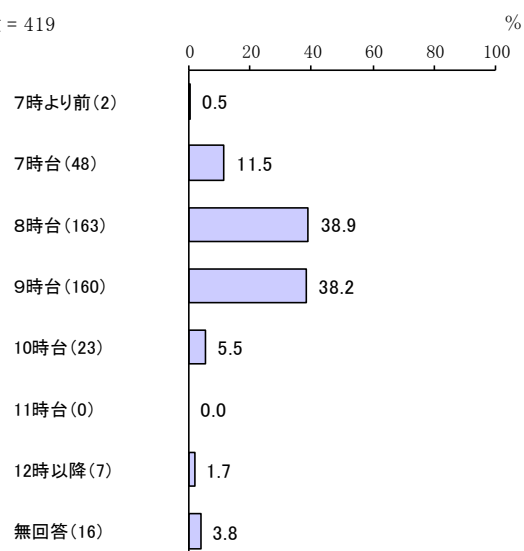
回答者数 = 419



ウ 利用開始時刻

「8時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が38.2%、「7時台」の割合が11.5%となっています。

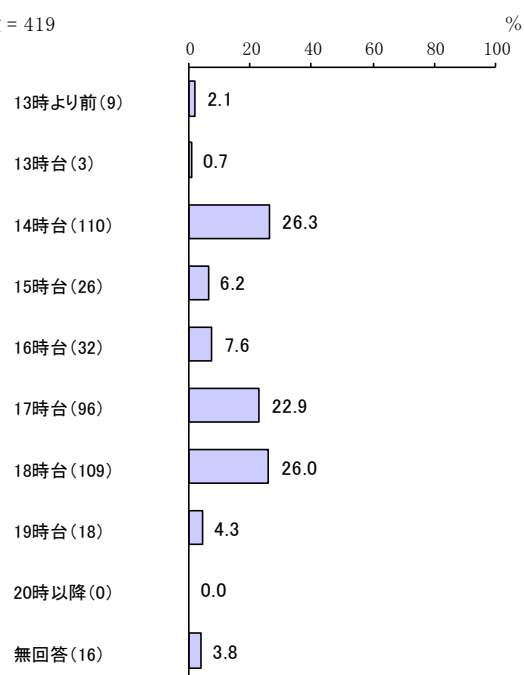
回答者数 = 419



エ 利用終了時刻

「14時台」の割合が26.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.0%、「17時台」の割合が22.9%となっています。

回答者数 = 419

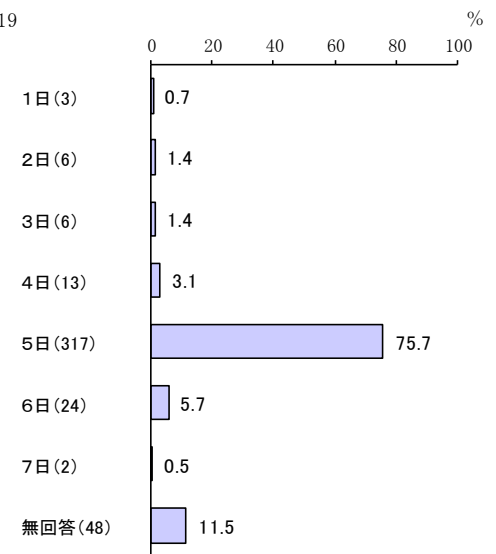


(2) 希望

ア 1週あたり利用時間

「5日」の割合が75.7%と最も高くなっています。

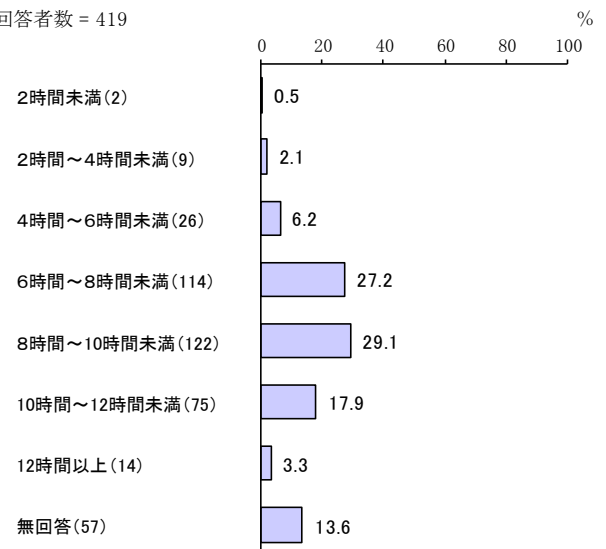
回答者数 = 419



イ 1日あたり利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が29.1%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が27.2%、「10時間～12時間未満」の割合が17.9%となっています。

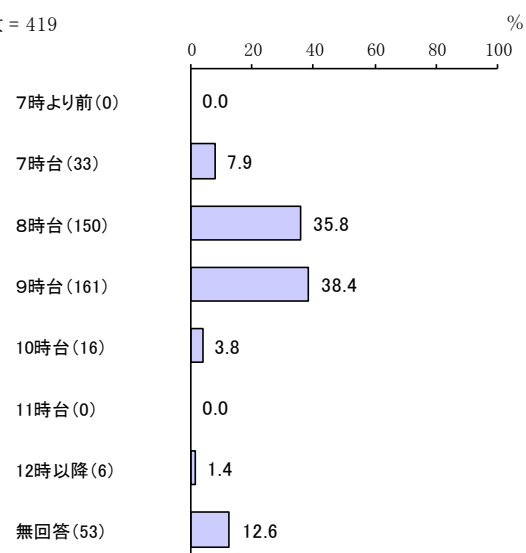
回答者数 = 419



ウ 利用開始時刻

「9時台」の割合が38.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が35.8%となっています。

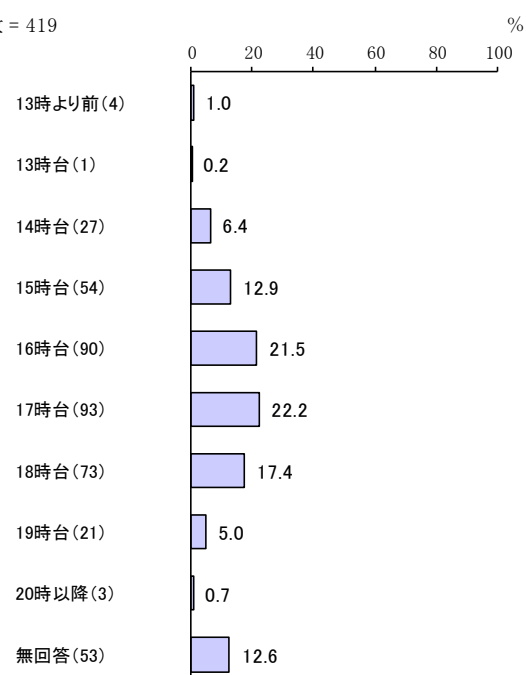
回答者数 = 419



エ 利用終了時刻

「17時台」の割合が22.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が21.5%、「18時台」の割合が17.4%となっています。

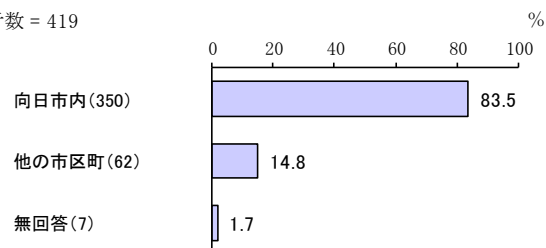
回答者数 = 419



問18－3 現在、利用している教育・保育の場所についてうかがいます。
「1. 向日市内」「2. 他の市区町」のいずれかに○をつけてください。

「向日市内」の割合が83.5%、「他の市区町」の割合が14.8%となっています。

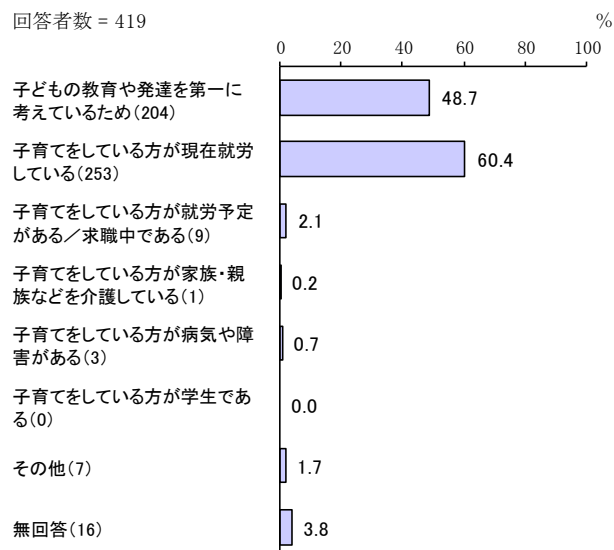
回答者数 = 419



問18－4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が60.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が48.7%となっています。

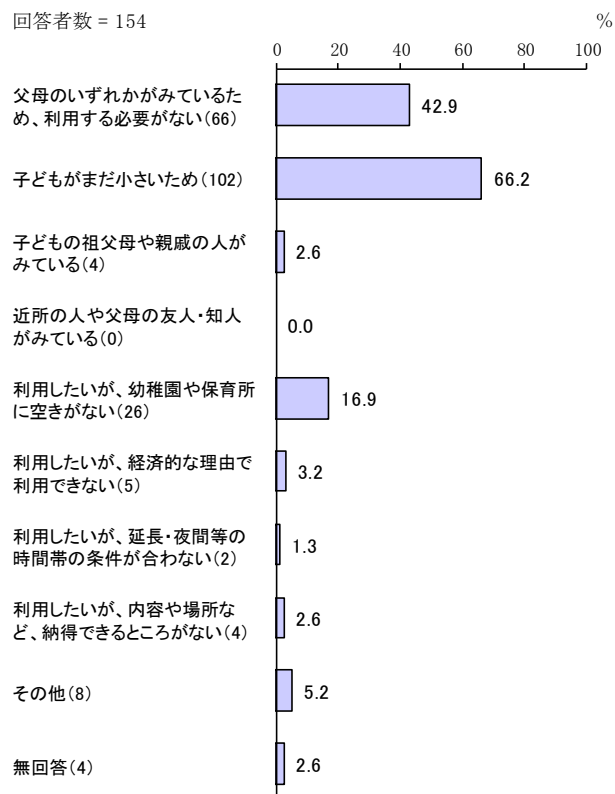
回答者数 = 419



問18で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

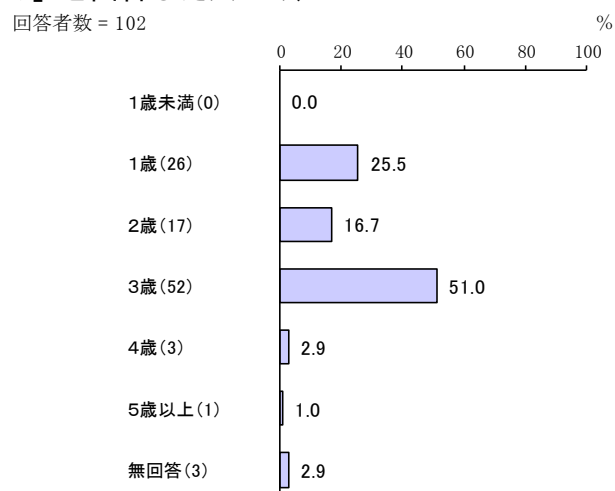
問18－6 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「子どもがまだ小さいため」の割合が66.2%と最も高く、次いで「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」の割合が42.9%、「利用したいが、幼稚園や保育所に空きがない」の割合が16.9%となっています。



2 利用を開始したい年齢（「子どもがまだ小さいため」と回答した人のみ）

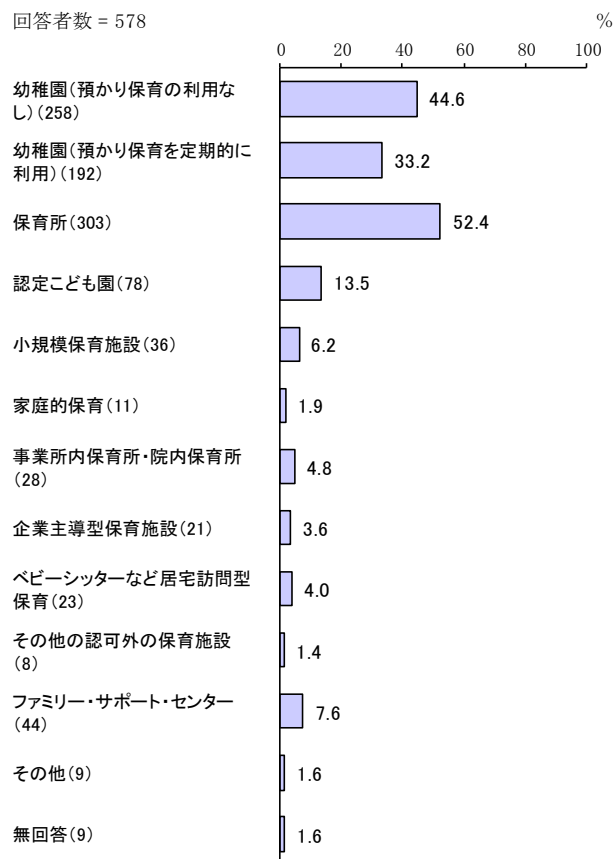
「3歳」の割合が51.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が25.5%、「2歳」の割合が16.7%となっています。



問19 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）なお、これらの事業の利用には、利用者負担と実費が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「保育所」の割合が52.4%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が44.6%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が33.2%となっています。

回答者数 = 578



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「保育所」の割合が、2歳、5歳で「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	幼稚園 (預かり保育の利用なし)	幼稚園 (預かり保育を定期的に利用)	保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育所・ 院内保育所	企業主導型保育施設	居宅訪問型保育 ベビシッターなど	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
0歳	91 100.0	35 38.5	22 24.2	65 71.4	15 16.5	13 14.3	3 3.3	6 6.6	6 6.6	6 6.6	5 5.5	8 8.8	— —	— —
1歳	119 100.0	53 44.5	41 34.5	72 60.5	19 16.0	12 10.1	5 4.2	9 7.6	7 5.9	7 5.9	1 0.8	7 5.9	— —	4 3.4
2歳	109 100.0	54 49.5	40 36.7	55 50.5	15 13.8	6 5.5	2 1.8	3 2.8	2 1.8	2 1.8	2 1.8	9 8.3	5 4.6	— —
3歳	97 100.0	45 46.4	37 38.1	44 45.4	12 12.4	3 3.1	1 1.0	3 3.1	— —	3 3.1	— —	10 10.3	1 1.0	— —
4歳	70 100.0	29 41.4	25 35.7	29 41.4	8 11.4	— —	— —	3 4.3	1 1.4	1 1.4	— —	6 8.6	2 2.9	3 4.3
5歳	77 100.0	39 50.6	25 32.5	28 36.4	9 11.7	1 1.3	— —	4 5.2	5 6.5	4 5.2	— —	4 5.2	1 1.3	1 1.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「保育所」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が高くなっています。

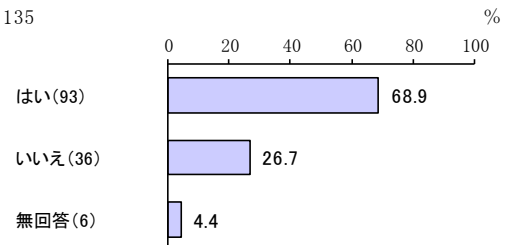
単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数（件）	幼稚園（預かり保育の利用なし）	幼稚園（預かり保育を定期的に利用）	保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育所・院内保育所	企業主導型保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	159 100.0	25 15.7	29 18.2	134 84.3	20 12.6	9 5.7	4 2.5	11 6.9	10 6.3	9 5.7	2 1.3	16 10.1	4 2.5	2 1.3
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	66 100.0	13 19.7	10 15.2	58 87.9	16 24.2	9 13.6	1 1.5	5 7.6	6 9.1	1 1.5	6 9.1	4 6.1	— —	1 1.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	120 100.0	40 33.3	44 36.7	62 51.7	21 17.5	9 7.5	— —	4 3.3	— —	5 4.2	— —	9 7.5	— —	2 1.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9 100.0	4 44.4	5 55.6	4 44.4	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	— —	— —	— —	1 11.1	1 11.1	— —
以前は就労していたが、現在は就労していない	214 100.0	171 79.9	100 46.7	43 20.1	19 8.9	7 3.3	4 1.9	6 2.8	5 2.3	6 2.8	— —	13 6.1	4 1.9	2 0.9
これまで就労したことがない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	— —	1 33.3	— —	— —	— —	— —

問19－1 問19で「1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）」または「2. 幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」に○をつけ、かつ「3. 保育所」～「12. その他」にも○をつけた方にうかがいます。
幼稚園を利用することが理想ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が68.9%、「いいえ」の割合が26.7%となっています。

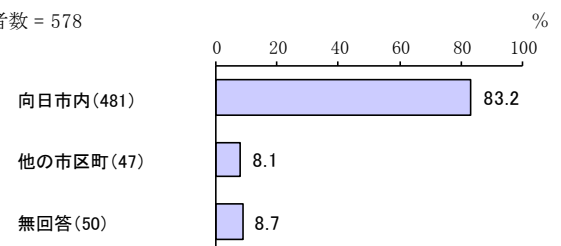
回答者数 = 135



問19－2 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

「向日市内」の割合が83.2%、「他の市区町」の割合が8.1%となっています。

回答者数 = 578

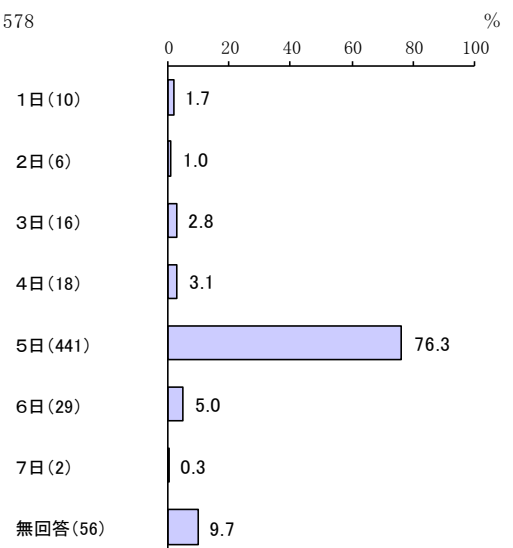


問19－3 平日に定期的に利用したい教育・保育について、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内におおよその数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

ア 1週あたり希望利用日数

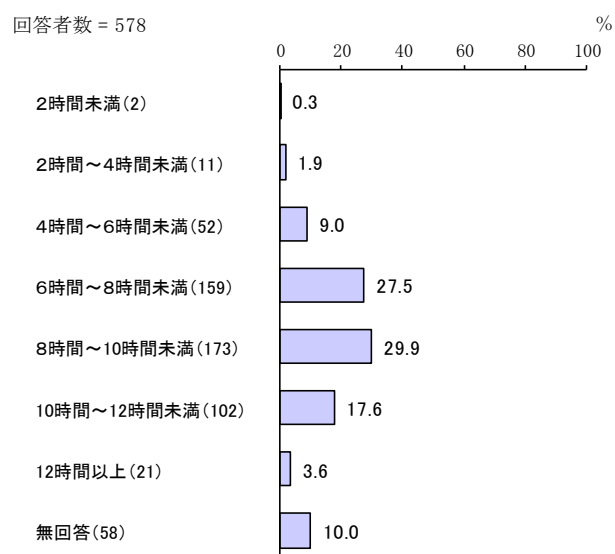
「5日」の割合が76.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 578



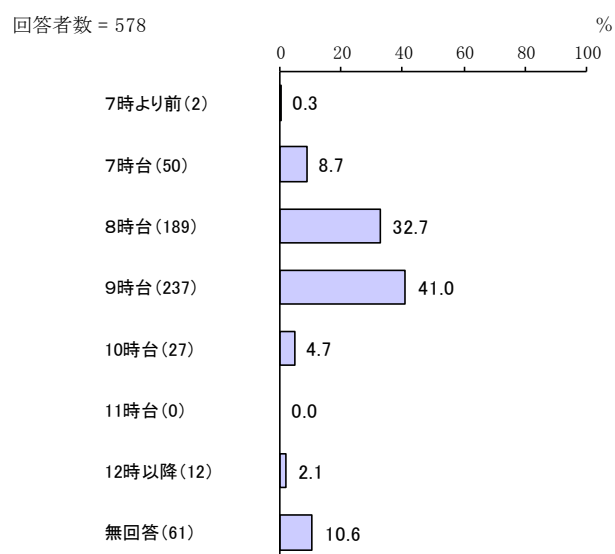
イ 1日あたり利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が29.9%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が27.5%、「10時間～12時間未満」の割合が17.6%となっています。



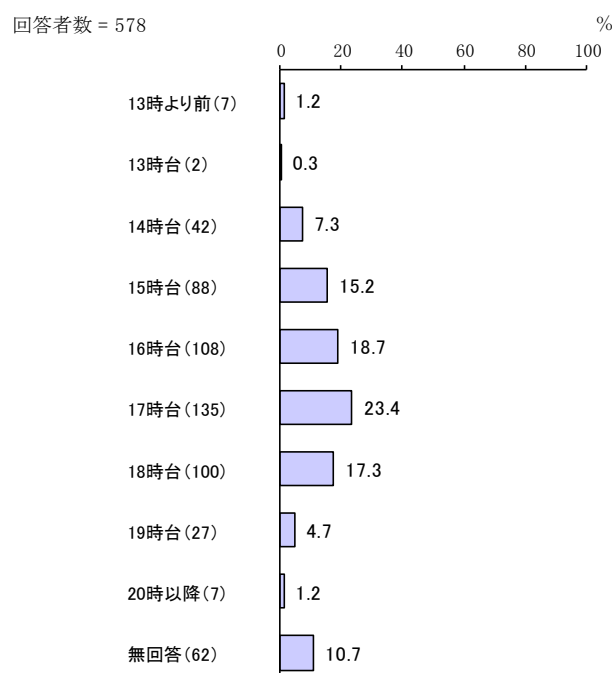
ウ 利用開始時刻

「9時台」の割合が41.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.7%となっています。



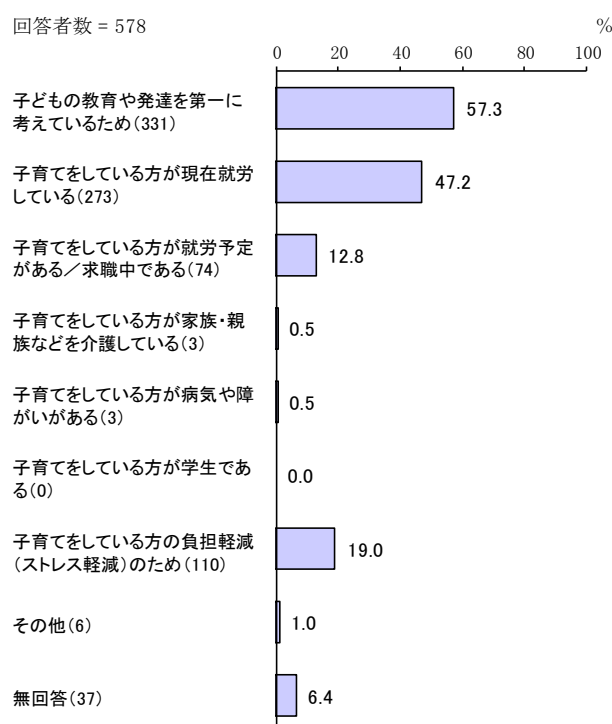
エ 利用終了時刻

「17時台」の割合が23.4%と最も高く、次いで「16時台」の割合が18.7%、「18時台」の割合が17.3%となっています。



問19-4 平日に定期的に教育・保育を利用したいとお考えになる理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

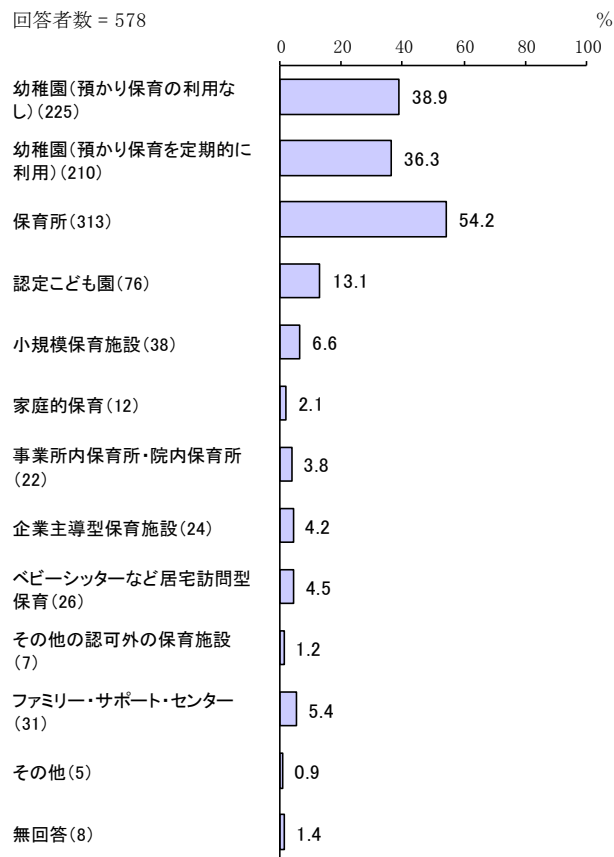
「子どもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が57.3%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」の割合が47.2%、「子育てをしている方の負担軽減（ストレス軽減）のため」の割合が19.0%となっています。



（６）幼児教育・保育の無償化

問20 保育料が無償化となった場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

「保育所」の割合が54.2%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が38.9%、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が36.3%となっています。

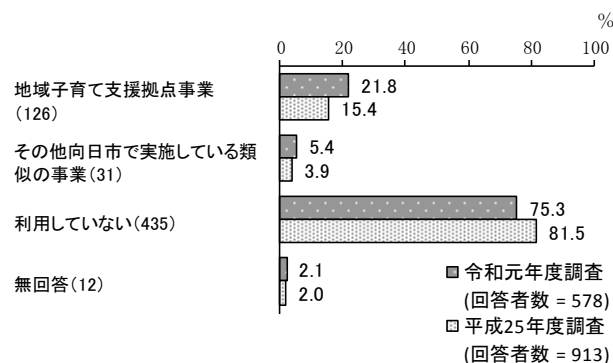


(7) 地域の子育て支援事業の利用状況

問21 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。（複数回答可）また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。利用しておられない場合はその理由に○をつけてください。（複数回答可）

「利用していない」の割合が75.3%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が21.8%となっています。

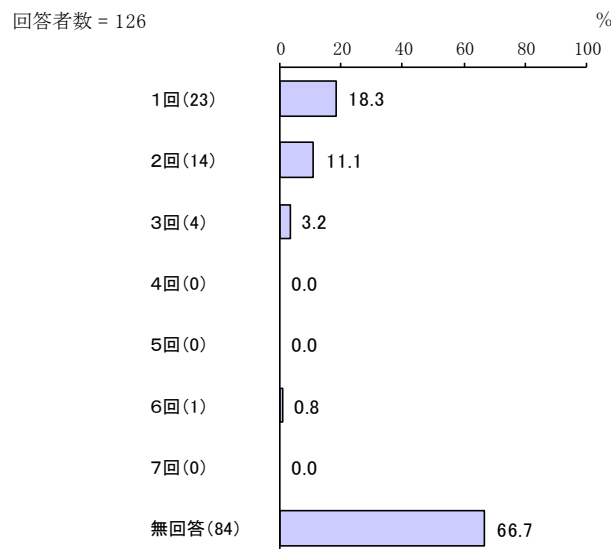
平成25年度調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



1 地域子育て支援拠点事業

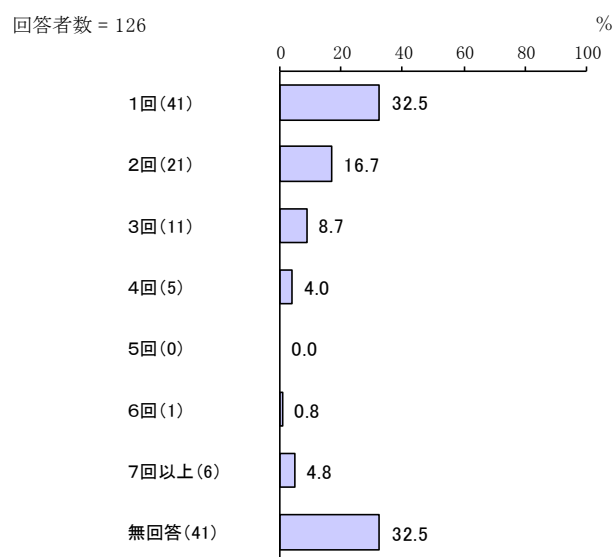
ア 週あたり利用回数

「1回」の割合が18.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が11.1%となっています。



イ 1ヶ月当たり利用回数

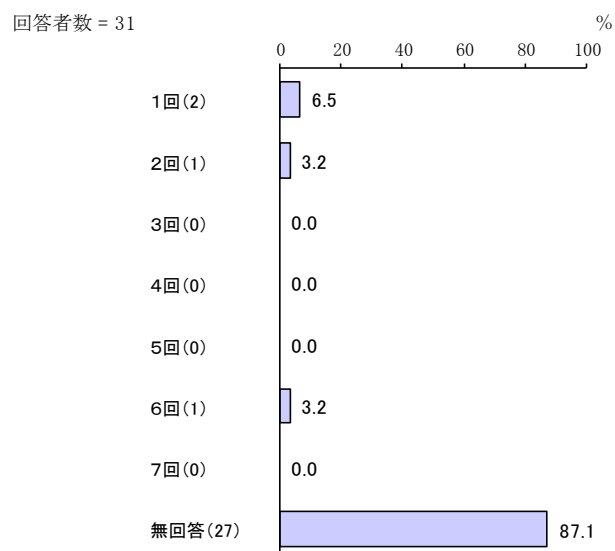
「1回」の割合が32.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が16.7%となっています。



2 その他向日市で実施している類似の事業

ア 週あたり利用回数

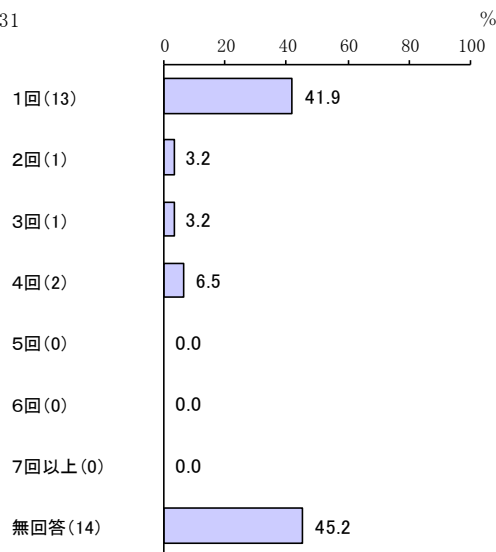
「1回」の割合が6.5%と最も高くなっています。



イ 1ヶ月当たり利用回数

「1回」の割合が41.9%と最も高くなっています。

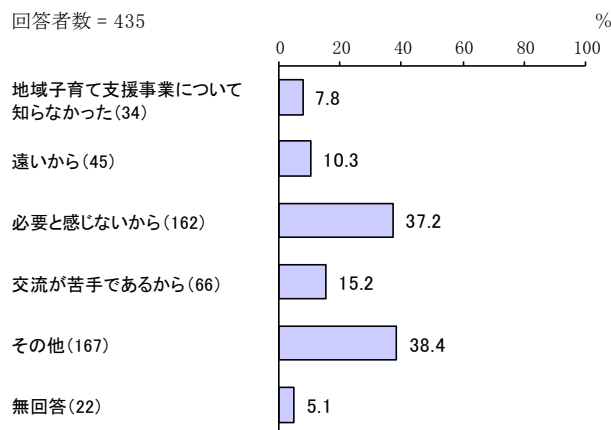
回答者数 = 31



3 利用していない理由

「必要と感じないから」の割合が37.2%と最も高く、次いで「交流が苦手であるから」の割合が15.2%、「遠いから」の割合が10.3%となっています。

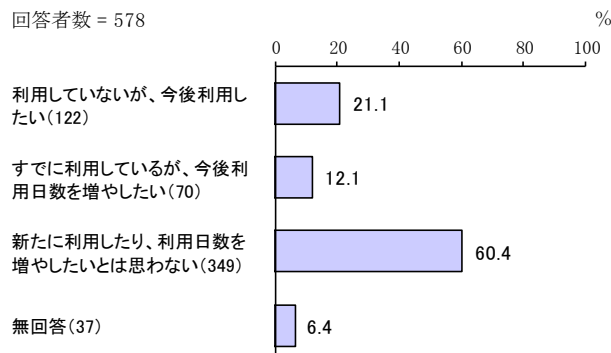
回答者数 = 435



問22 問21のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が21.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 578

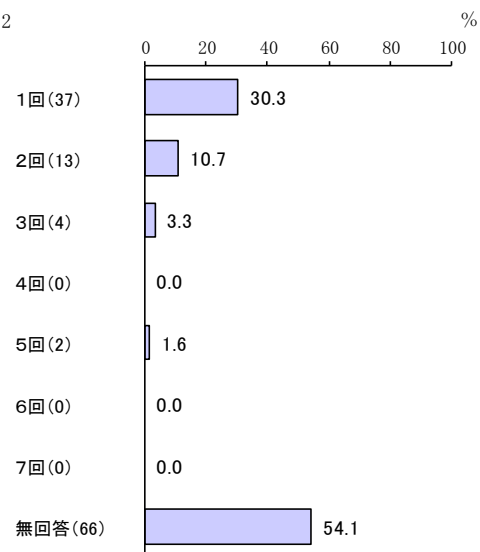


1 利用していないが、今後利用したい

ア 1週あたりでの希望利用回数

「1回」の割合が30.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が10.7%となっています。

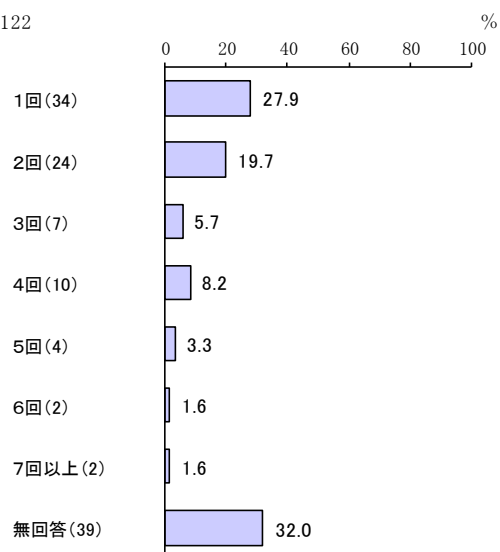
回答者数 = 122



イ 1か月あたりでの希望利用回数

「1回」の割合が27.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.7%となっています。

回答者数 = 122

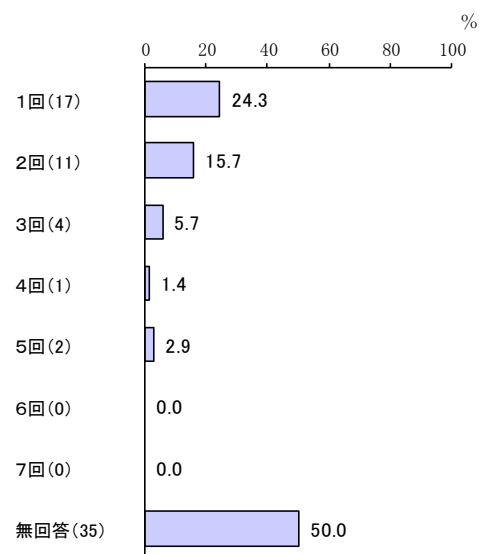


2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

ア 1週あたりでの希望利用回数

「1回」の割合が24.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.7%となっています。

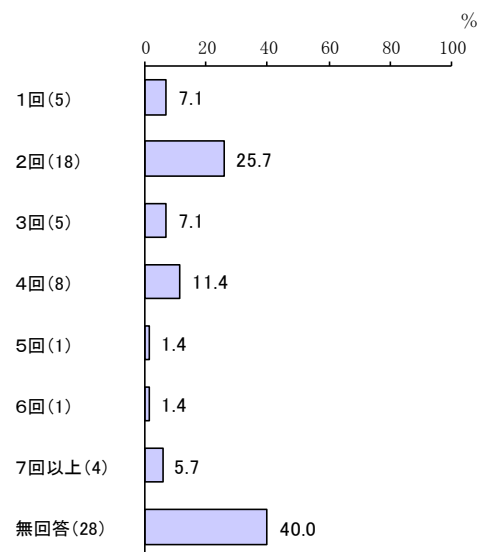
回答者数 = 70



イ 1か月あたりでの希望利用回数

「2回」の割合が25.7%と最も高く、次いで「4回」の割合が11.4%となっています。

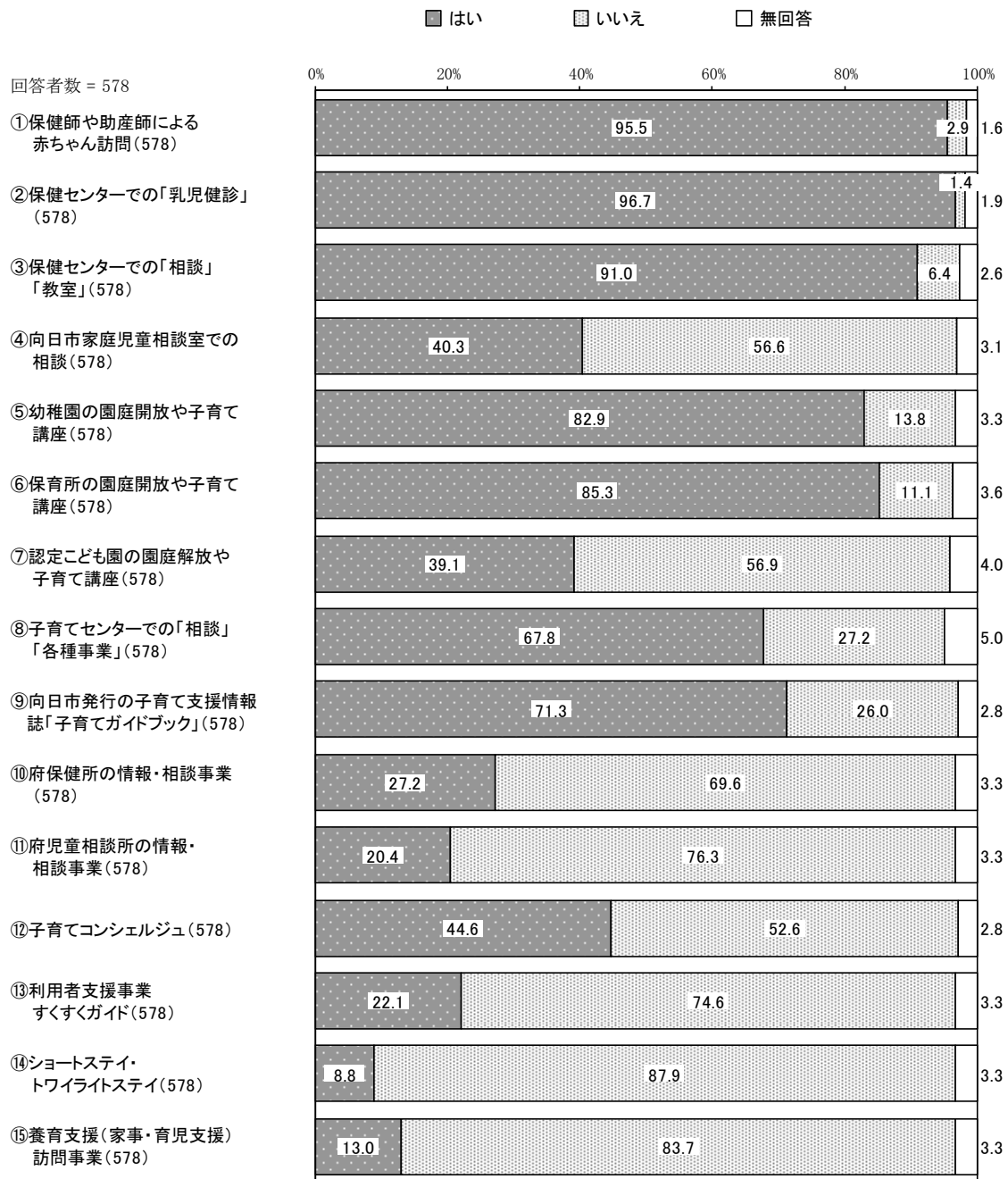
回答者数 = 70



問23 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

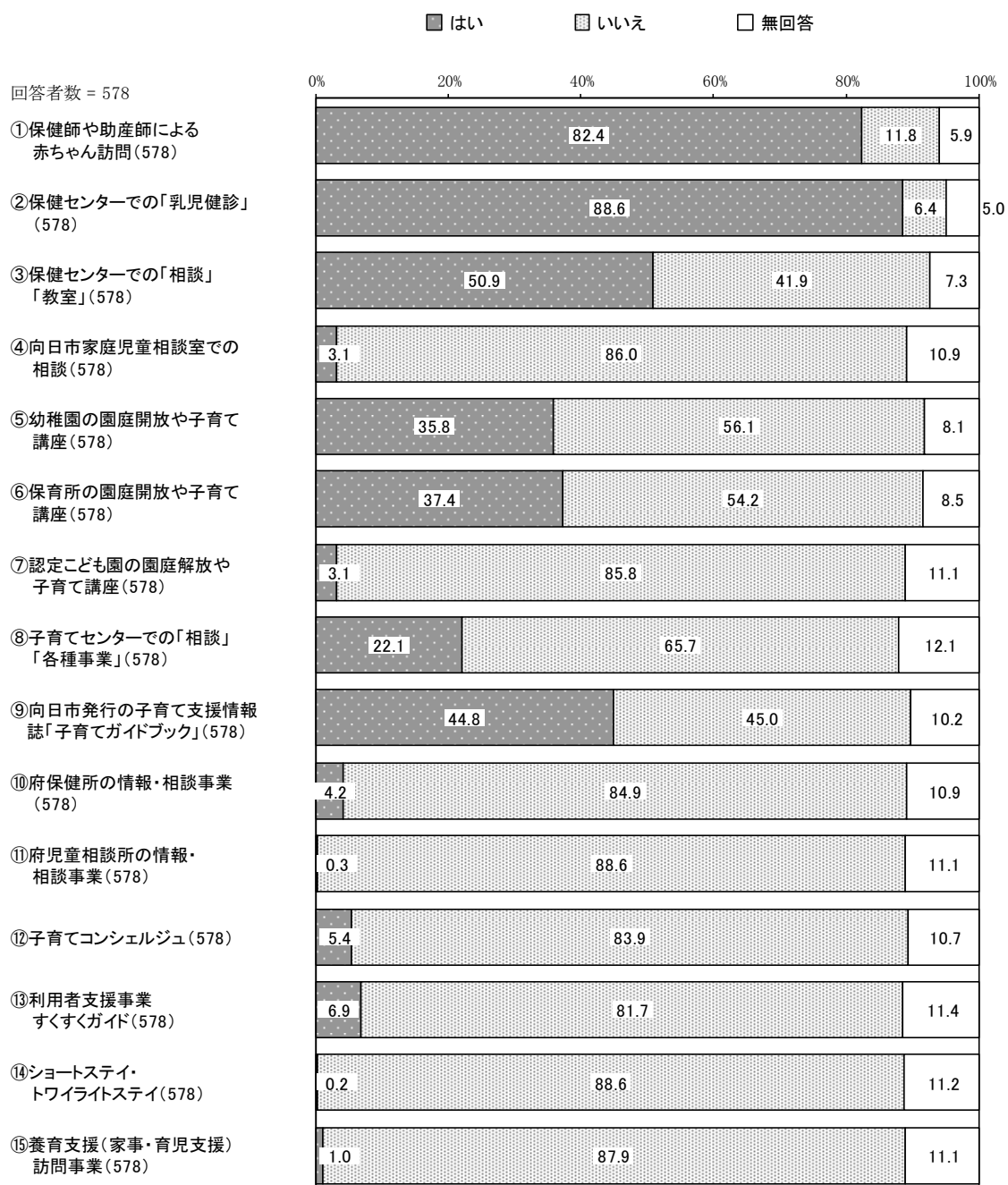
A 知っている

『①保健師や助産師による赤ちゃん訪問』『②保健センターでの「乳児健診」』『③保健センターでの「相談」「教室」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



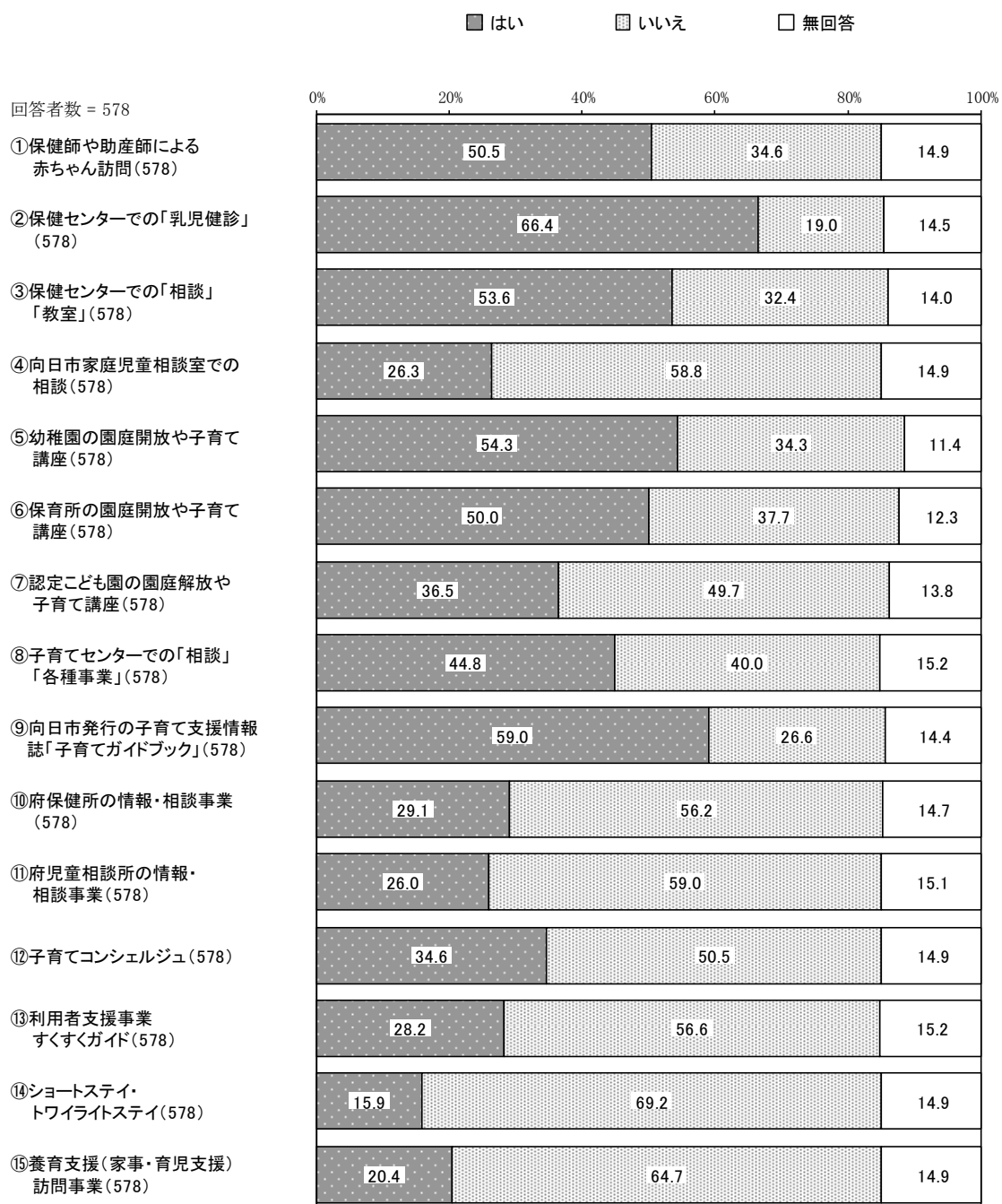
B これまでに利用したことがある

『①保健師や助産師による赤ちゃん訪問』『②保健センターでの「乳児健診」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『④向日市家庭児童相談室での相談』『⑦認定こども園の園庭解放や子育て講座』『⑩府保健所の情報・相談事業』『⑪府児童相談所の情報・相談事業』『⑫子育てコンシェルジュ』『⑬利用者支援事業 すくすくガイド』『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

『②保健センターでの「乳児健診」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑭ショートステイ・トワイライトステイ』『⑮養育支援（家事・育児支援）訪問事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

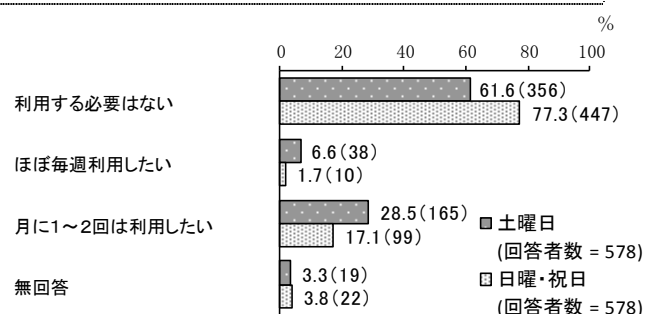


(8) 土曜・休日、長期休暇中の「定期的」な教育・保育の利用希望

問24 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～17時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

土曜日では「利用する必要はない」の割合が61.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が28.5%となっています。

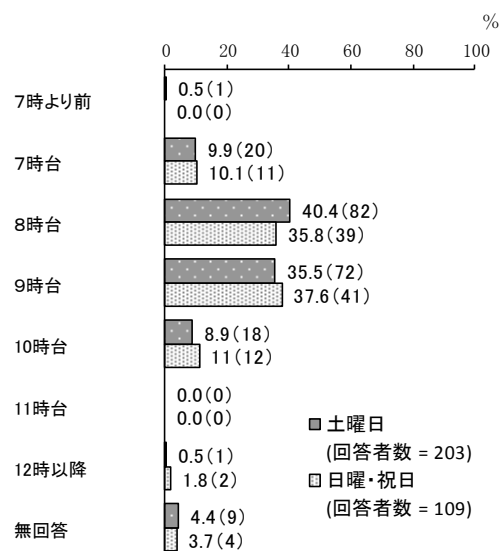
日曜・祝日では「利用する必要はない」の割合が77.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が17.1%となっています。



ア 利用開始時刻

土曜日では「8時台」の割合が40.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.5%となっています。

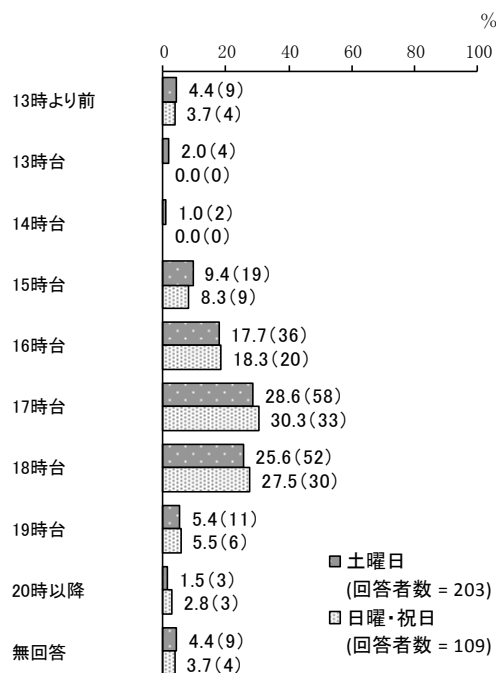
日曜・祝日では「9時台」の割合が37.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が35.8%、「10時台」の割合が11.0%となっています。



イ 利用終了時刻

土曜日では「17時台」の割合が28.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.6%、「16時台」の割合が17.7%となっています。

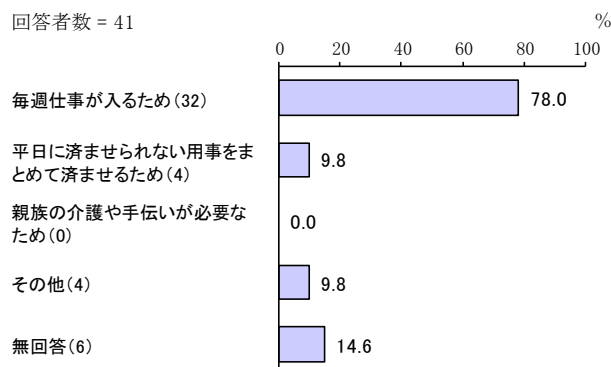
日曜・祝日では「17時台」の割合が30.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.5%、「16時台」の割合が18.3%となっています。



問24の（１）もしくは（２）で、「２ ほぼ毎週利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24－１ 毎週利用したい理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。
（複数回答可）

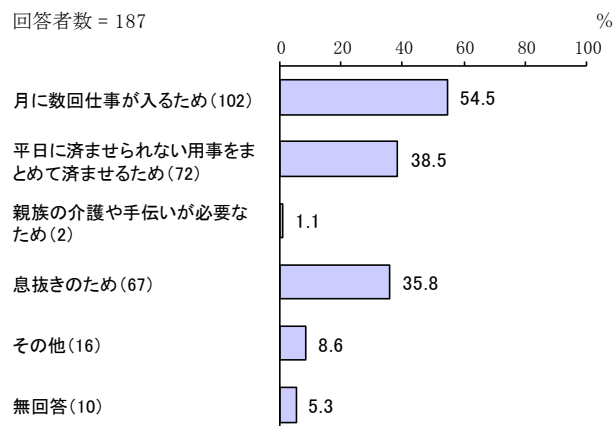
「毎週仕事が入るため」の割合が78.0%と最も高くなっています。



問24の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24－２ 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

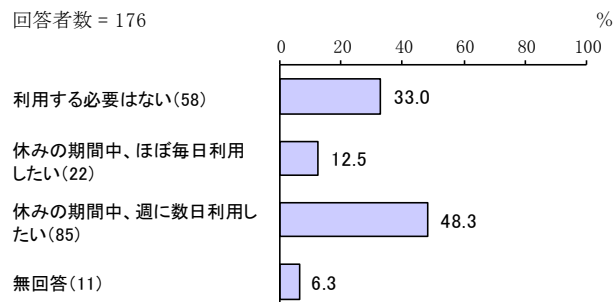
「月に数回仕事が入るため」の割合が54.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が38.5%、「息抜きのため」の割合が35.8%となっています。



「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

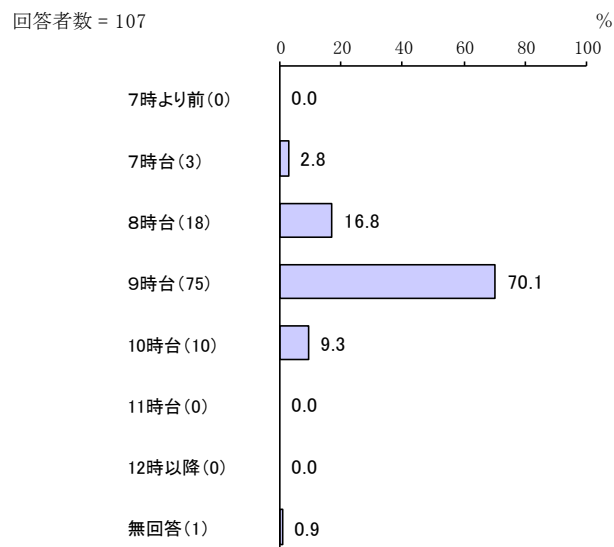
問25 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～17時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、利用者負担と実費が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が48.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が33.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が12.5%となっています。



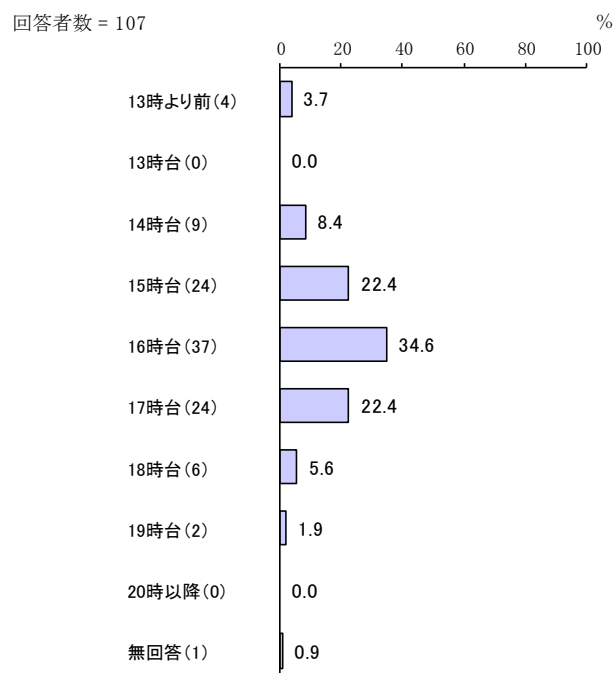
ア 希望利用開始時刻

「9時台」の割合が70.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が16.8%となっています。



イ 希望利用終了時刻

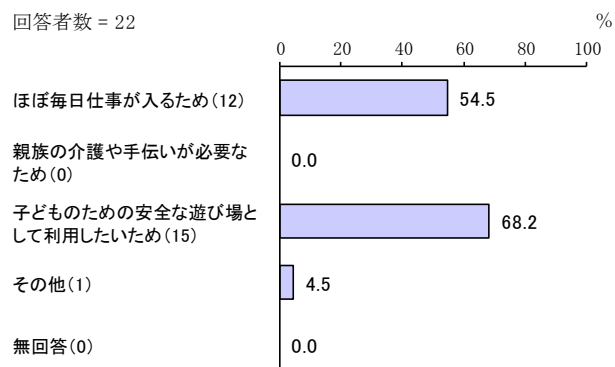
「16時台」の割合が34.6%と最も高く、次いで「15時台」、「17時台」の割合が22.4%となっています。



問25で、「2 ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問25－1 ほぼ毎日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「子どものための安全な遊び場として利用したいため」の割合が68.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日仕事が入るため」の割合が54.5%となっています。

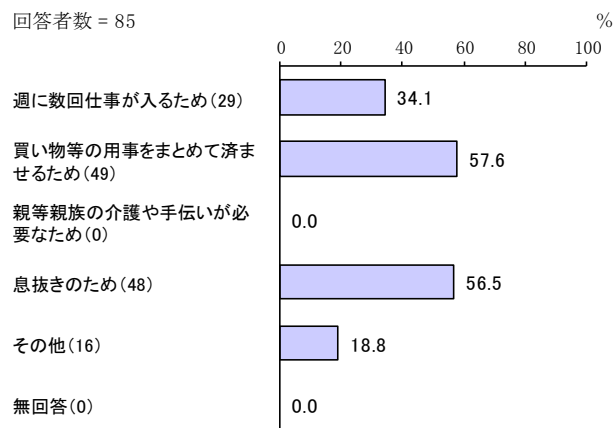


問25で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問25－2 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が57.6%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が56.5%、「週に数回仕事が入るため」の割合が34.1%となっています。

回答者数 = 85



(9) 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問26 子どもが病気の際、それを理由に仕事を休めたり、早退できますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「多少解決しなければならない状況はあるが休める、早退できる」の割合が37.2%と最も高く、次いで「問題なく休める、早退できる」の割合が32.5%、「嫌な雰囲気乗り越えれば休める、早退できる」の割合が12.9%となっています。

回答者数 = 419

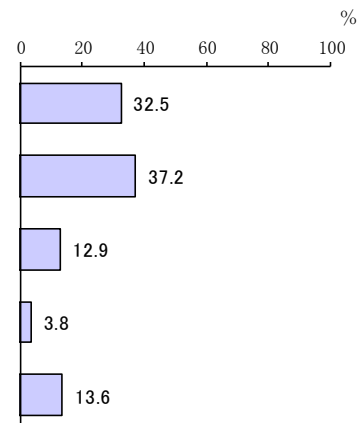
問題なく休める、早退できる
(136)

多少解決しなければならない状況はあるが休める、早退できる
(156)

嫌な雰囲気乗り越えれば休める、早退できる(54)

休めない、早退できない(16)

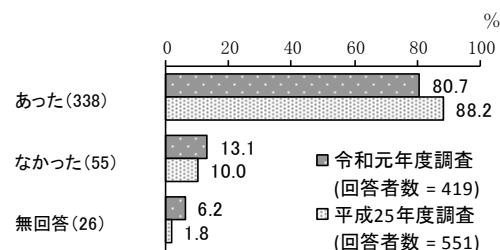
無回答(57)



問27 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所などを休んだことはありますか。

「あった」の割合が80.7%、「なかった」の割合が13.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、4歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	25 100.0	18 72.0	6 24.0	1 4.0
1歳	63 100.0	55 87.3	6 9.5	2 3.2
2歳	77 100.0	56 72.7	11 14.3	10 13.0
3歳	96 100.0	73 76.0	17 17.7	6 6.3
4歳	70 100.0	65 92.9	3 4.3	2 2.9
5歳	77 100.0	62 80.5	10 13.0	5 6.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

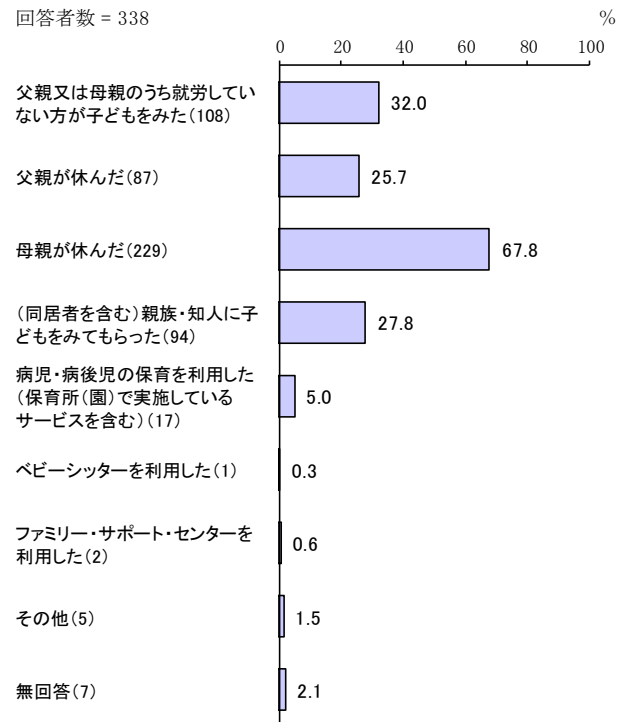
区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	155 100.0	138 89.0	16 10.3	1 0.6
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	19 100.0	17 89.5	2 10.5	— —
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	115 100.0	103 89.6	10 8.7	2 1.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4 100.0	4 100.0	— —	— —
以前は就労していたが、現在は就労していない	121 100.0	72 59.5	27 22.3	22 18.2
これまで就労したことがない	1 100.0	1 100.0	— —	— —

問27-1 お子さんが病気やけがで幼稚園、保育所などを休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号に○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）（複数回答可）。

「母親が休んだ」の割合が67.8%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が32.0%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が27.8%となっています。

n

回答者数 = 338



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳で「母親が休んだ」の割合が、2歳で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、%（下段）

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した（保育所（園）で実施しているサービスを含む）	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	その他	無回答
0歳	18 100.0	3 16.7	5 27.8	13 72.2	11 61.1	1 5.6	— —	— —	1 5.6	— —
1歳	55 100.0	12 21.8	17 30.9	43 78.2	14 25.5	2 3.6	— —	— —	1 1.8	3 5.5
2歳	56 100.0	13 23.2	23 41.1	42 75.0	14 25.0	2 3.6	— —	1 1.8	— —	1 1.8
3歳	73 100.0	25 34.2	23 31.5	46 63.0	17 23.3	5 6.8	— —	— —	1 1.4	— —
4歳	65 100.0	23 35.4	11 16.9	44 67.7	18 27.7	3 4.6	— —	— —	1 1.5	— —
5歳	62 100.0	29 46.8	7 11.3	36 58.1	17 27.4	3 4.8	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった （同居者を含む）親族・知人に	病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施しているサービスを含む）	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	138 100.0	13 9.4	60 43.5	124 89.9	57 41.3	14 10.1	— —	— —	3 2.2	— —
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	17 100.0	5 29.4	4 23.5	10 58.8	4 23.5	— —	— —	1 5.9	— —	3 17.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	103 100.0	21 20.4	18 17.5	87 84.5	23 22.3	1 1.0	— —	— —	— —	— —
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	— —	— —	— —	1 25.0	— —
以前は就労していたが、現在は就労していない	72 100.0	65 90.3	3 4.2	5 6.9	8 11.1	2 2.8	1 1.4	1 1.4	1 1.4	4 5.6
これまで就労したことがない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【１年間の対応日数】

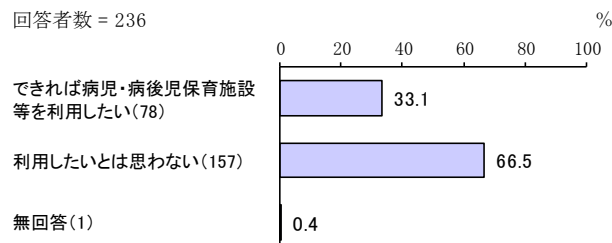
単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 15 日	16 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
ア 父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	108 100.0	9 8.3	10 9.3	12 11.1	4 3.7	19 17.6	34 31.5	8 7.4	3 2.8	2 1.9	7 6.5
イ 父親が休んだ	87 100.0	17 19.5	25 28.7	15 17.2	3 3.4	9 10.3	13 14.9	2 2.3	1 1.1	— —	2 2.3
ウ 母親が休んだ	229 100.0	18 7.9	22 9.6	31 13.5	16 7.0	33 14.4	64 27.9	13 5.7	10 4.4	14 6.1	8 3.5
エ（同居者を含む）親族・知人に 子どもをみてもらった	94 100.0	10 10.6	17 18.1	10 10.6	5 5.3	21 22.3	20 21.3	2 2.1	1 1.1	3 3.2	5 5.3
オ 病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施している サービスを含む）	17 100.0	3 17.6	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9
カ ベビーシッターを利用した	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0
キ ファミリー・サポート・センターを 利用した	2 100.0	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 50.0
ク その他	5 100.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	1 20.0	— —	1 20.0	— —	2 40.0

問27－1で「イ. 父親が休んだ」「ウ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

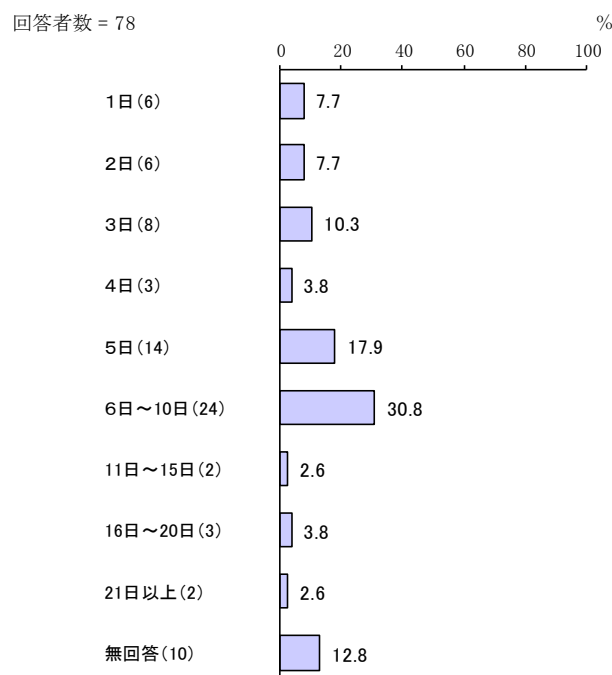
問27－2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が33.1%、「利用したいとは思わない」の割合が66.5%となっています。



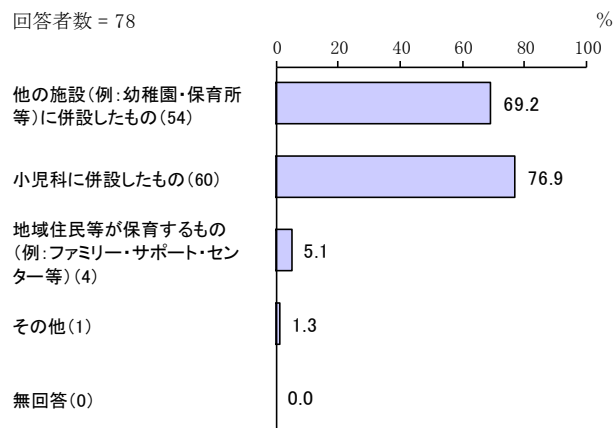
病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「6日～10日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が17.9%、「3日」の割合が10.3%となっています。



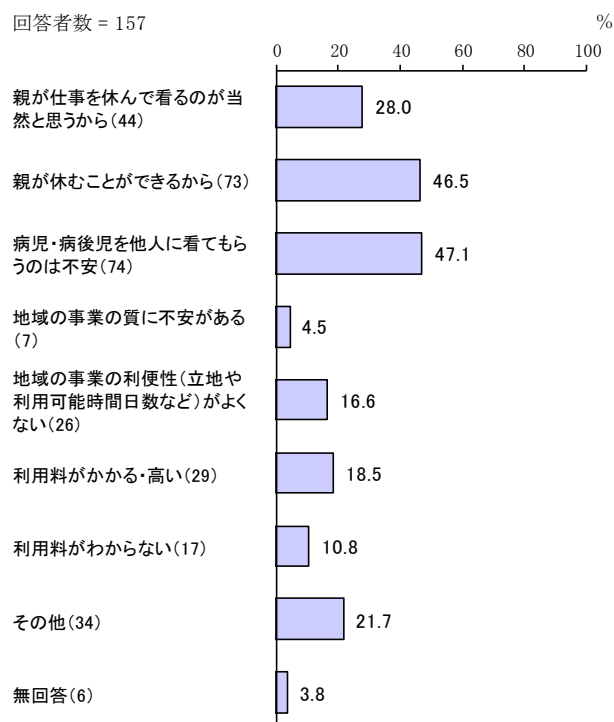
問27－3 問27－2で「1できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

「小児科に併設したもの」の割合が76.9%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が69.2%となっています。



問27－4 問27－2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

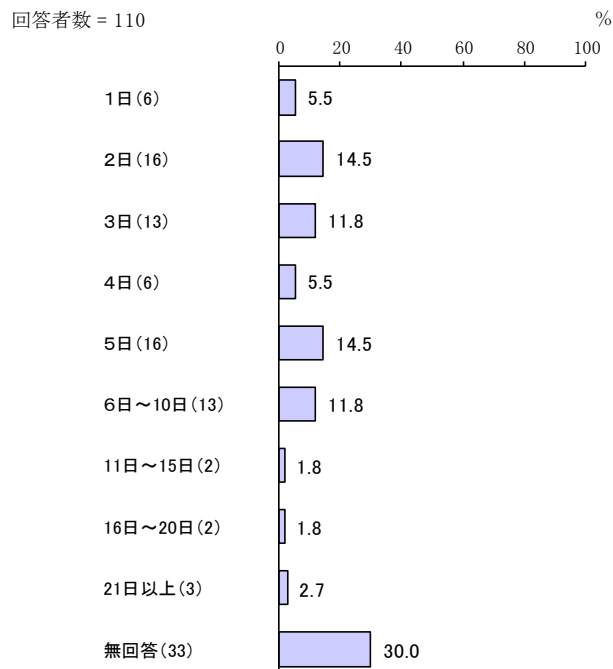
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が47.1%と最も高く、次いで「親が休むことができるから」の割合が46.5%、「親が仕事を休んで看るのが当然と思うから」の割合が28.0%となっています。



問27－1で「エ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。

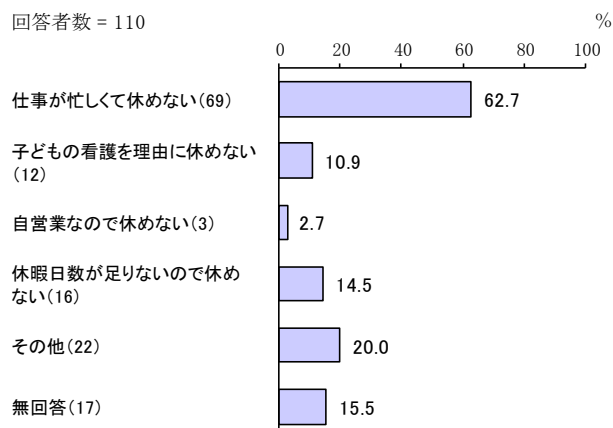
問27－5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。
「エ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「2日」、「5日」の割合が14.5%と最も高く、次いで「3日」、「6日～10日」の割合が11.8%となっています。



問27－6 休んで看ることができなかった理由について当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「仕事が忙しくて休めない」の割合が62.7%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が14.5%、「子どもの看護を理由に休めない」の割合が10.9%となっています。

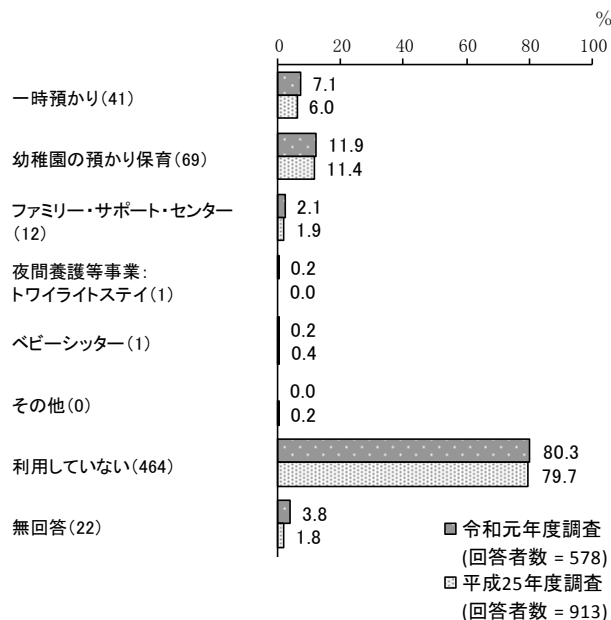


(10) 不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問28 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号に○をつけ、1年間のおおよその利用日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）（複数回答可）。

「利用していない」の割合が80.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が11.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【利用している事業・日数】

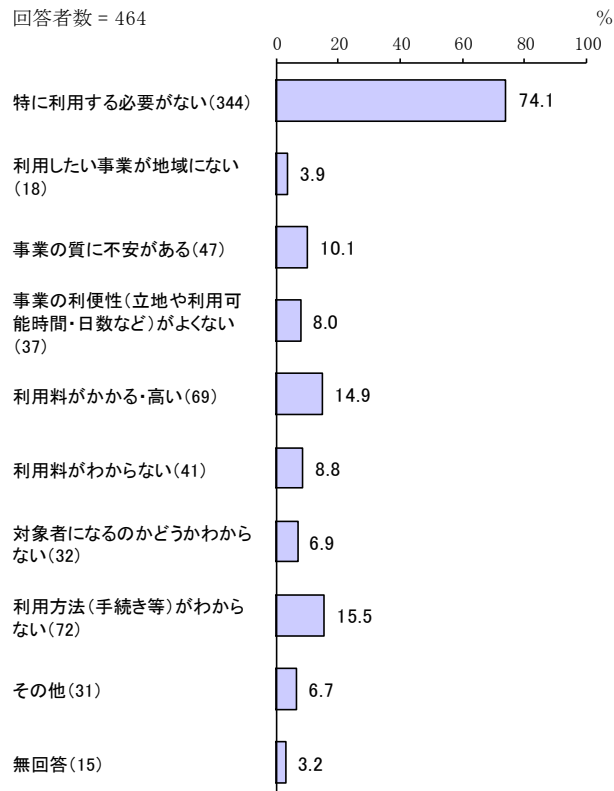
単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
1 一時預かり	41 100.0	19 46.3	3 7.3	3 7.3	1 2.4	—	3 7.3	—	2 4.9	5 12.2	5 12.2
2 幼稚園の預かり保育	69 100.0	1 1.4	10 14.5	6 8.7	4 5.8	5 7.2	15 21.7	2 2.9	3 4.3	16 23.2	7 10.1
3 ファミリー・サポート・センター	12 100.0	4 33.3	1 8.3	2 16.7	—	1 8.3	2 16.7	—	—	1 8.3	1 8.3
4 夜間養護等事業: トワイライトステイ	1 100.0	—	—	—	—	—	—	1 100.0	—	—	—
5 ベビーシッター	1 100.0	—	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
6 その他	— 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 28 で「7 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問28－1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

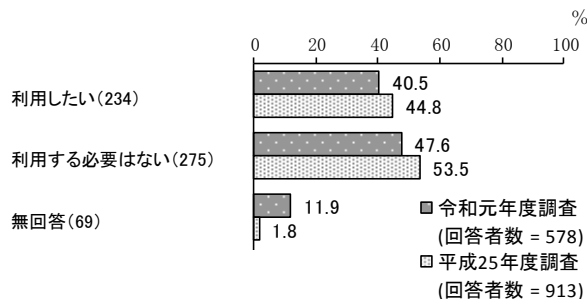
「特に利用する必要がない」の割合が74.1%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が15.5%、「利用料がかかる・高い」の割合が14.9%となっています。



問29 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で、年間何日くらい事業利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号に○をつけ、おおよその必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）（複数回答可）

「利用したい」の割合が40.5%、「利用する必要はない」の割合が47.6%となっています。

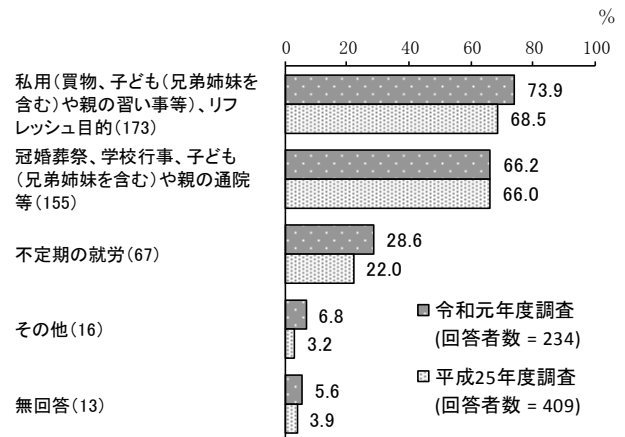
平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



1 利用したい（内訳）

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が73.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が66.2%、「不定期の就労」の割合が28.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「不定期の就労」の割合が増加しています。



【利用希望日数】

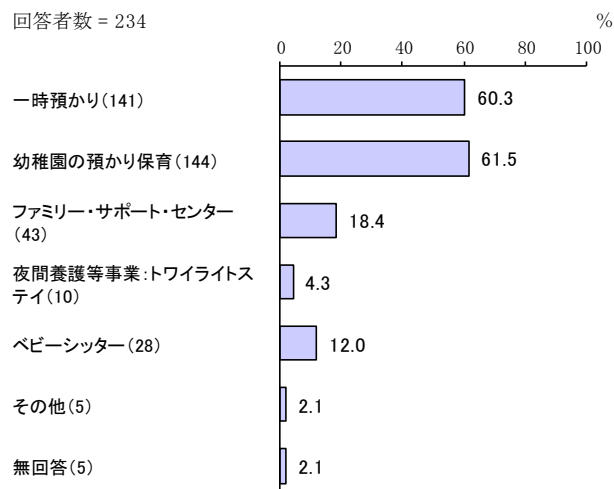
単位：件（上段）、%（下段）

区分	有効回答数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 15 日	16 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	173 100.0	7 4.0	16 9.2	9 5.2	4 2.3	20 11.6	37 21.4	35 20.2	7 4.0	30 17.3	8 4.6
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	155 100.0	8 5.2	14 9.0	18 11.6	2 1.3	38 24.5	45 29.0	10 6.5	8 5.2	5 3.2	7 4.5
ウ 不定期の就労	67 100.0	1 1.5	6 9.0	3 4.5	4 6.0	12 17.9	13 19.4	5 7.5	2 3.0	18 26.9	3 4.5
エ その他	16 100.0	1 6.3	—	2 12.5	—	3 18.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	4 25.0	1 6.3

問29で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問29－1 問29の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

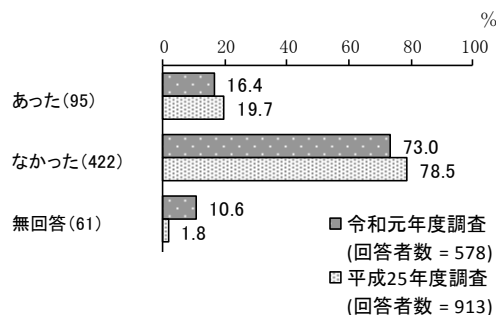
「幼稚園の預かり保育」の割合が61.5%と最も高く、次いで「一時預かり」の割合が60.3%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が18.4%となっています。



問30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）（複数回答可）。

「あった」の割合が16.4%、「なかった」の割合が73.0%となっています。

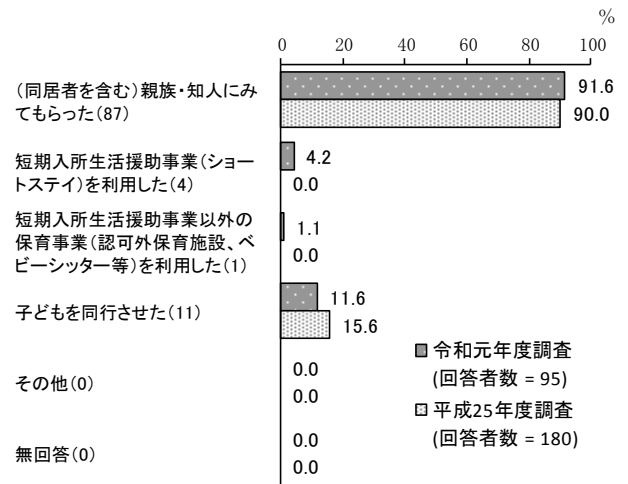
平成25年度調査と比較すると、「なかった」の割合が減少しています。



1 あった（内訳）

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が91.6%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」の割合が11.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【1年間の対応日数】

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 15泊	16泊 ～ 20泊	21泊 以上	無回答
ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	87 100.0	26 29.9	12 13.8	11 12.6	2 2.3	16 18.4	8 9.2	— —	3 3.4	3 3.4	6 6.9
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	4 100.0	— —	1 25.0	1 25.0	— —	— —	— —	1 25.0	— —	— —	1 25.0
ウ 短期入所生活援助事業以外の保育事業	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0
エ 子どもを同行させた	11 100.0	2 18.2	6 54.5	— —	1 9.1	1 9.1	— —	— —	— —	— —	1 9.1
オ その他	— 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

問30で「1 あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問30－1 その場合、頼みやすかったですか。当てはまる番号に○をつけてください。

「頼みにくい」と「どちらかというと頼みにくい」をあわせた“頼みにくい”の割合が29.8%、
「どちらかというと頼みやすい」と「頼みやすい」をあわせた“頼みやすい”の割合が67.8%となっています。

回答者数 = 87

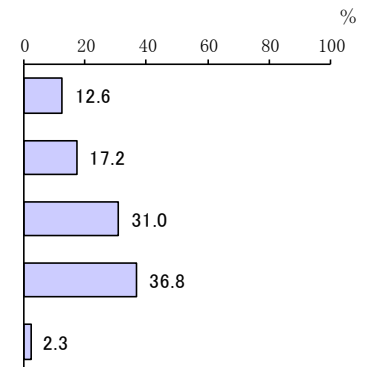
頼みにくい(11)

どちらかというと頼みにくい(15)

どちらかというと頼みやすい
(27)

頼みやすい(32)

無回答(2)

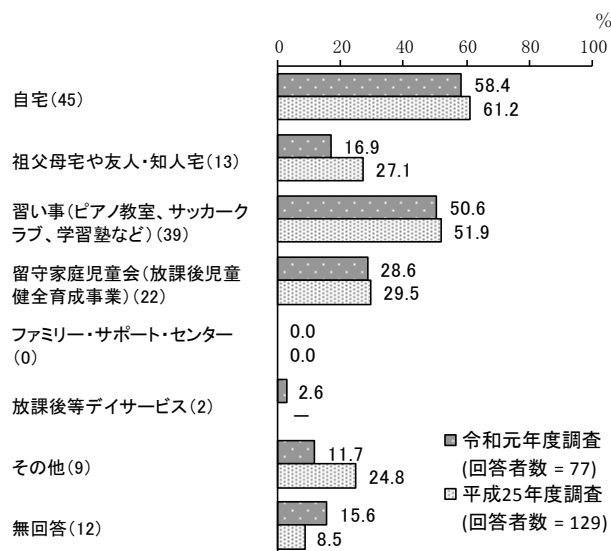


(11) 放課後の過ごし方（子どもが5歳以上の方のみ）

問31 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）また、「留守家庭児童会」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が58.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が50.6%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が28.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。



※平成25年度調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

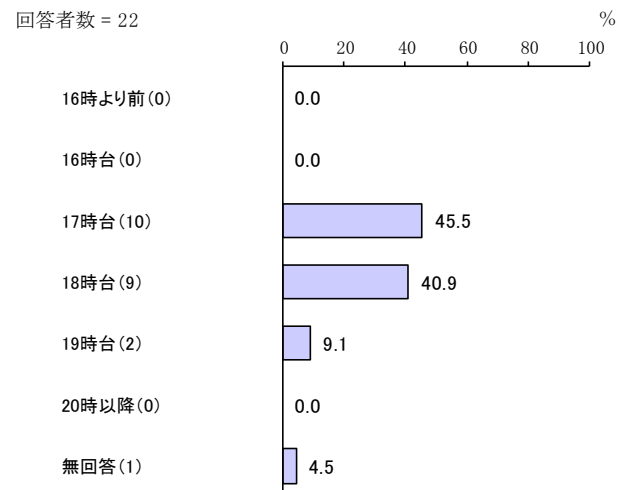
【放課後の過ごさせたい場所（小学校低学年）】

単位：件（上段）、%（下段）

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1 自宅	45 100.0	4 8.9	8 17.8	17 37.8	4 8.9	9 20.0	1 2.2	1 2.2	1 2.2
2 祖父母宅や友人・知人宅	13 100.0	6 46.2	5 38.5	2 15.4	— —	— —	— —	— —	— —
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	39 100.0	10 25.6	20 51.3	8 20.5	1 2.6	— —	— —	— —	— —
4 留守家庭児童会(放課後児童健全育成事業)	22 100.0	1 4.5	1 4.5	3 13.6	3 13.6	14 63.6	— —	— —	— —
5 ファミリー・サポート・センター	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
6 放課後等デイサービス	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
7 その他	9 100.0	1 11.1	4 44.4	— —	1 11.1	2 22.2	— —	— —	1 11.1

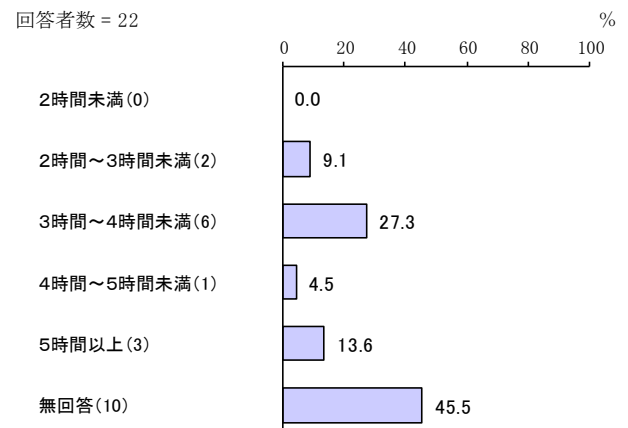
(ア) 留守家庭児童会の利用終了時刻

「17時台」の割合が45.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が40.9%となっています。



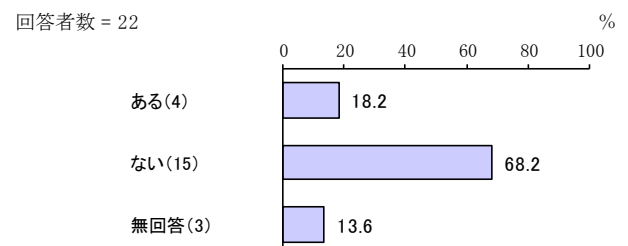
(イ) 留守家庭児童会の利用時間

「3時間～4時間未満」の割合が27.3%と最も高く、次いで「5時間以上」の割合が13.6%となっています。



(ウ) 留守家庭児童会の土・日の利用

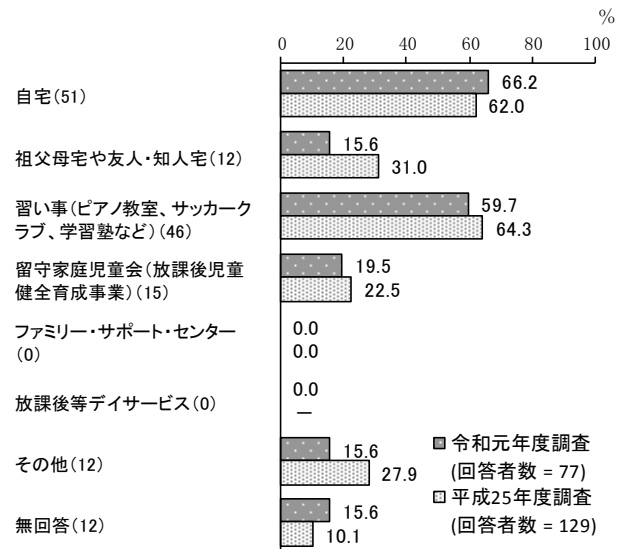
「ある」の割合が18.2%、「ない」の割合が68.2%となっています。



問32 お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）また、「留守家庭児童会」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

「自宅」の割合が66.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が59.7%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が19.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。



※平成25年度調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

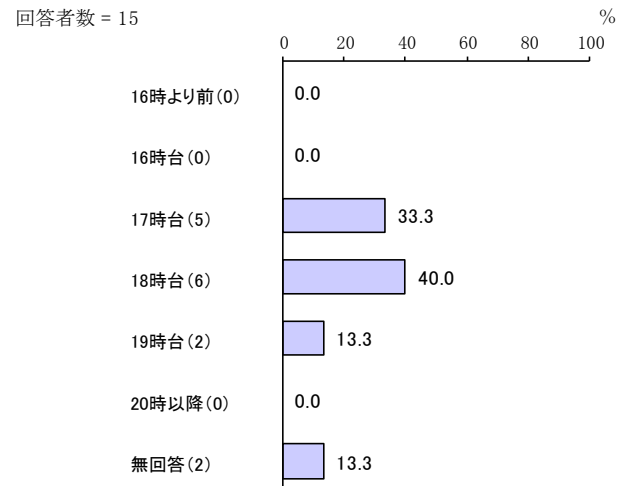
【放課後の過ごさせたい場所（小学校高学年）】

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1 自宅	51 100.0	2 3.9	16 31.4	16 31.4	4 7.8	9 17.6	1 2.0	1 2.0	2 3.9
2 祖父母宅や友人・知人宅	12 100.0	3 25.0	7 58.3	1 8.3	— —	— —	— —	— —	1 8.3
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	46 100.0	5 10.9	22 47.8	14 30.4	3 6.5	1 2.2	— —	— —	1 2.2
4 留守家庭児童会 (放課後児童健全育成事業)	15 100.0	— —	4 26.7	2 13.3	1 6.7	7 46.7	— —	— —	1 6.7
5 ファミリー・サポート・センター	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
6 放課後等デイサービス	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
7 その他	12 100.0	2 16.7	4 33.3	3 25.0	— —	3 25.0	— —	— —	— —

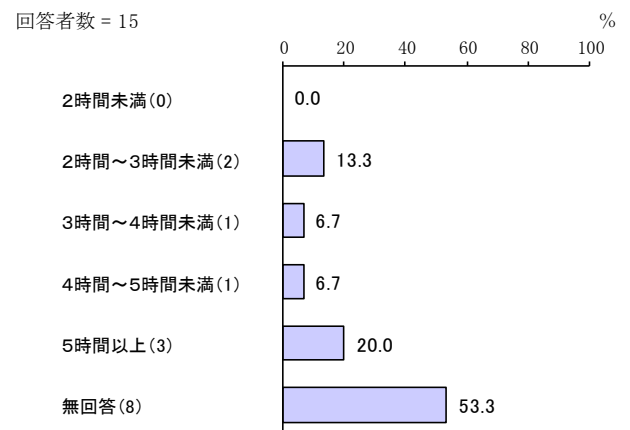
(ア) 留守家庭児童会の利用終了時刻

「18時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%、「19時台」の割合が13.3%となっています。



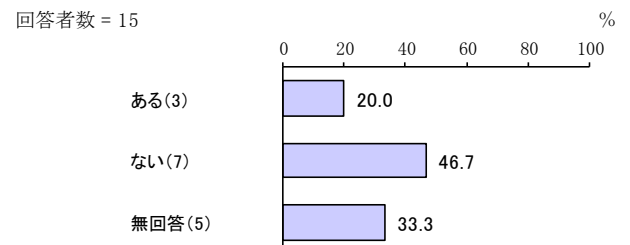
(イ) 留守家庭児童会利用時間

「5時間以上」の割合が20.0%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が13.3%となっています。



(ウ) うち土・日の利用

「ある」の割合が20.0%、「ない」の割合が46.7%となっています。

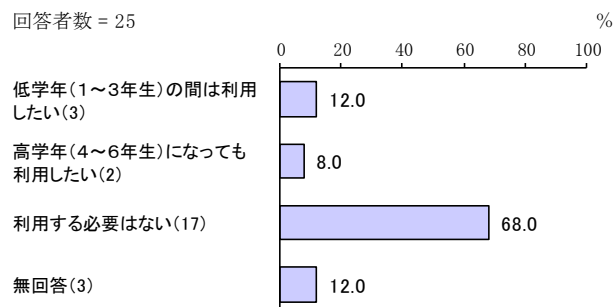


問31または問32で「4 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問33 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望はありますか。事業の利用には、利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 09時～17時 のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が68.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が12.0%となっています。



ア 希望利用開始時刻

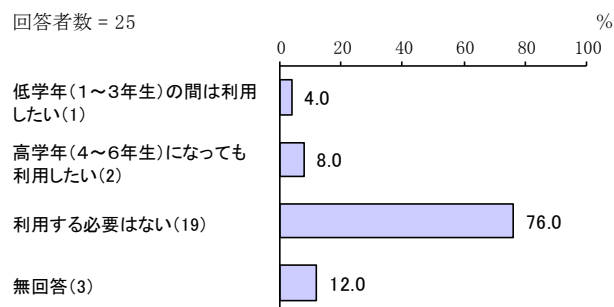
「8時台」が3件となっています。「7時台」、「12時以降」が1件となっています。

イ 希望利用終了時刻

「17時台」が3件となっています。「18時台」が2件となっています。

(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が76.0%と最も高くなっています。



ア 希望利用開始時刻

「8時台」が2件となっています。「7時台」が1件となっています。

イ 希望利用終了時刻

「18時台」が2件となっています。「17時台」が1件となっています。

問34 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童会の利用希望はありますか。利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～17時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「利用する必要はない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が20.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が16.9%となっています。

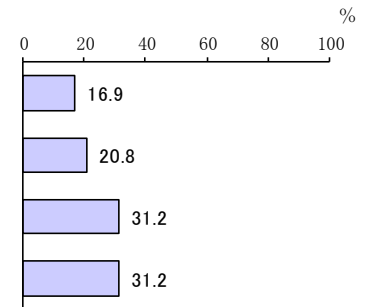
回答者数 = 77

低学年（1～3年生）の間は利用したい(13)

高学年（4～6年生）になっても利用したい(16)

利用する必要はない(24)

無回答(24)



ア 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が48.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.0%、「7時台」の割合が17.2%となっています。

回答者数 = 29

7時より前(0)

7時台(5)

8時台(14)

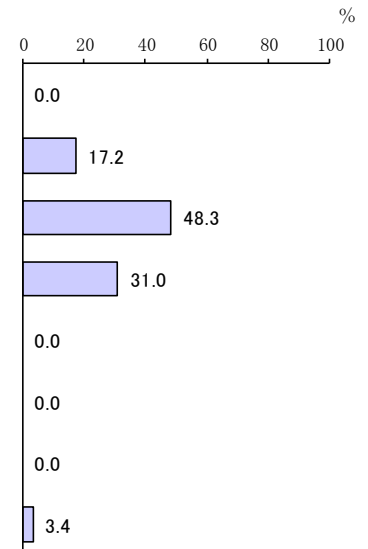
9時台(9)

10時台(0)

11時台(0)

12時以降(0)

無回答(1)



イ 希望利用終了時刻

「17時台」の割合が34.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.6%、「16時台」、「19時台」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 29

13時より前(0)

13時台(0)

14時台(0)

15時台(1)

16時台(4)

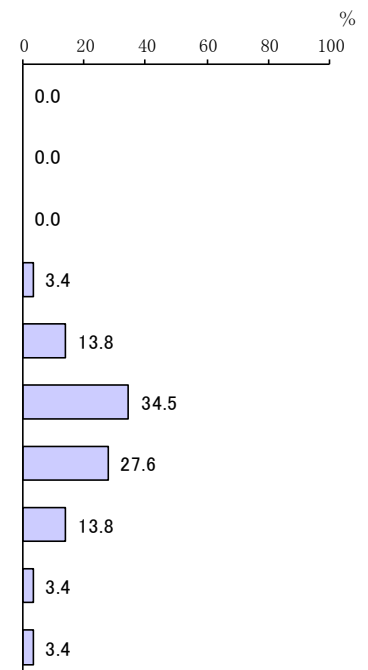
17時台(10)

18時台(8)

19時台(4)

20時以降(1)

無回答(1)



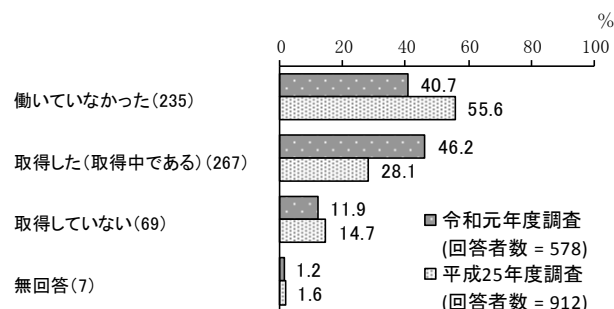
(12) 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度

問35 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号に○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

ア 母親（いずれかに○）

「取得した（取得中である）」の割合が46.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が40.7%、「取得していない」の割合が11.9%となっています。

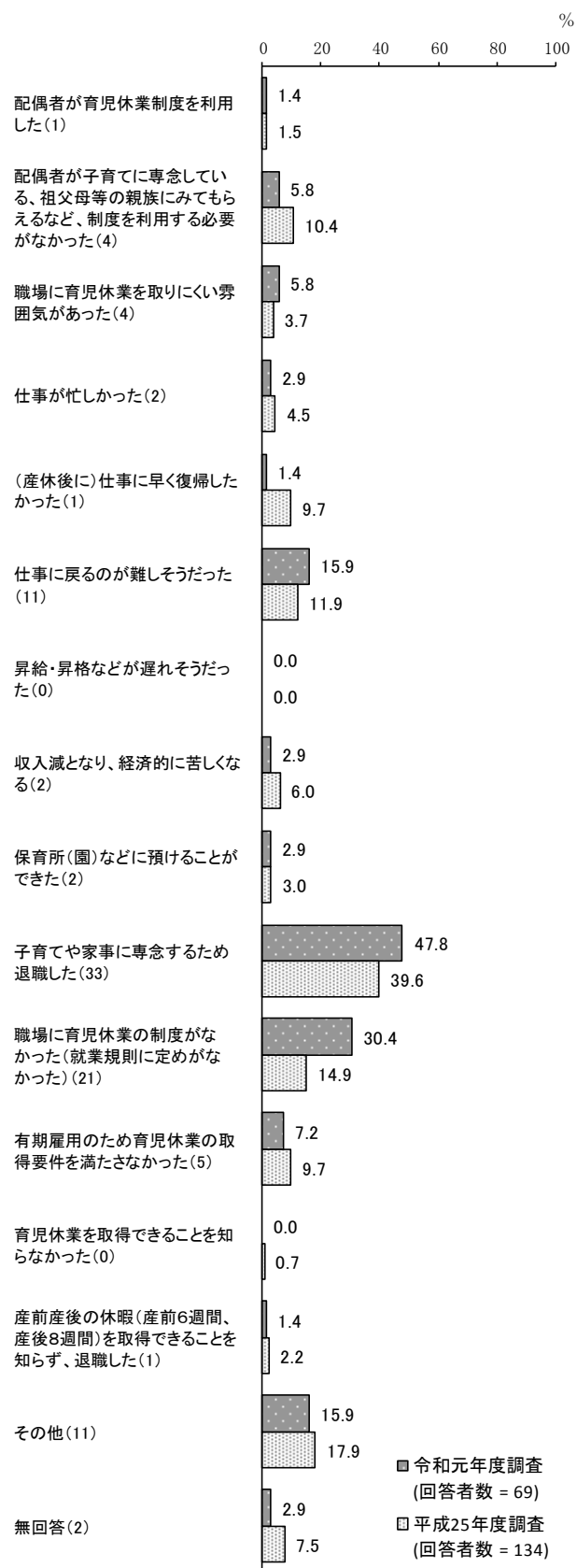
平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



(ア) 取得していない理由（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が47.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が30.4%、「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が15.9%となっています。

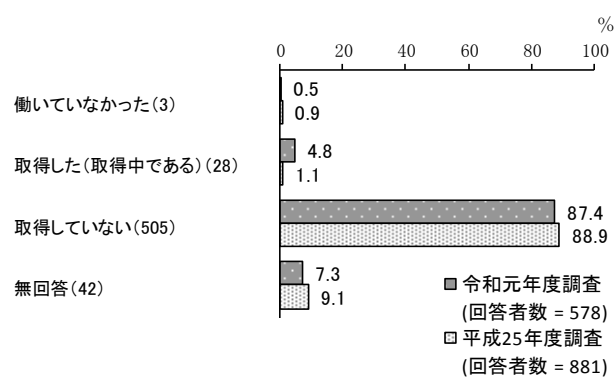
平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」の割合が減少しています。



イ 父親（いずれかに○）

「取得していない」の割合が87.4%と最も高くなっています。

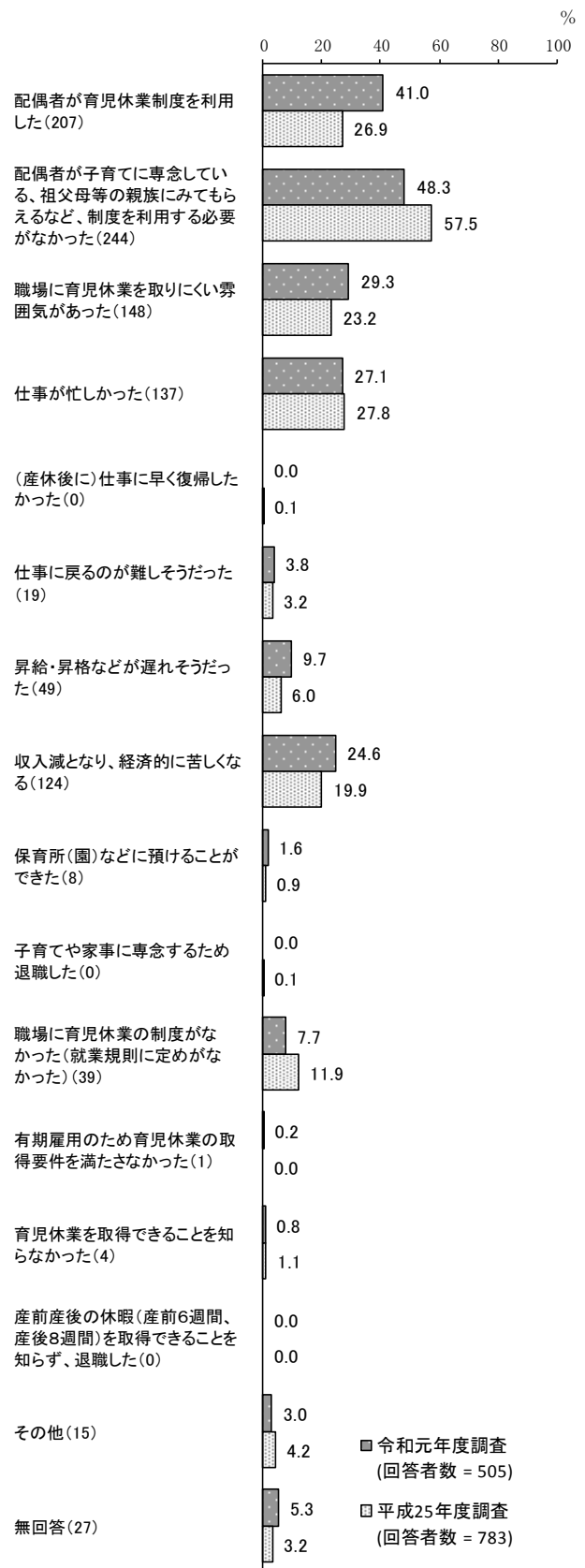
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 取得していない理由（いくつでも）

「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が48.3%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が41.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が29.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

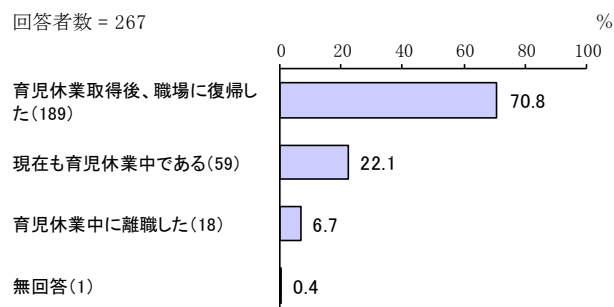


問35で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問35－1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

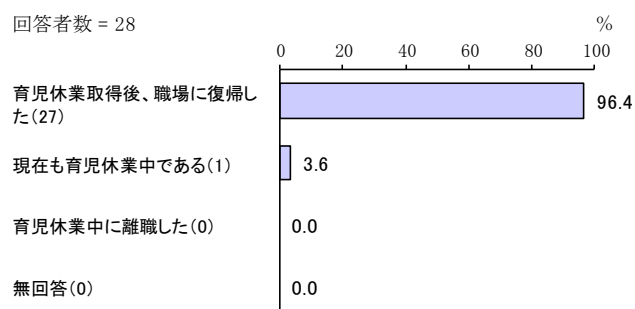
ア 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が70.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が22.1%となっています。



イ 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が96.4%と最も高くなっています。

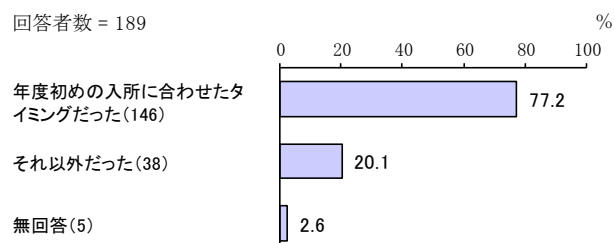


問35－1で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問35－2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

ア 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が77.2%、「それ以外だった」の割合が20.1%となっています。



イ 父親

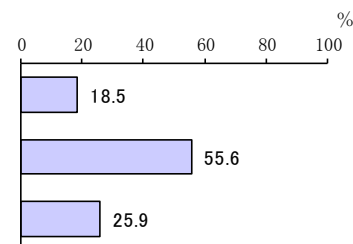
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が18.5%、「それ以外だった」の割合が55.6%となっています。

回答者数 = 27

年度初めの入所に合わせたタイミングだった(5)

それ以外だった(15)

無回答(7)



問35-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

ア 母親

(ア) 実際の取得期間

「1歳～1歳6か月未満」の割合が41.8%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が30.7%、「1歳6か月～2歳未満」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 189

0歳6か月未満(11)

6か月～1歳未満(58)

1歳～1歳6か月未満(79)

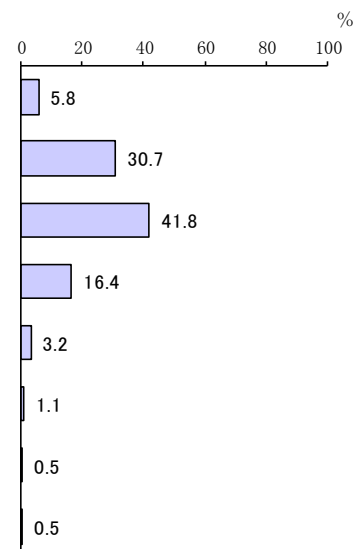
1歳6か月～2歳未満(31)

2歳～2歳6か月未満(6)

2歳6か月～3歳未満(2)

3歳以上(1)

無回答(1)



(イ) 希望の取得期間

「1歳～1歳6か月未満」の割合が43.9%と最も高く、次いで「1歳6か月～2歳未満」の割合が20.6%、「2歳～2歳6か月未満」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 189

0歳6か月未満(1)

6か月～1歳未満(5)

1歳～1歳6か月未満(83)

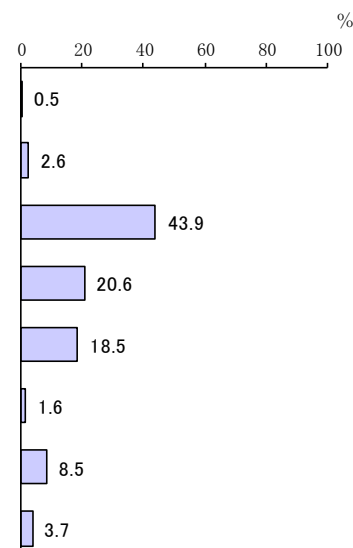
1歳6か月～2歳未満(39)

2歳～2歳6か月未満(35)

2歳6か月～3歳未満(3)

3歳以上(16)

無回答(7)

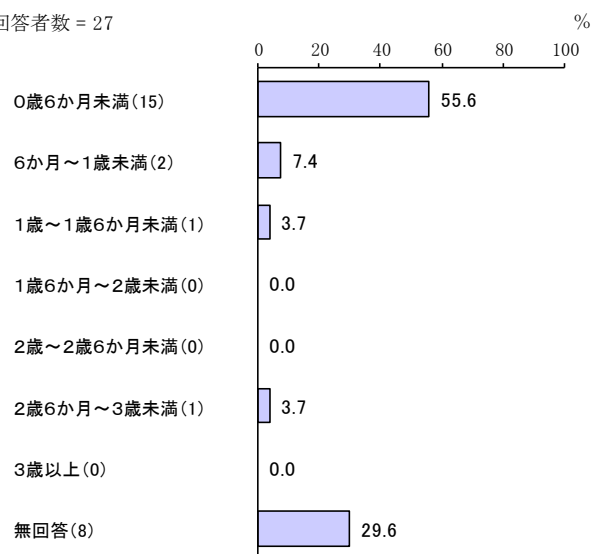


イ 父親

(ア) 実際の取得期間

「0歳6か月未満」の割合が55.6%と最も高くなっています。

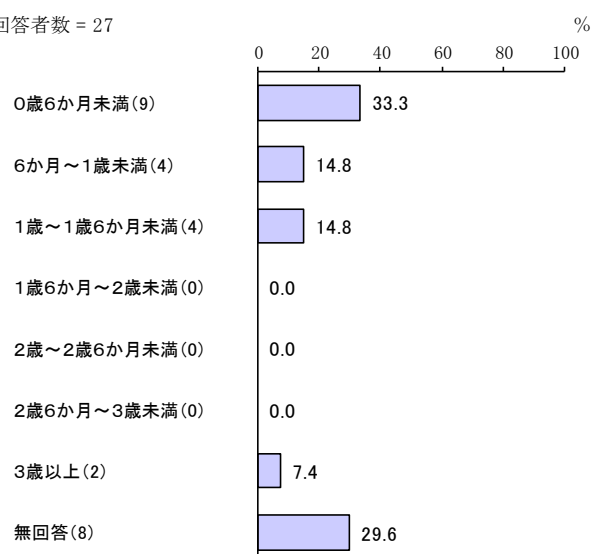
回答者数 = 27



(イ) 希望の取得期間

「0歳6か月未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」、「1歳～1歳6か月未満」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 27

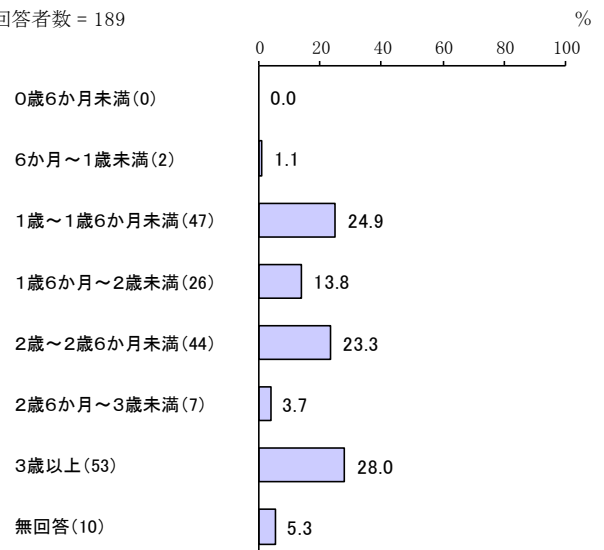


問35－4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

ア 母親

「3歳以上」の割合が28.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が24.9%、「2歳～2歳6か月未満」の割合が23.3%となっています。

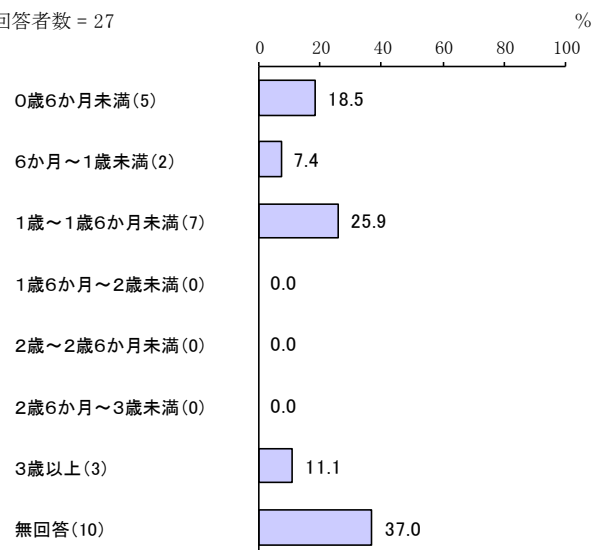
回答者数 = 189



イ 父親

「1歳～1歳6か月未満」の割合が25.9%と最も高く、次いで「0歳6か月未満」の割合が18.5%、「3歳以上」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 27



問35－3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

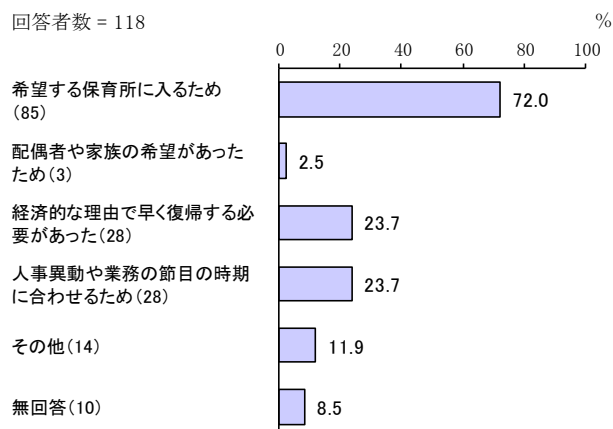
問35－5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

ア 母親

「希望する保育所に入るため」の割合が72.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が23.7%となっています。

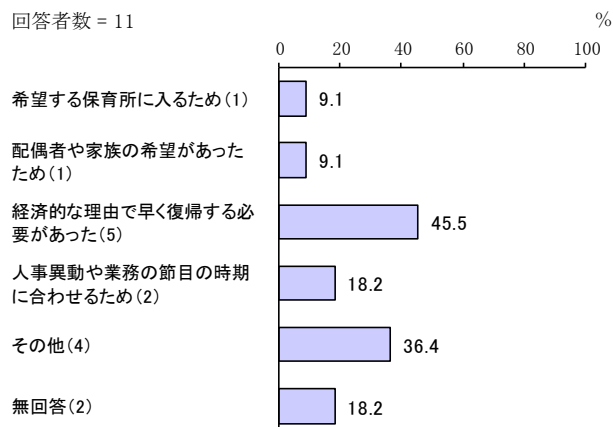
回答者数 = 118



イ 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が45.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 11

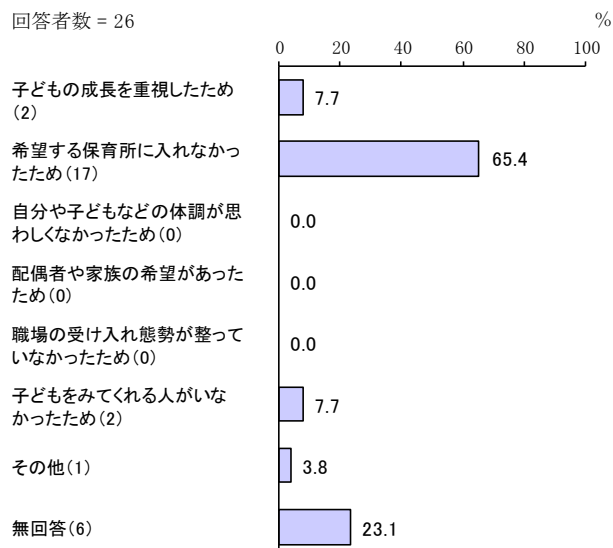


(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

ア 母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が65.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 26



イ 父親

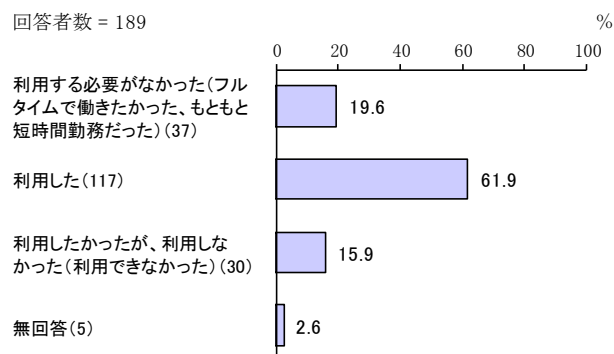
有効回答がありませんでした。

問 35－ 1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問35－ 6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

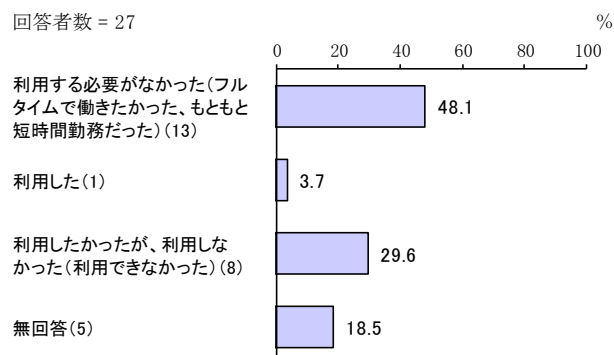
ア 母親

「利用した」の割合が61.9%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が19.6%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が15.9%となっています。



イ 父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が48.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が29.6%となっています。

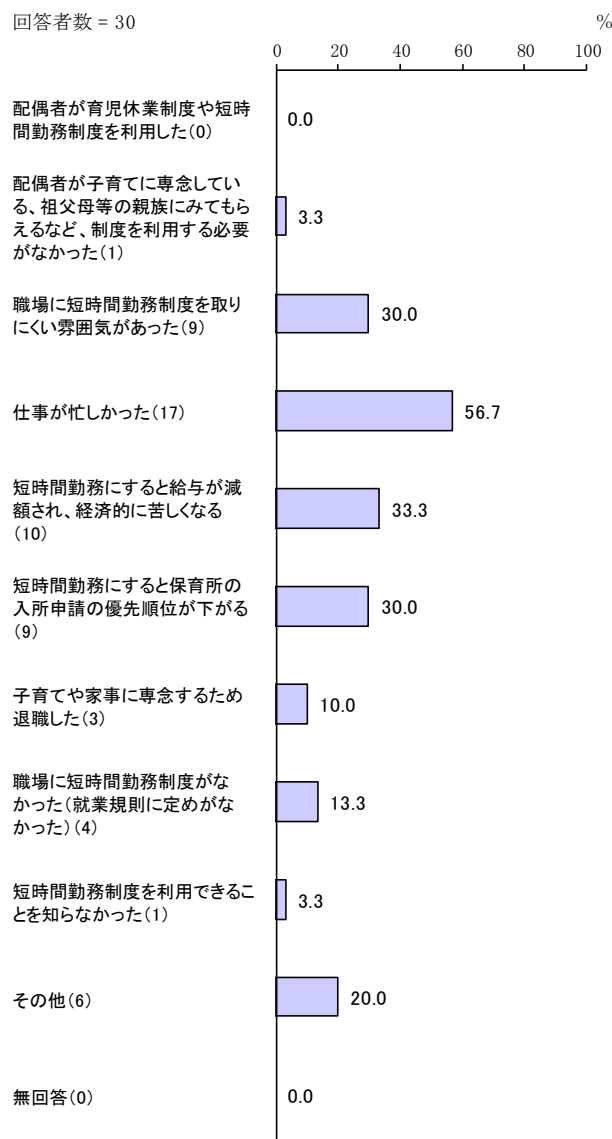


問35－6で「3利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問35－7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由に○をつけてください。（3つまで）

ア 母親

「仕事が忙しかった」の割合が56.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が33.3%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が30.0%となっています。



イ 父親

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が6件となっています。「仕事が忙しかった」が3件、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が1件となっています。

問35－7で「3 職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」と回答した方にうかがいます。

問35－8 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由は何ですか。当てはまる理由に○をつけてください。(3つまで)

ア 母親

「業務が他の人の負担となるから」が9件、「取得している人がいないから」が4件、「職場の人の理解が得られないから」が3件となっています。

イ 父親

「取得している人がいないから」が1件となっています。

問35－1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問35－9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

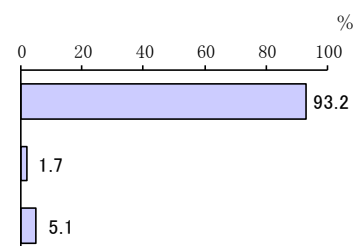
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が93.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が1.7%となっています。

回答者数 = 59

1歳になるまで育児休業を取得したい(55)

1歳になる前に復帰したい(1)

無回答(3)

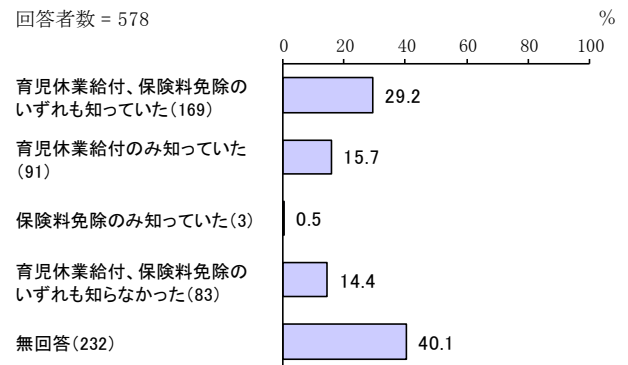


イ 父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件となっています。

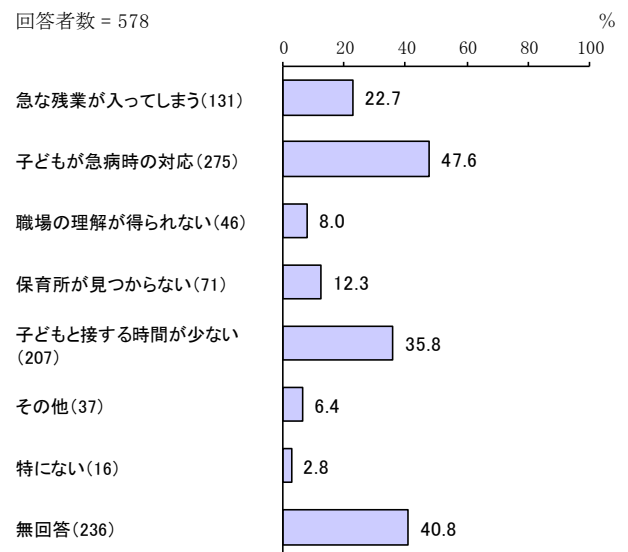
問35－10 子どもが原則１歳(※1)になるまで育児休業給付が支給される制度、子どもが満３歳になるまでの育児休業等(※2)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度がありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が29.2%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が15.7%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が14.4%となっています。



問35－11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「子どもが急病時の対応」の割合が47.6%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の割合が35.8%、「急な残業が入ってしまう」の割合が22.7%となっています。



問35－12 子育てと介護を同時に行っている（いた）ことがありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

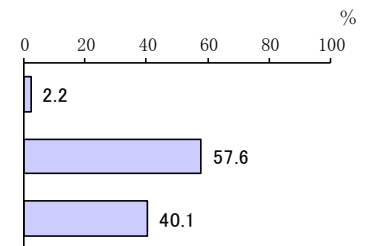
「同時におこなっている（いた）」の割合が2.2%、「同時におこなっていない」の割合が57.6%となっています。

回答者数 = 578

同時におこなっている(いた)
(13)

同時におこなっていない(333)

無回答(232)



イ 父親

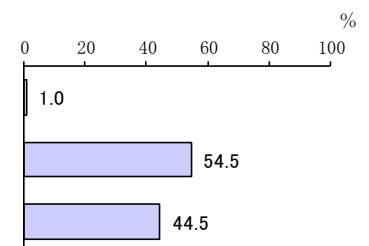
「同時におこなっている（いた）」の割合が1.0%、「同時におこなっていない」の割合が54.5%となっています。

回答者数 = 578

同時におこなっている(いた)
(6)

同時におこなっていない(315)

無回答(257)



問35－12で「1 同時に行って（いた）」と回答した方にうかがいます。

問35－13 仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

「仕事を継続」の割合が46.2%と最も高く、次いで「仕事を休職」の割合が23.1%、「勤務形態を変更」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

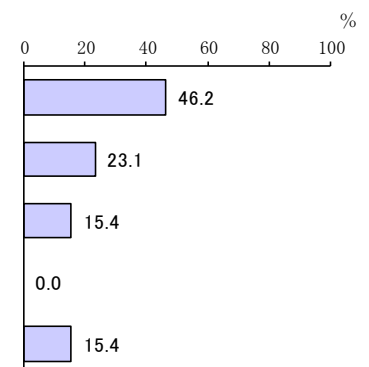
仕事を継続(6)

仕事を休職(3)

勤務形態を変更(2)

仕事を辞めた(0)

無回答(2)



イ 父親

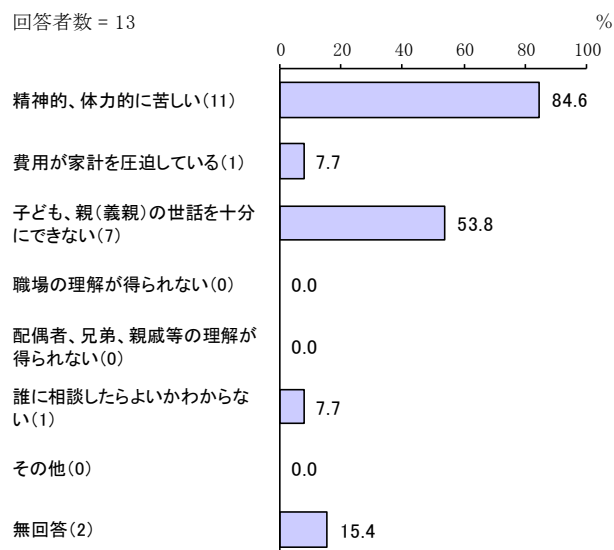
「仕事を継続」が5件となっています。「仕事を辞めた」が1件となっています。

問35-12で「1 同時に行って（いた）」と回答した方にうかがいます。

問35-14 大変だと感じている（いた）事があれば、当てはまる番号に○をつけてください。（3つまで）

ア 母親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が84.6%と最も高く、次いで「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」の割合が53.8%となっています。



イ 父親

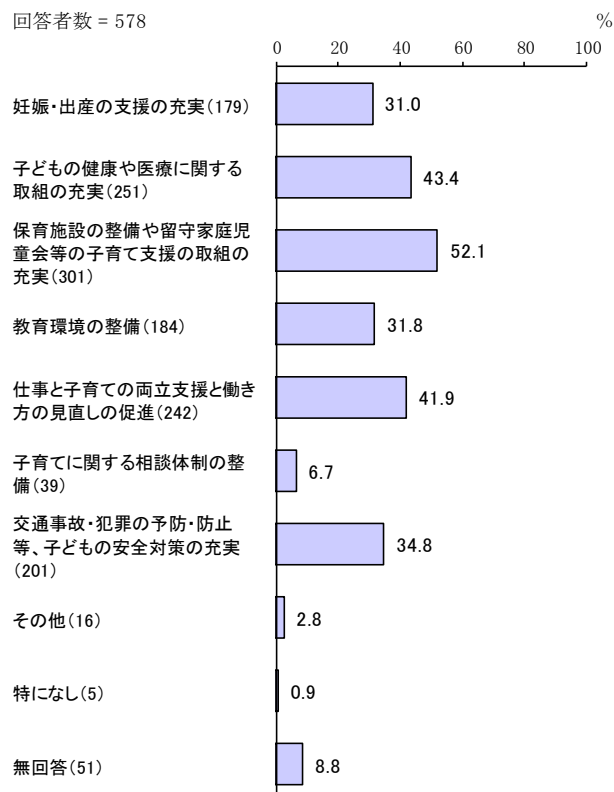
「精神的、体力的に苦しい」が3件となっています。「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」が2件、「費用が家計を圧迫している」が1件となっています。

(13) 子育て支援対策全般

問36 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(3つまで)

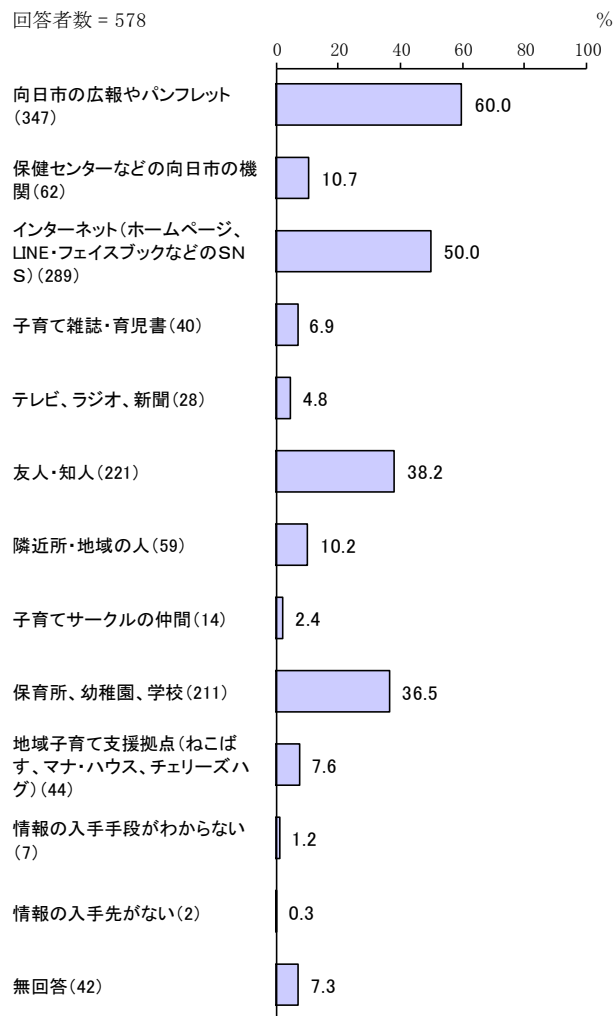
「保育施設の整備や留守家庭児童会等の子育て支援の取組の充実」の割合が52.1%と最も高く、次いで「子どもの健康や医療に関する取組の充実」の割合が43.4%、「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が41.9%となっています。

回答者数 = 578



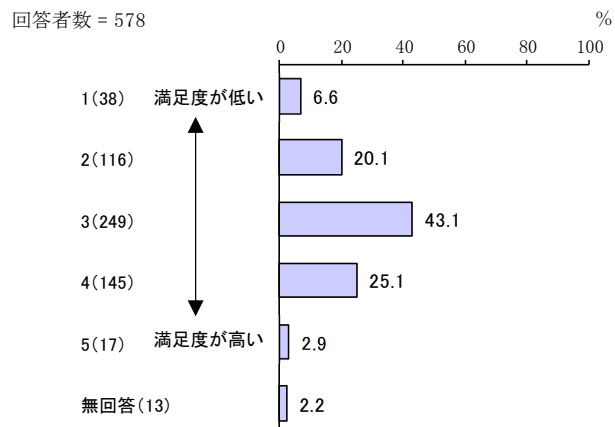
問37 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。あてはまるものに○をつけてください。(3つまで)

「向日市の広報やパンフレット」の割合が60.0%と最も高く、次いで「インターネット（ホームページ、LINE・フェイスブックなどのSNS）」の割合が50.0%、「友人・知人」の割合が38.2%となっています。



問38 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

「3」の割合が43.1%と最も高く、次いで「4」の割合が25.1%、「2」の割合が20.1%となっています。



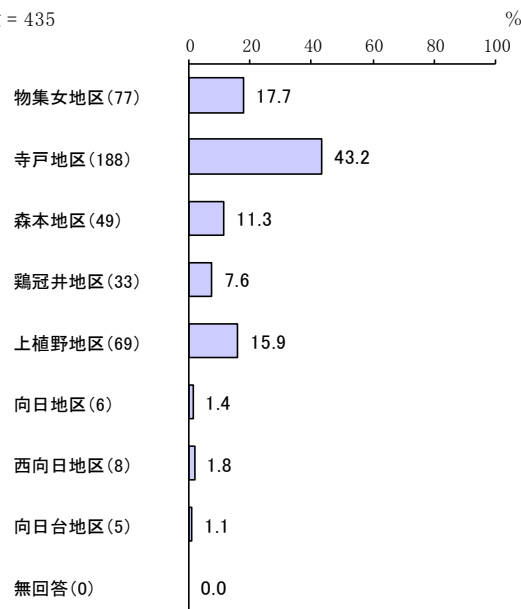
2 小学校児童保護者

(1) 子どもと家族の状況

問1 向日市には8つの自治連合区がありますが、お住まいの地区はどこですか。お住まいの地区に○をつけ、() 内に小字をご記入ください。(○は1つ)

「寺戸地区」の割合が43.2%と最も高く、次いで「物集女地区」の割合が17.7%、「上植野地区」の割合が15.9%となっています。

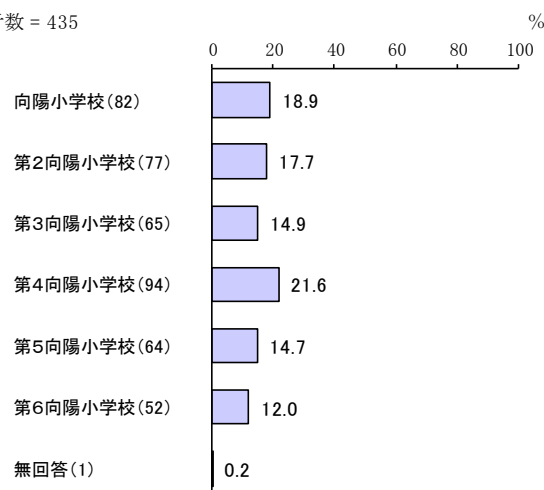
回答者数 = 435



問1-1 お住まいの地区はどの小学校区にあたりますか。(○は1つ)

「第4 向陽小学校」の割合が21.6%と最も高く、次いで「向陽小学校」の割合が18.9%、「第2 向陽小学校」の割合が17.7%となっています。

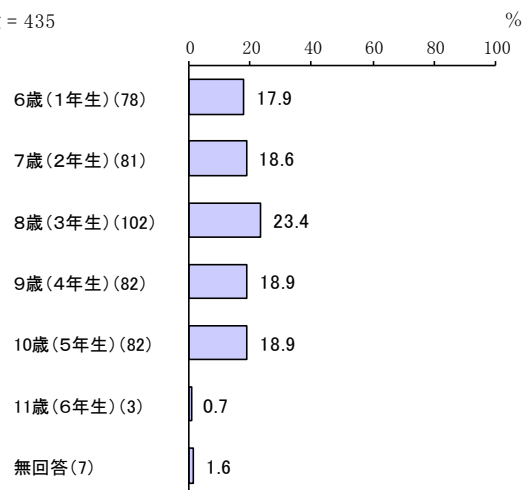
回答者数 = 435



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

「8歳(3年生)」の割合が23.4%と最も高く、
 次いで「9歳(4年生)」、「10歳(5年生)」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 435

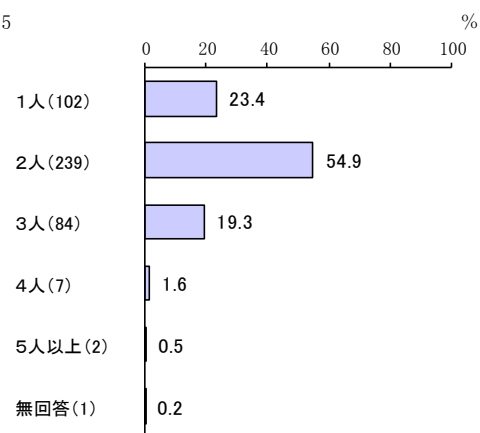


問3 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア 子どもの人数

「2人」の割合が54.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が23.4%、「3人」の割合が19.3%となっています。

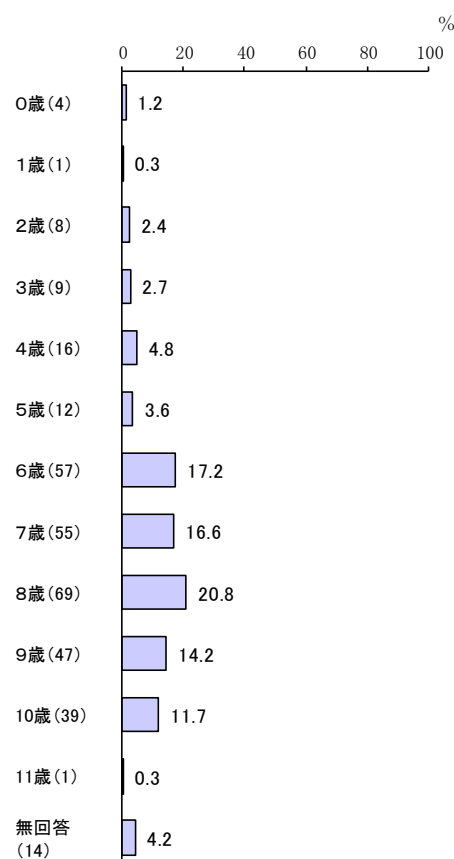
回答者数 = 435



イ 末子の年齢

「8歳」の割合が20.8%と最も高く、次いで「6歳」の割合が17.2%、「7歳」の割合が16.6%となっています。

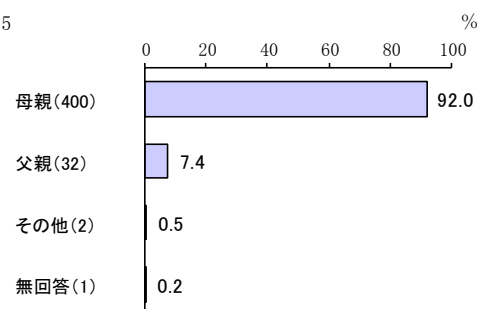
回答者数 = 332



問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

「母親」の割合が92.0%、「父親」の割合が7.4%となっています。

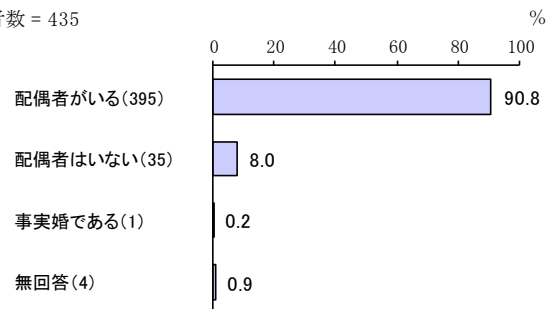
回答者数 = 435



問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が90.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 435

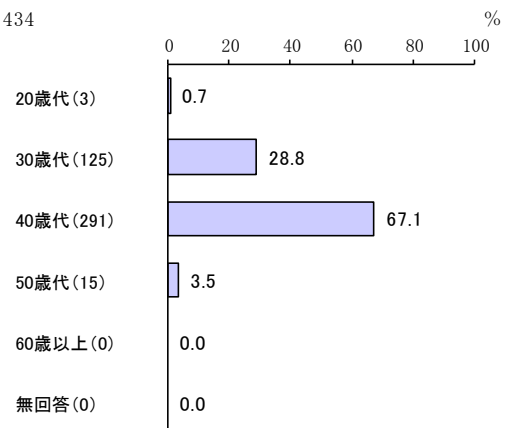


**問5-1 母親、父親の該当する年齢階層に○をつけてください。
(ひとり親家庭の方は、母親又は父親のみお答えください)**

ア 母親

「40歳代」の割合が67.1%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が28.8%となっています。

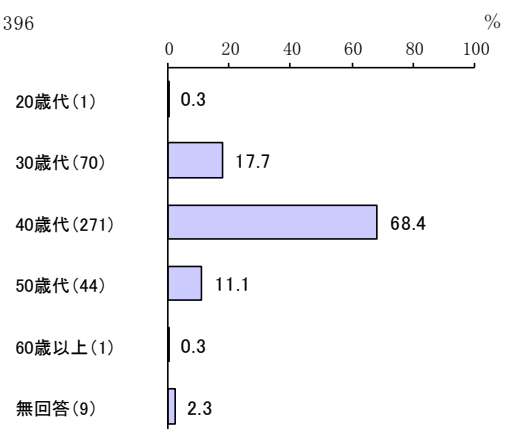
回答者数 = 434



イ 父親

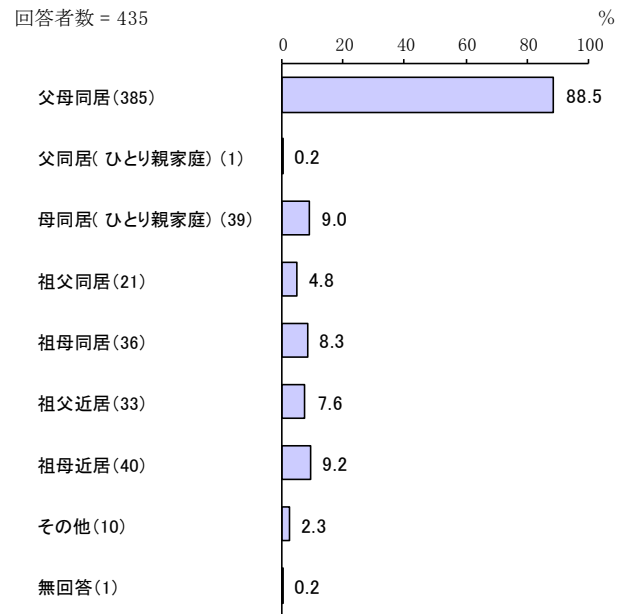
「40歳代」の割合が68.4%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が17.7%、「50歳代」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 396



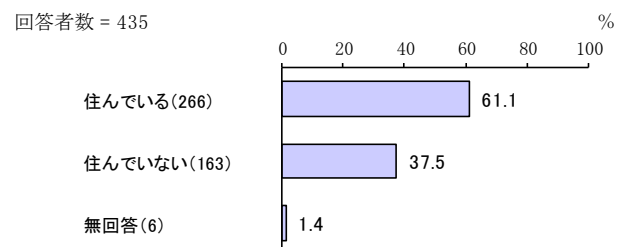
問５－２ お子さんとの同居の状況についてあてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）続柄はお子さんからみた関係です。

「父母同居」の割合が88.5%と最も高くなっています。



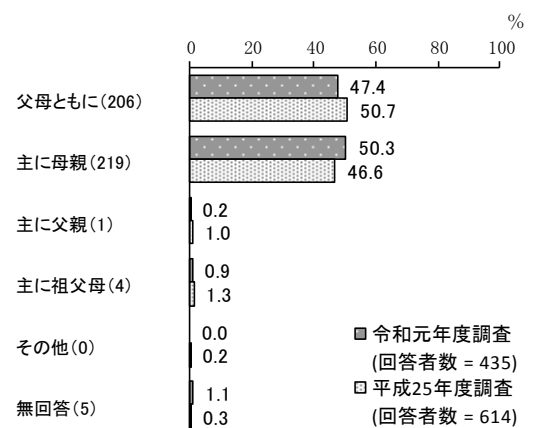
問５－３ 子どもさんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号に○をつけてください。近くとは、概ね30分程度に行き来できる範囲です。

「住んでいる」の割合が61.1%、「住んでいない」の割合が37.5%となっています。



問６ お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号に○をつけてください。

「主に母親」の割合が50.3%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.4%となっています。
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

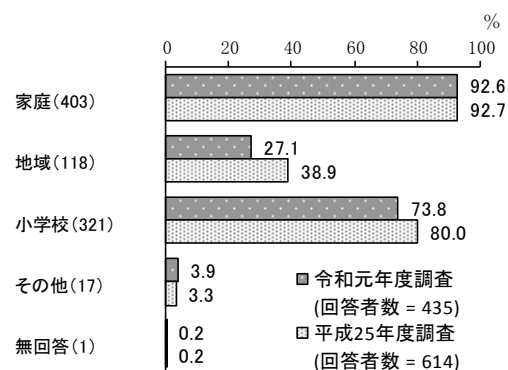


(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問7 お子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境に○をつけてください。
(複数回答可)

「家庭」の割合が92.6%と最も高く、次いで「小学校」の割合が73.8%、「地域」の割合が27.1%となっています。

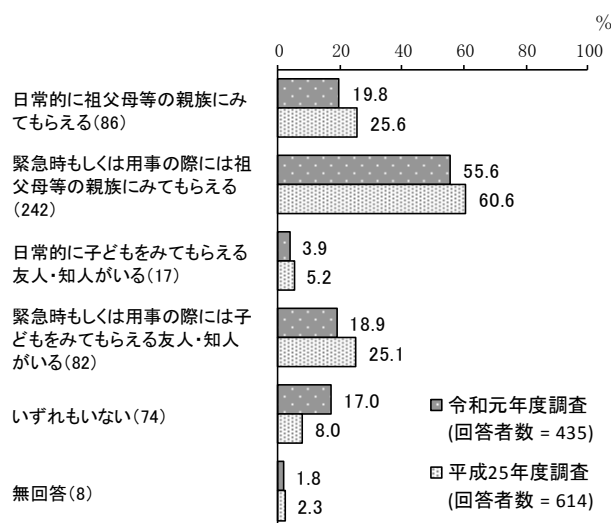
平成25年度調査と比較すると、「地域」「小学校」の割合が減少しています。



問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が19.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.9%となっています。

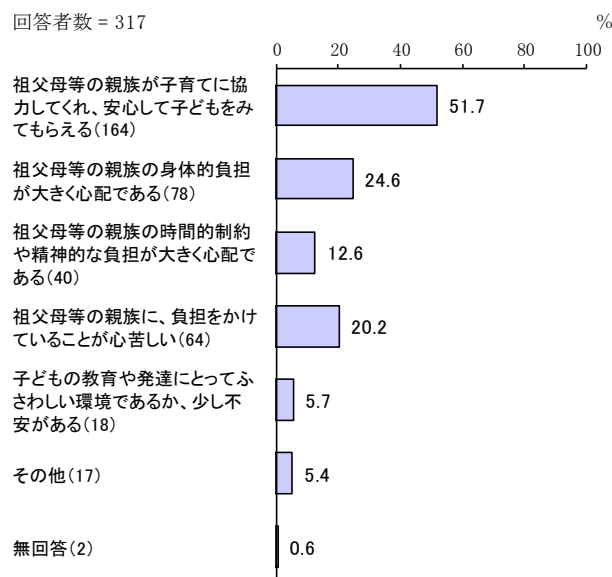
平成25年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

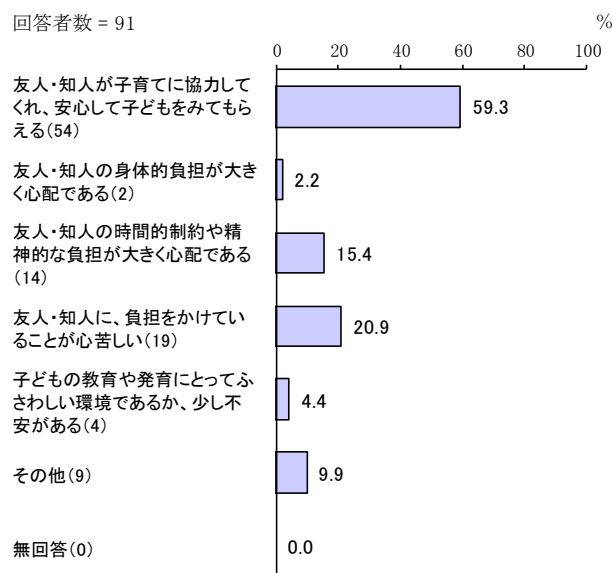
「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心して子どもをみてもらえる」の割合が51.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が24.6%、「祖父母等の親族に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が20.2%となっています。



問8「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

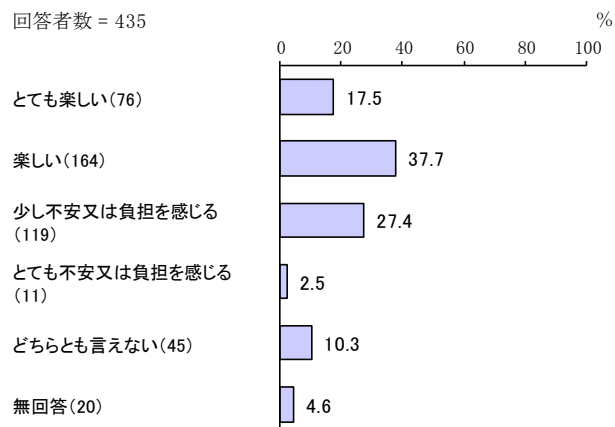
「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心して子どもをみてもらえる」の割合が59.3%と最も高く、次いで「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が20.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が15.4%となっています。



問9 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものに○をつけてください。

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が55.2%、「少し不安又は負担を感じる」と「とても不安又は負担を感じる」をあわせた“不安又は負担を感じる”の割合が29.9%となっています。

回答者数 = 435

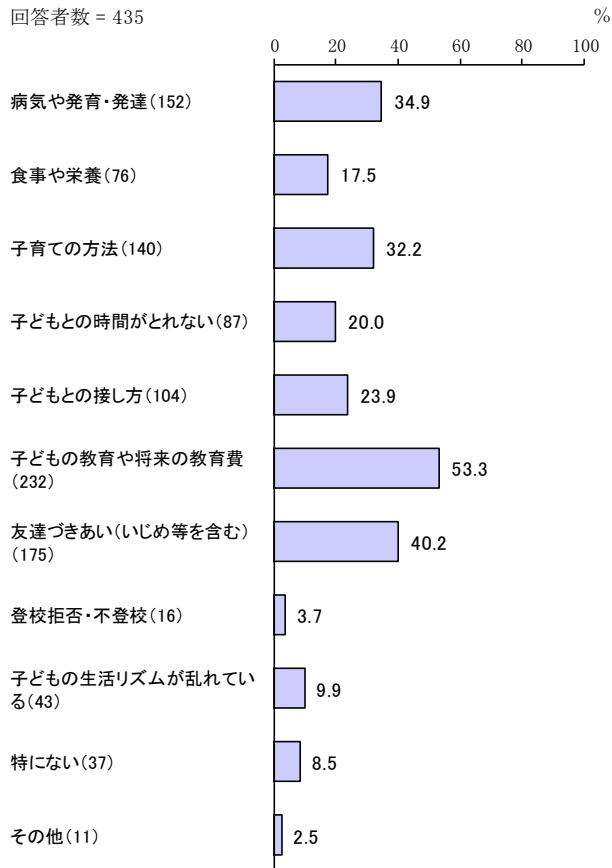


問 10 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。当てはまるものに○をつけてください（複数回答可）。

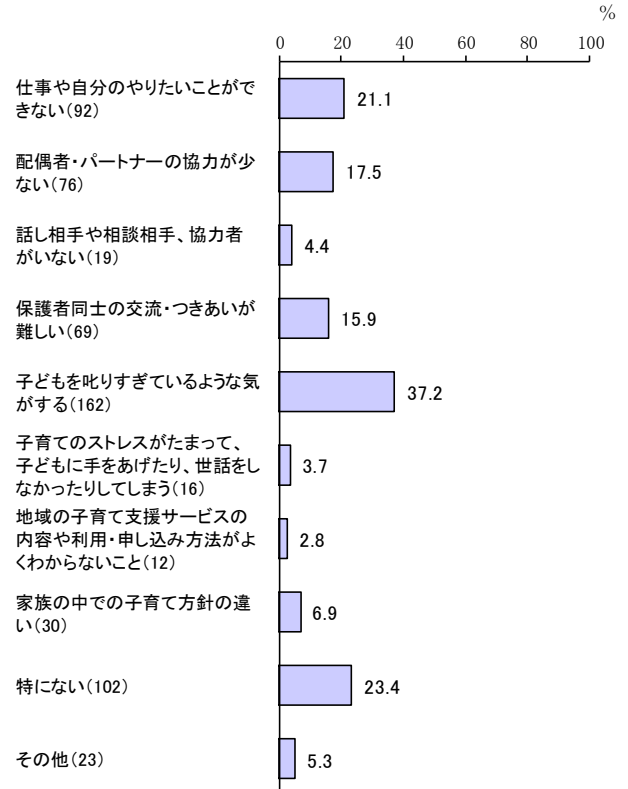
「子どもの教育や将来の教育費」の割合が53.3%と最も高く、次いで「不審者などによる犯罪」の割合が42.1%、「友達つきあい（いじめ等を含む）」の割合が40.2%となっています。

【お子さんのこと】

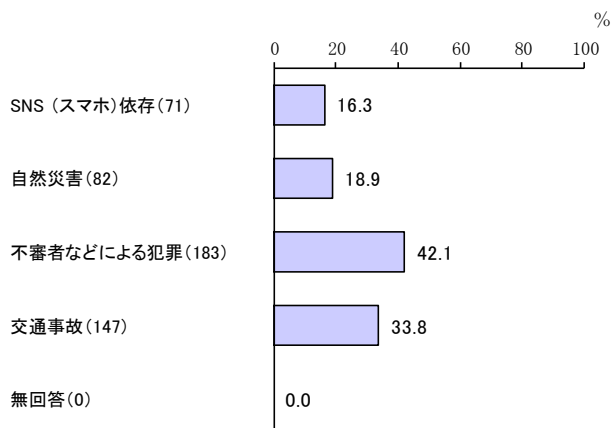
回答者数 = 435



【ご自分のこと】



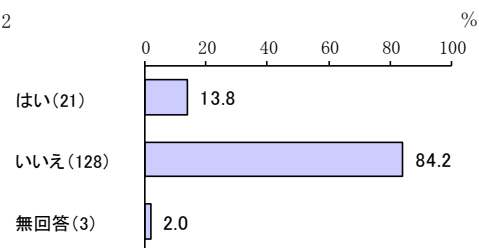
【その他のこと】



問10－1 問10で「1 病気や発育・発達」に○を付けた方にお伺いします。
お子さんは療育を受けていらっしゃいますか。

「はい」の割合が13.8%、「いいえ」の割合が84.2%となっています。

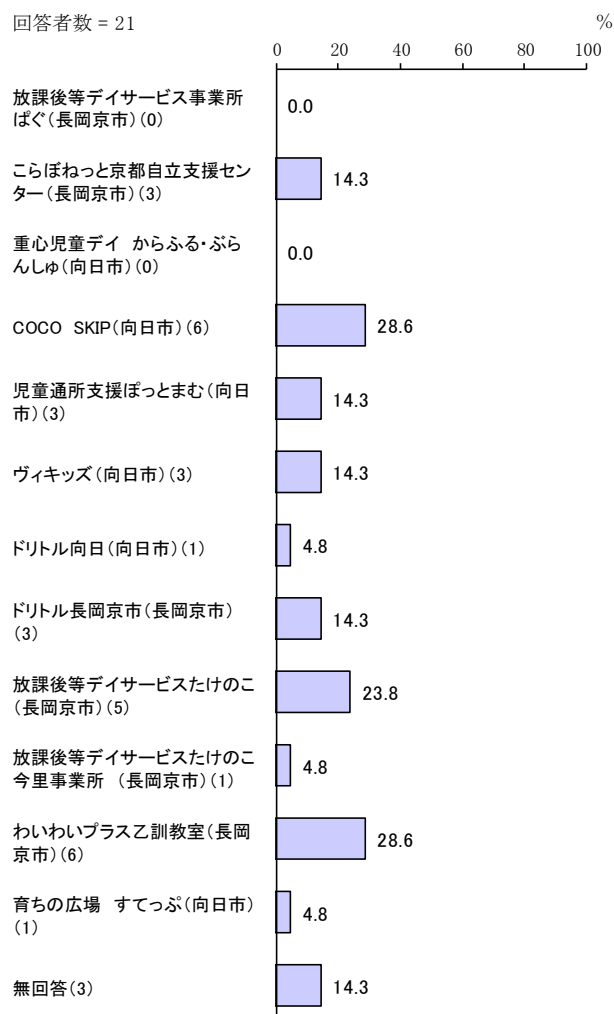
回答者数 = 152



問10－2 (問10－1ではいと答えた方)
ご利用されている施設ならびにご存知の療育施設に○をつけてください。
(複数回答可)

「COCO SKIP (向日市)」、「わいわいプラス乙訓教室(長岡京市)」の割合が28.6%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスたけのこ(長岡京市)」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 21



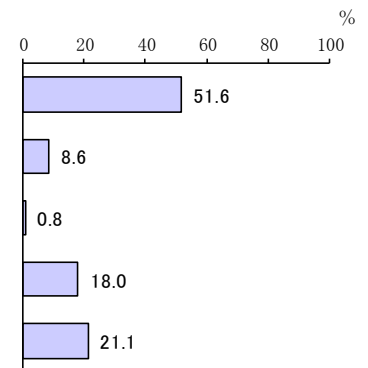
問10－3 （問10－1でいいえと答えた方）

療育を受けておられない理由は何ですか。もっとも当てはまるものに○をつけてください。

「そこまで必要性を感じていないから」の割合が51.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 128

そこまで必要性を感じていないから(66)
 どういう施設があるかわからないから(11)
 利用料が高いから(1)
 その他(23)
 無回答(27)

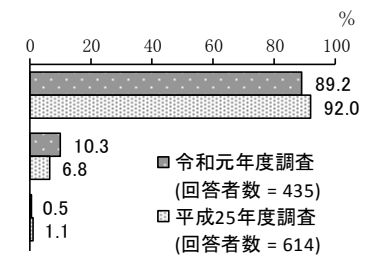


問 11 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「いる／ある」の割合が89.2%、「いない／ない」の割合が10.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

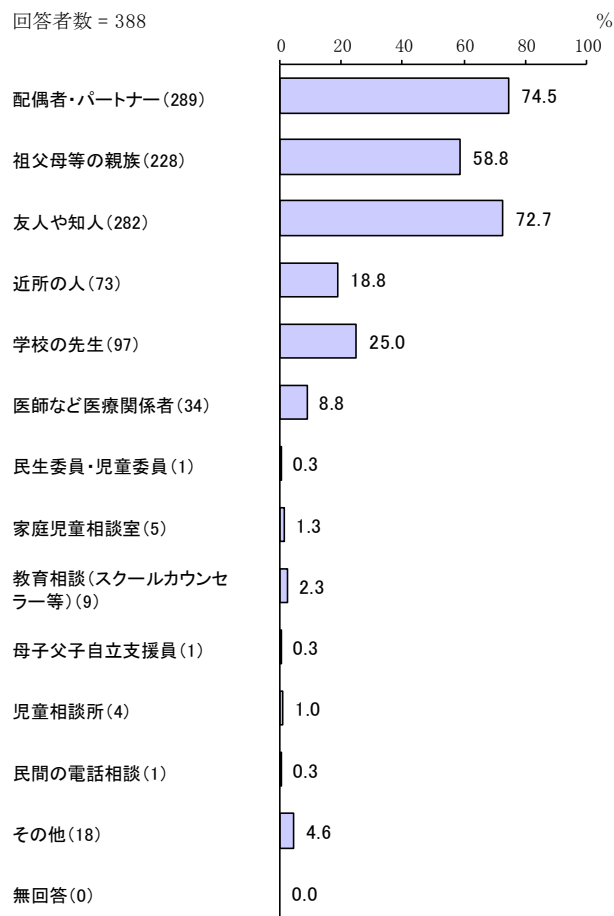
いる／ある(388)
 いない／ない(45)
 無回答(2)



問11で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

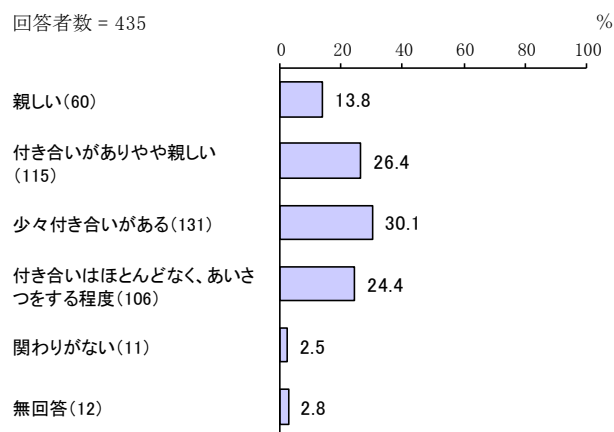
問11-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「配偶者・パートナー」の割合が74.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が72.7%、「祖父母等の親族」の割合が58.8%となっています。



問12 ご近所や地域の人々との付き合いはどうですか。あてはまるものに○をつけてください。

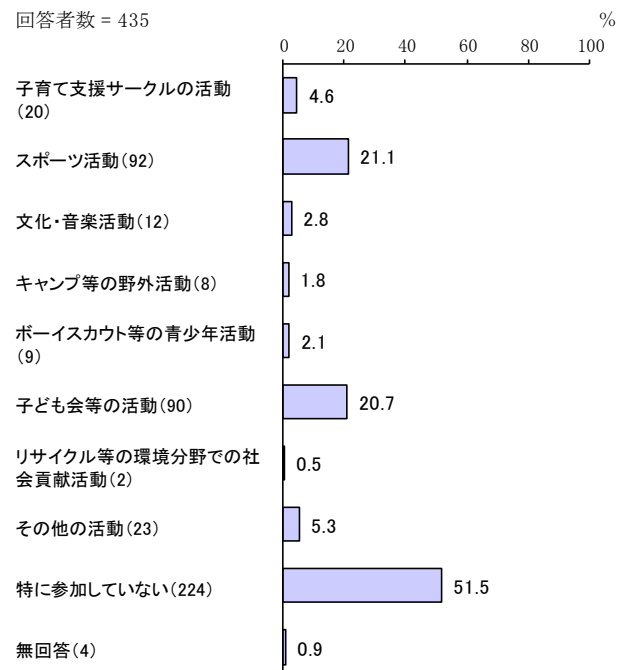
「少々付き合いがある」の割合が30.1%と最も高く、次いで「付き合いがありやや親しい」の割合が26.4%、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が24.4%となっています。



問 13 お子さんの地域での催しへの参加状況はどうですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「特に参加していない」の割合が51.5%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が21.1%、「子ども会等の活動」の割合が20.7%となっています。

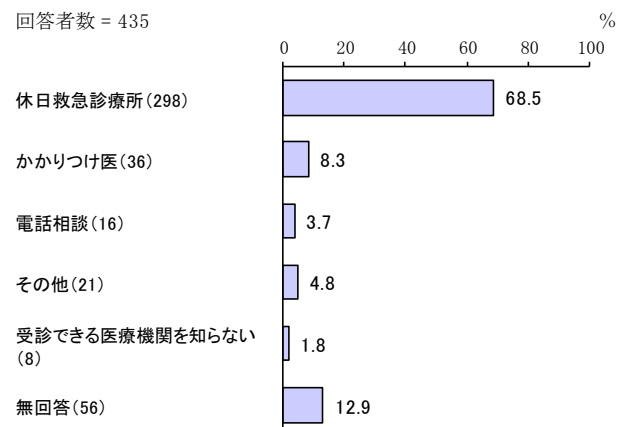
回答者数 = 435



問 14 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応されていますか。もっとも当てはまるものに○をつけてください。

「休日救急診療所」の割合が68.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 435

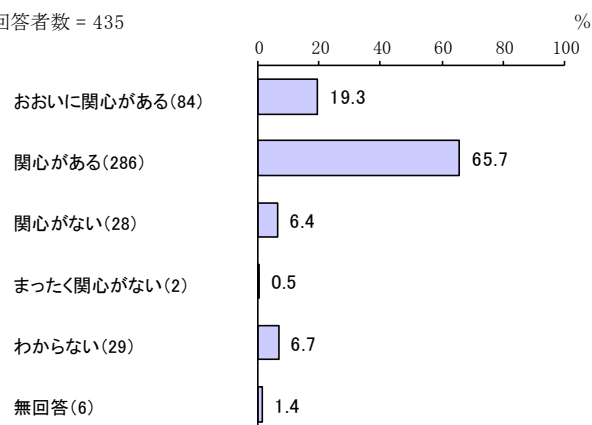


(3) 家庭の食生活

問 15 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

「おいに関心がある」と「関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が85.0%、「関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が6.9%となっています。

回答者数 = 435



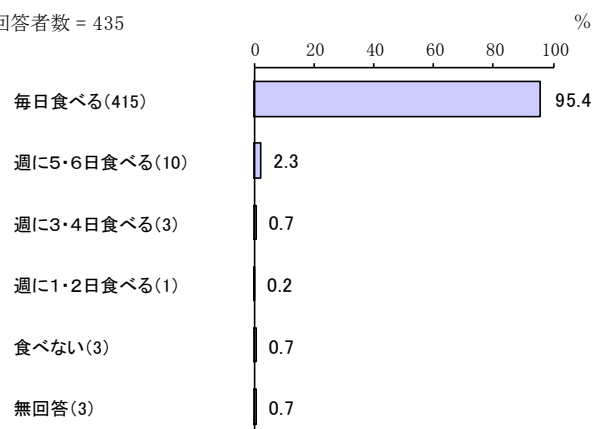
問15-1 ご家族の朝食の摂取状況を、宛名のお子さん、母親、父親、それぞれについてお答えください。

ア 宛名の子ども

①朝食の摂取状況 (○は1つ)

「毎日食べる」の割合が95.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 435

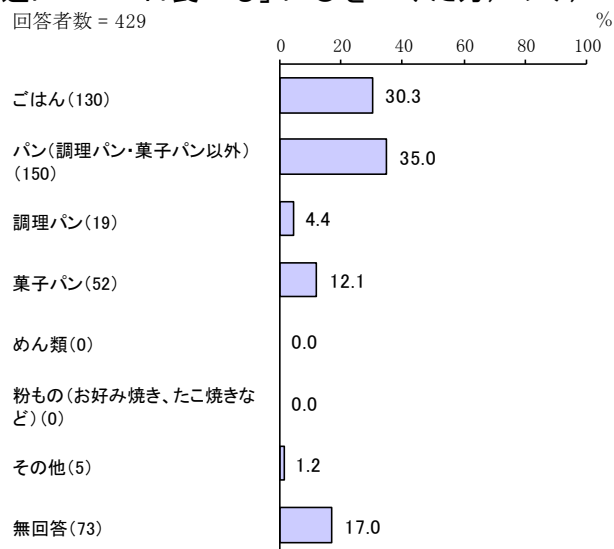


②朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が35.0%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が30.3%、「菓子パン」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 429



③朝食を食べない理由

(朝食を食べない方(「5. 食べない」に○をつけた方)のみ(主なもの1つに○))

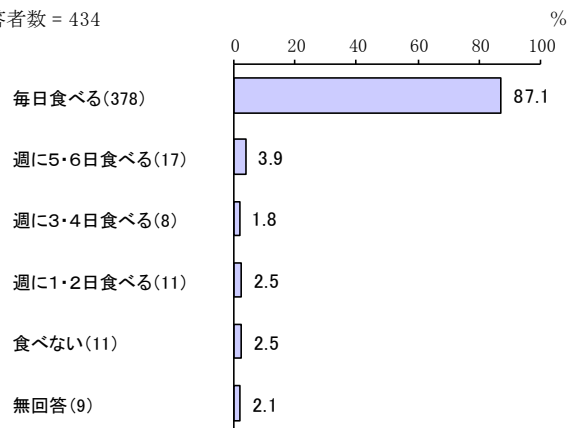
「食欲がない」が1件となっています。

イ 母親

①朝食の摂取状況(○は1つ)

「毎日食べる」の割合が87.1%と最も高くなっています。

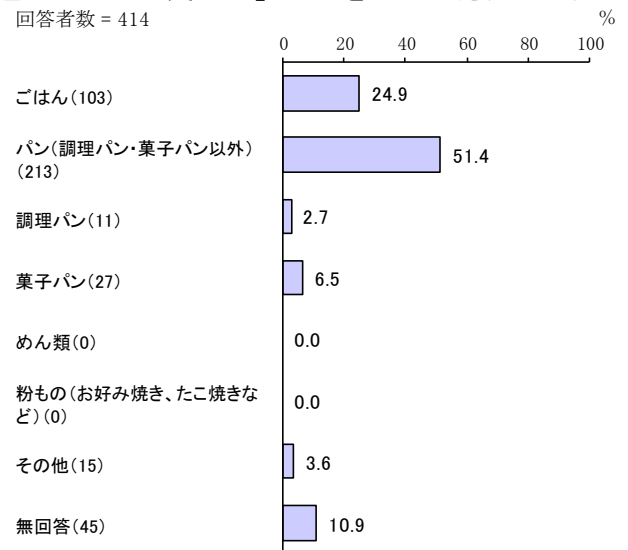
回答者数 = 434



②朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

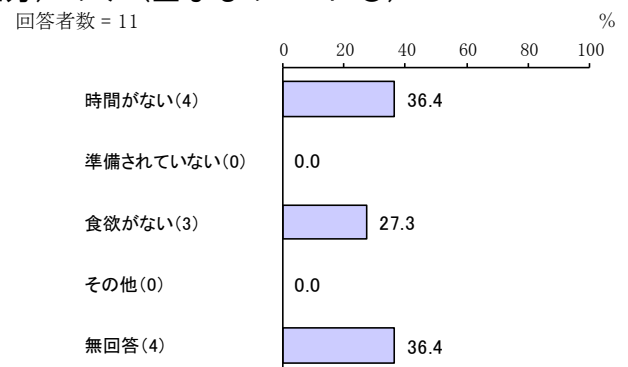
「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が51.4%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が24.9%となっています。



③朝食を食べない理由

(朝食を食べない方(「5. 食べない」に○をつけた方)のみ(主なもの1つに○))

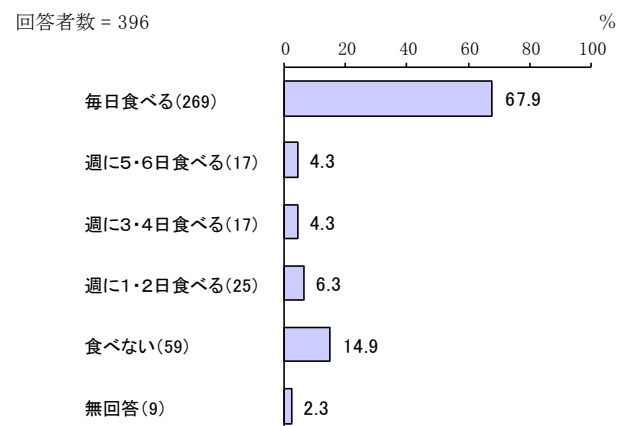
「時間がない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「食欲がない」の割合が27.3%となっています。



ウ 父親

①朝食の摂取状況(○は1つ)

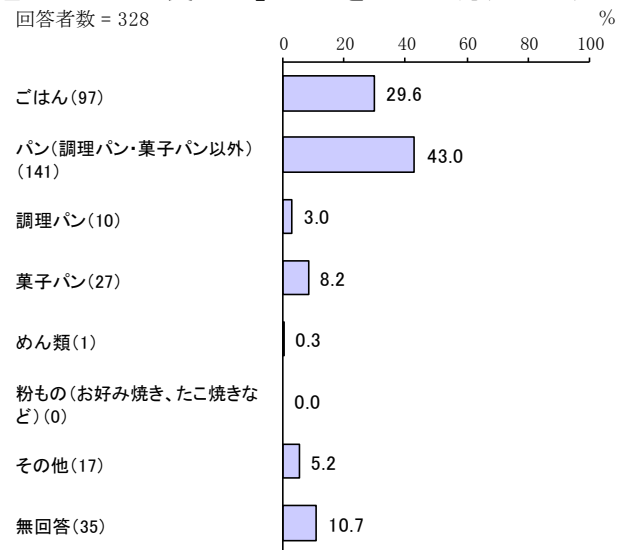
「毎日食べる」の割合が67.9%と最も高く、次いで「食べない」の割合が14.9%となっています。



②朝食の主食

(朝食を食べている方(「1. 毎日食べる」～「4. 週に1・2日食べる」に○をつけた方)のみ)

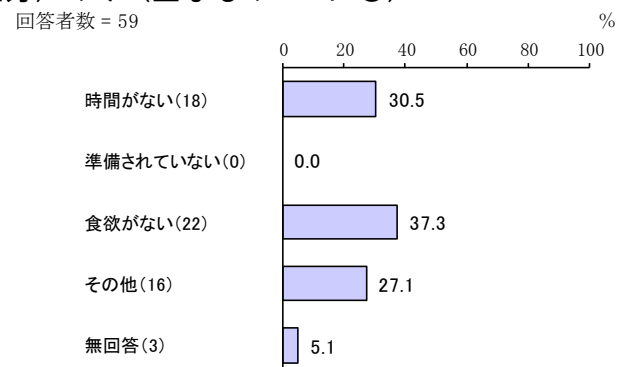
「パン(調理パン・菓子パン以外)」の割合が43.0%と最も高く、次いで「ごはん」の割合が29.6%となっています。



③朝食を食べない理由

(朝食を食べない方(「5. 食べない」に○をつけた方)のみ(主なもの1つに○))

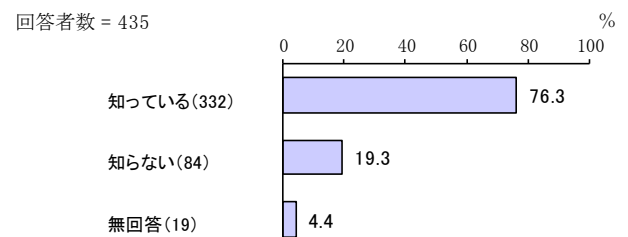
「食欲がない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が30.5%となっています。



問15-2 (保護者の方へ質問です)

あなたはご自分の身長にあった標準体重を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が76.3%、「知らない」の割合が19.3%となっています。



（４）保護者の就労状況

ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

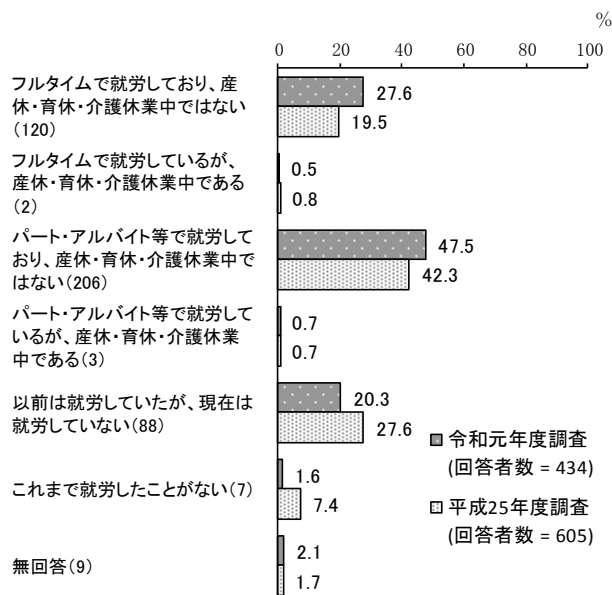
問 17 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

ア 母親

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が20.3%となっています。

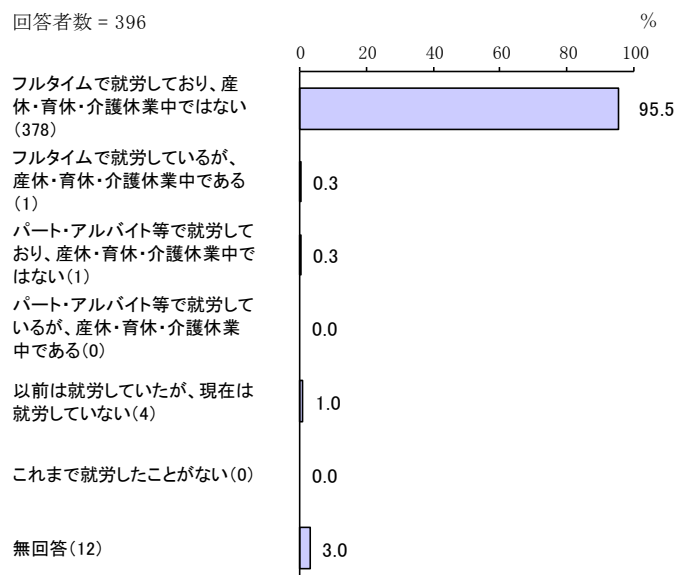
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が95.5%と最も高くなっています。



就労している方（「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○を付けた方）にうかがいます。就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

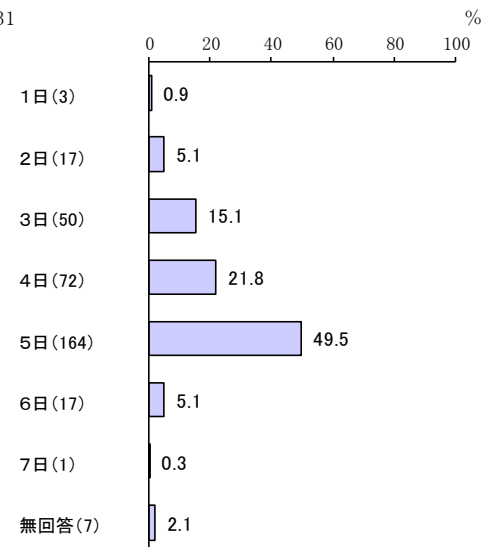
（１）－１ 週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

ア 母親

（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が49.5%と最も高く、次いで「４日」の割合が21.8%、「３日」の割合が15.1%となっています。

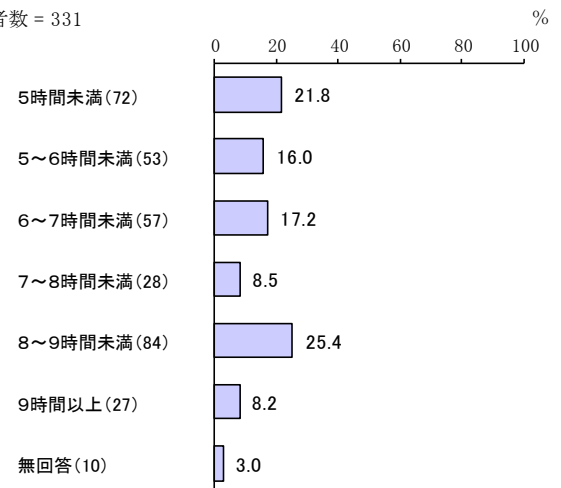
回答者数 = 331



（イ）１日当たり就労時間

「８～９時間未満」の割合が25.4%と最も高く、次いで「５時間未満」の割合が21.8%、「６～７時間未満」の割合が17.2%となっています。

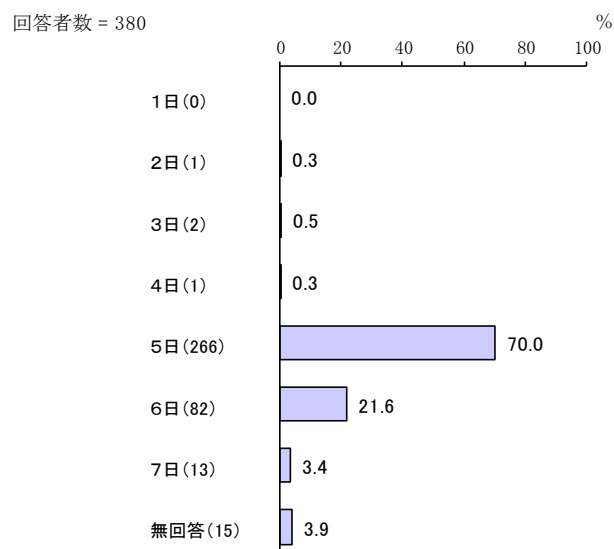
回答者数 = 331



イ 父親

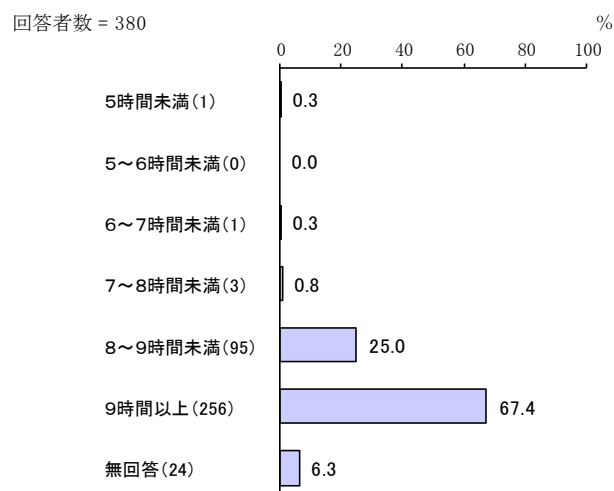
(ア) 1週あたり就労日数

「5日」の割合が70.0%と最も高く、次いで「6日」の割合が21.6%となっています。



(イ) 1日当たり就労時間

「9時間以上」の割合が67.4%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が25.0%となっています。



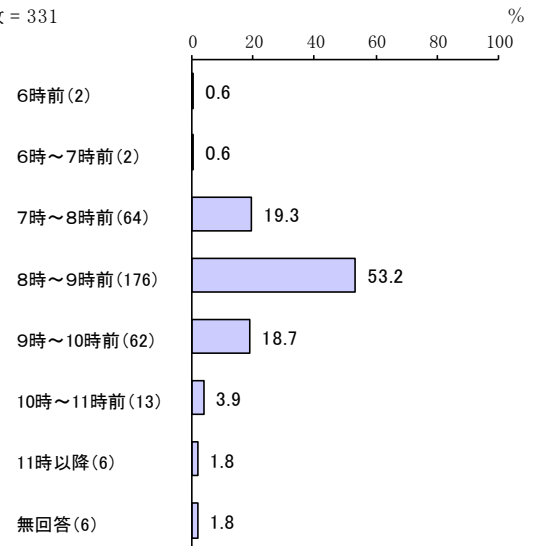
(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず(例)08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。
(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア 母親

(ア) 家を出る時刻

「8時～9時前」の割合が53.2%と最も高く、次いで「7時～8時前」の割合が19.3%、「9時～10時前」の割合が18.7%となっています。

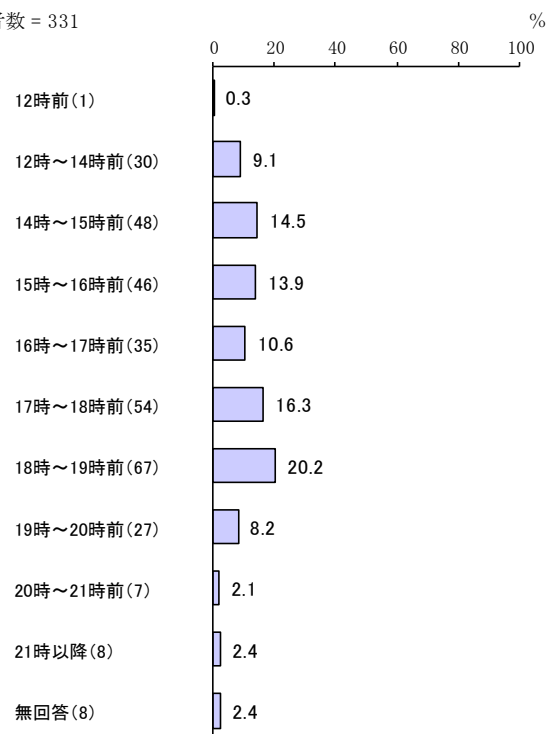
回答者数 = 331



(イ) 帰宅時刻

「18時～19時前」の割合が20.2%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が16.3%、「14時～15時前」の割合が14.5%となっています。

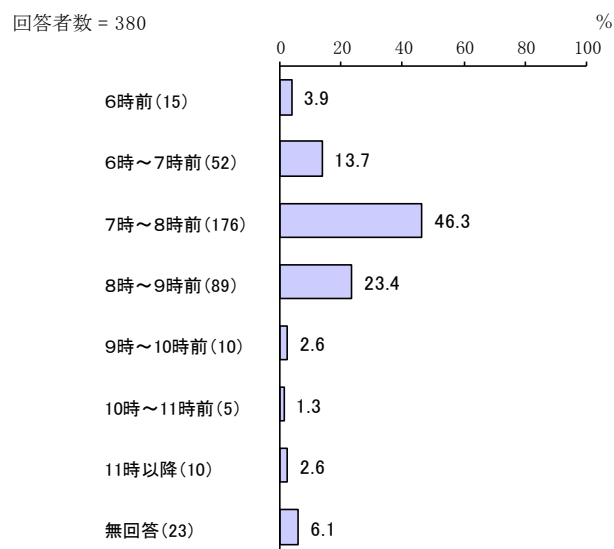
回答者数 = 331



イ 父親

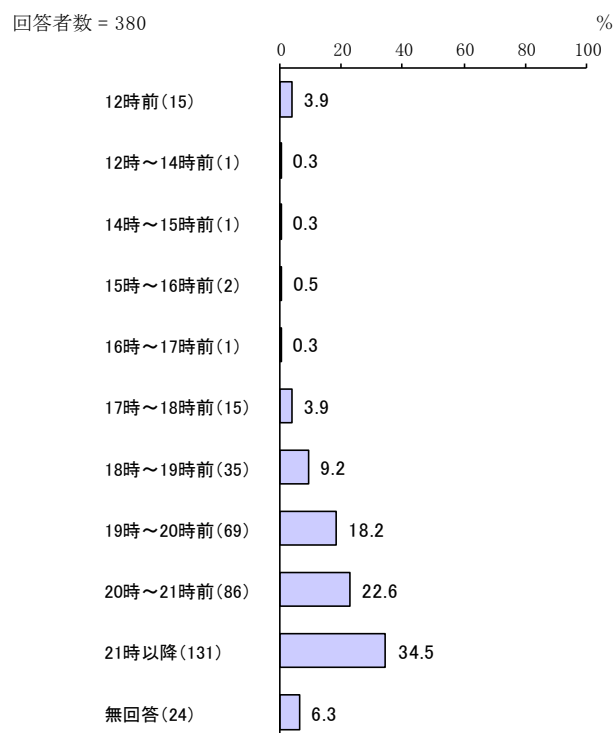
(ア) 家を出る時刻

「7時～8時前」の割合が46.3%と最も高く、次いで「8時～9時前」の割合が23.4%、「6時～7時前」の割合が13.7%となっています。



(イ) 帰宅時刻

「21時以降」の割合が34.5%と最も高く、次いで「20時～21時前」の割合が22.6%、「19時～20時前」の割合が18.2%となっています。



パート・アルバイト等で就労している方(問 17 で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方)にうかがいます。

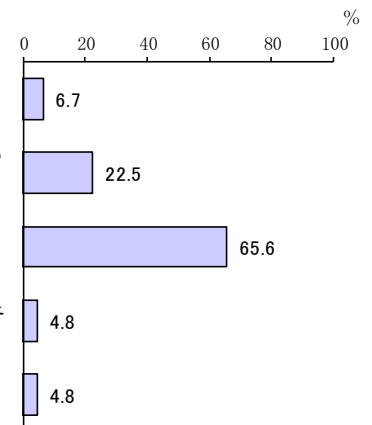
問 18 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が65.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が22.5%となっています。

回答者数 = 209

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある(14)
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない(47)
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望(137)
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい(10)
無回答(10)



イ 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

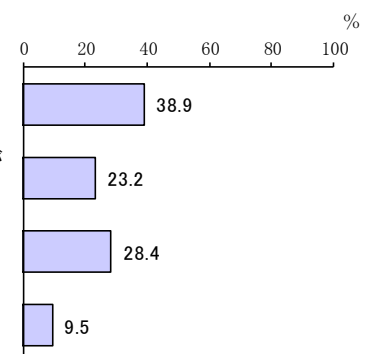
問 19 問 17 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が38.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が28.4%、「1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 95

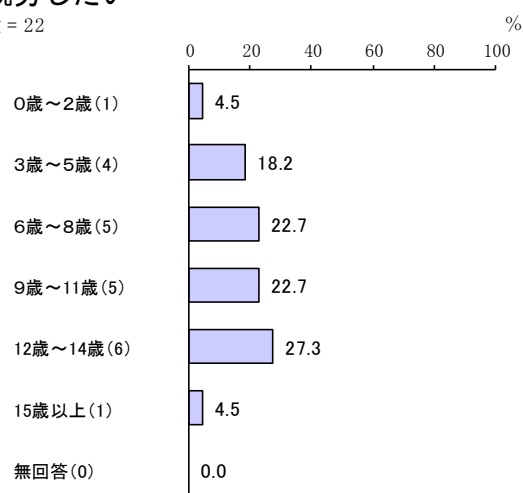
今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)(37)
1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい(22)
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(27)
無回答(9)



2 1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい

「12歳～14歳」の割合が27.3%と最も高く、次いで「6歳～8歳」、「9歳～11歳」の割合が22.7%となっています。

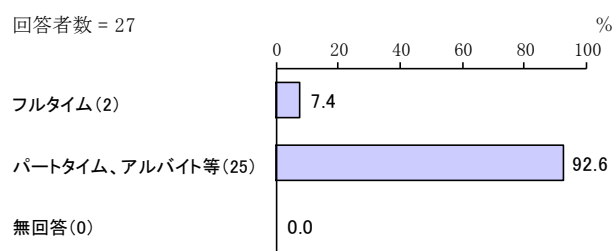
回答者数 = 22



ア 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が7.4%、「イ. パートタイム、アルバイト等」の割合が92.6%となっています。

回答者数 = 27

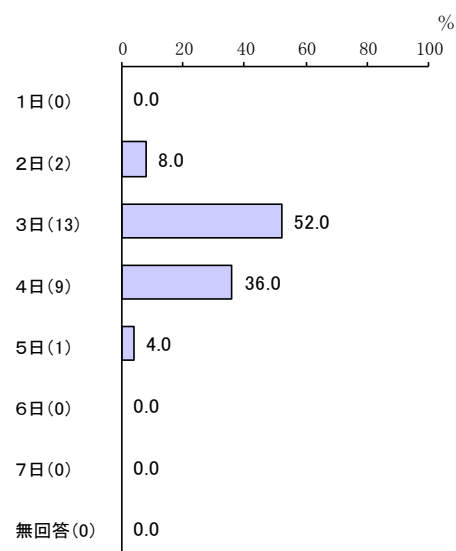


(ア) パートタイム、アルバイト等

1週あたり希望就労日数

「3日」の割合が52.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が36.0%となっています。

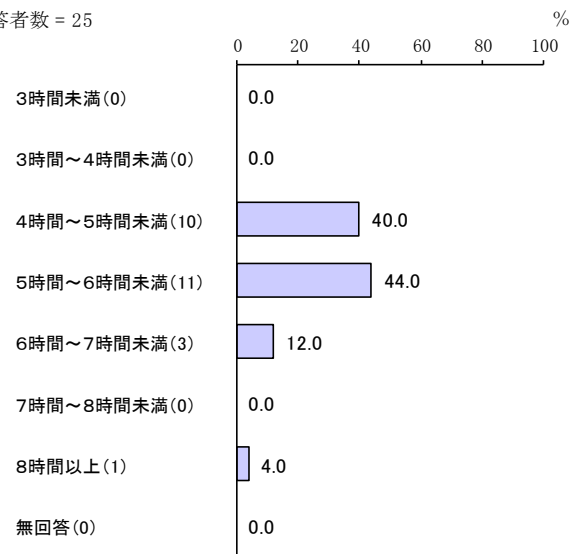
回答者数 = 25



1 日あたり希望就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が44.0%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が40.0%、「6時間～7時間未満」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 25



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4件となっています。

2 1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい

有効回答がありませんでした。

ア 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件となっています。

(ア) パートタイム、アルバイト等 1週あたり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

(イ) パートタイム、アルバイト等 1日あたり希望就労時間

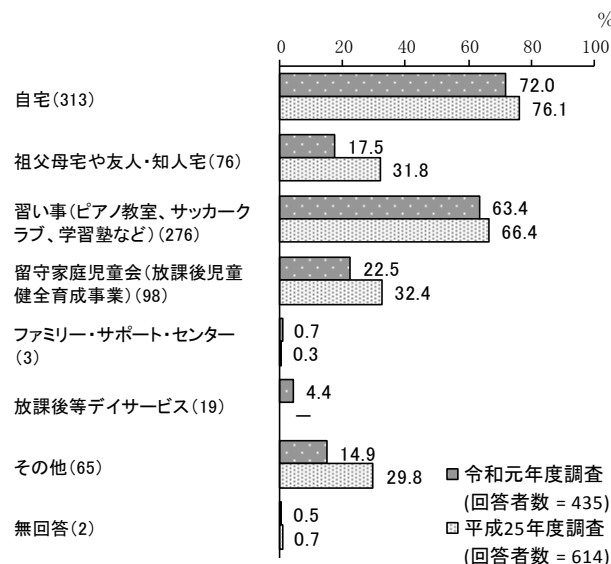
有効回答がありませんでした。

(5) 放課後の様子

問 20 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）
また、「留守家庭児童会」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。また、土日の利用状況もお答えください。（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が72.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が63.4%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が22.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が減少しています。



※平成25年度調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

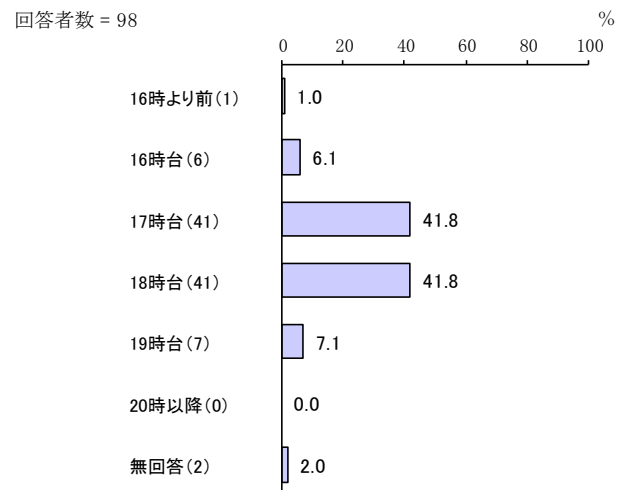
【放課後に過ごしている場所】

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	313 100.0	32 10.2	55 17.6	53 16.9	26 8.3	121 38.7	6 1.9	17 5.4	3 1.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	76 100.0	32 42.1	22 28.9	7 9.2	7 9.2	6 7.9	1 1.3	—	1 1.3
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	276 100.0	70 25.4	86 31.2	76 27.5	32 11.6	7 2.5	4 1.4	1 0.4	—
4. 留守家庭児童会 (放課後児童健全育成事業)	98 100.0	—	4 4.1	10 10.2	11 11.2	62 63.3	10 10.2	—	1 1.0
5. ファミリー・サポート・センター	3 100.0	1 33.3	—	—	1 33.3	1 33.3	—	—	—
6. 放課後等デイサービス	19 100.0	3 15.8	8 42.1	8 42.1	—	—	—	—	—
7. その他	65 100.0	20 30.8	28 43.1	6 9.2	5 7.7	5 7.7	1 1.5	—	—

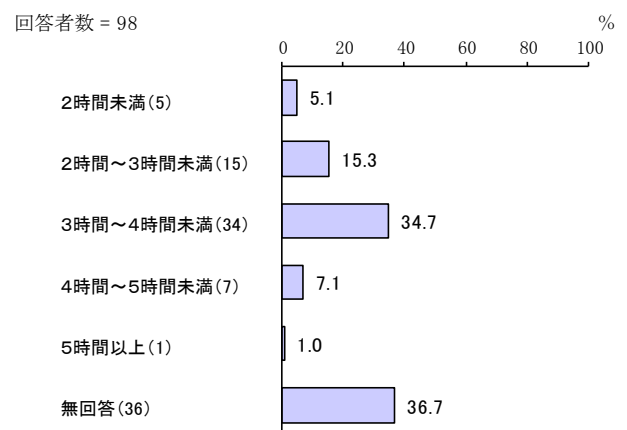
(ア) 留守家庭児童会の利用終了時刻

「17時台」、「18時台」の割合が41.8%と最も高くなっています。



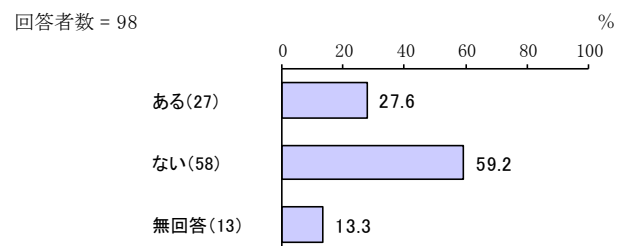
(イ) 留守家庭児童会の利用時間

「3時間～4時間未満」の割合が34.7%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が15.3%となっています。



(ウ) 留守家庭児童会の土・日の利用

「ある」の割合が27.6%、「ない」の割合が59.2%となっています。

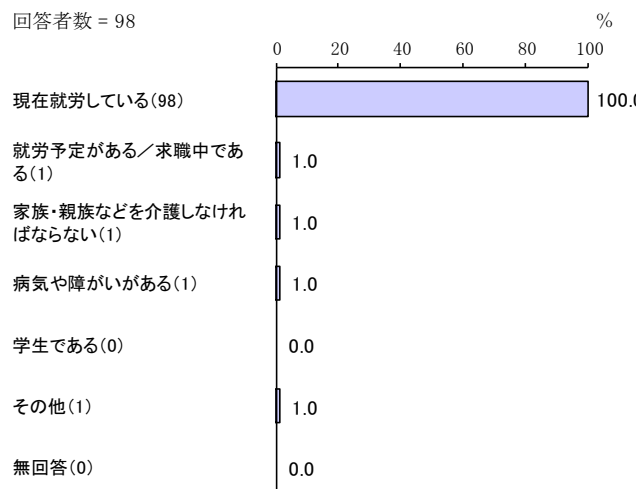


問 20 で「4 留守家庭児童会」を選ばれた方にお伺いします。

問 21 利用している理由について、あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

「現在就労している」の割合が100.0%と最も高くなっています。

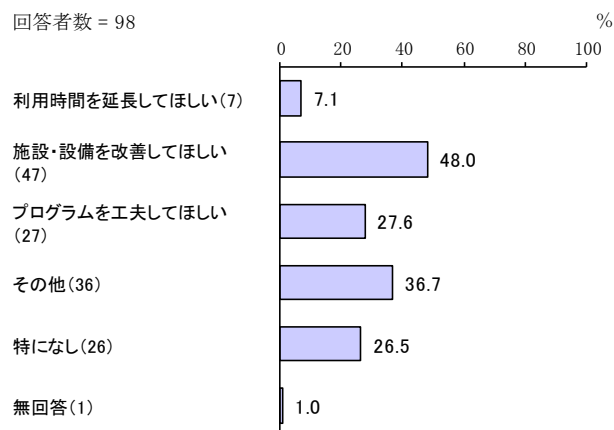
回答者数 = 98



問 22 留守家庭児童会に対してどのように感じておられますか、あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

「施設・設備を改善してほしい」の割合が48.0%と最も高く、次いで「プログラムを工夫してほしい」の割合が27.6%、「特になし」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 98

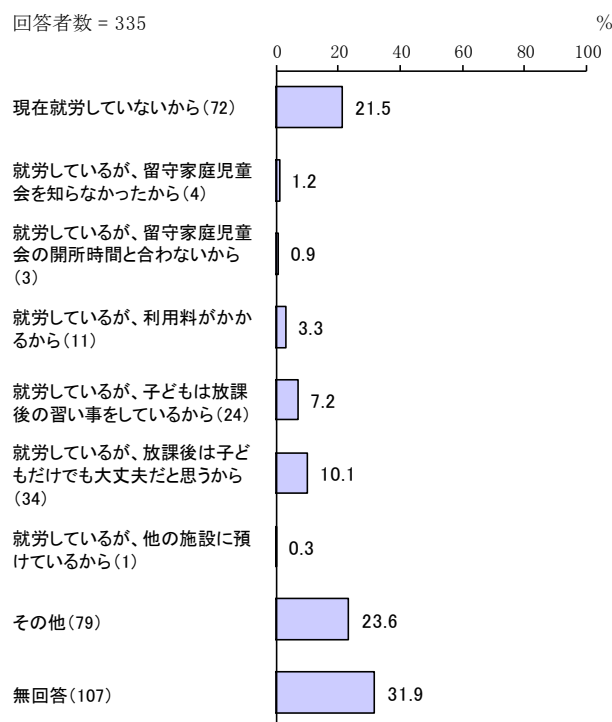


問 20 で「4. 留守家庭児童会」以外を選ばれた方にお伺いします。

問 23 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。

「現在就労していないから」の割合が21.5%と最も高く、次いで「就労しているが、放課後は子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が10.1%となっています。

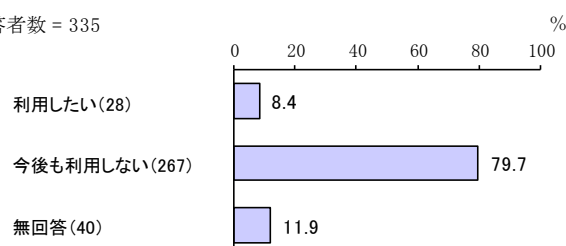
回答者数 = 335



問 24 お子さんについて、今後、留守家庭児童会を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(時間は、必ず 24 時間制で記入してください。)

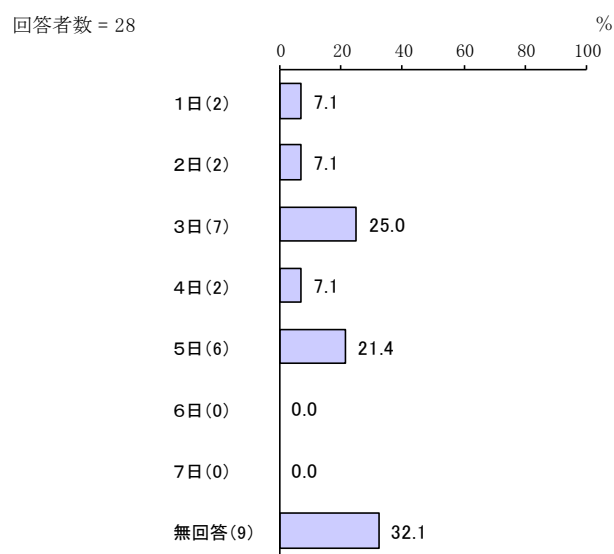
「利用したい」の割合が8.4%、「今後も利用しない」の割合が79.7%となっています。

回答者数 = 335



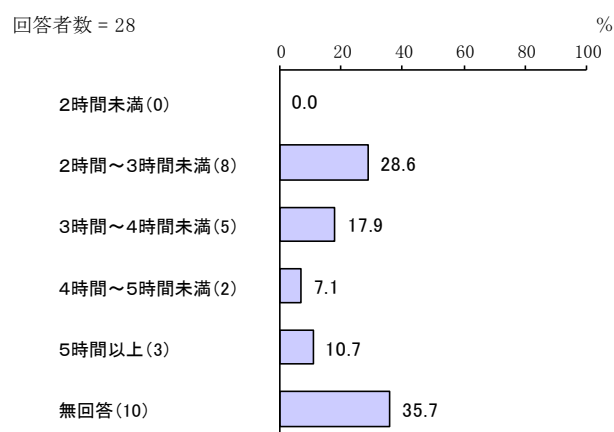
ア 利用したい 週あたり利用希望日数

「3日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が21.4%となっています。



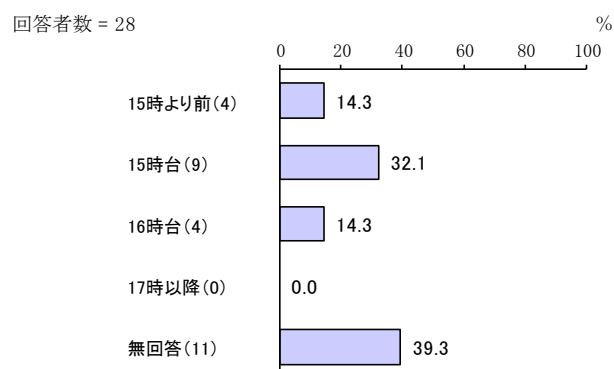
イ 利用したい1日あたり利用時間

「2時間～3時間未満」の割合が28.6%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が17.9%、「5時間以上」の割合が10.7%となっています。



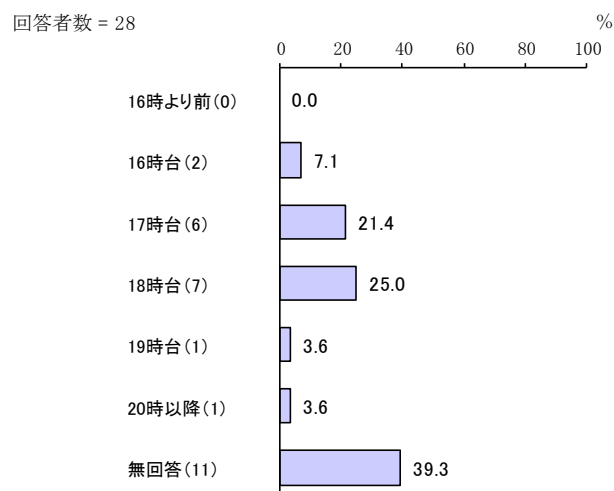
ウ 利用したい利用開始時刻

「15時台」の割合が32.1%と最も高く、次いで「15時より前」、「16時台」の割合が14.3%となっています。



エ 利用したい利用終了時刻

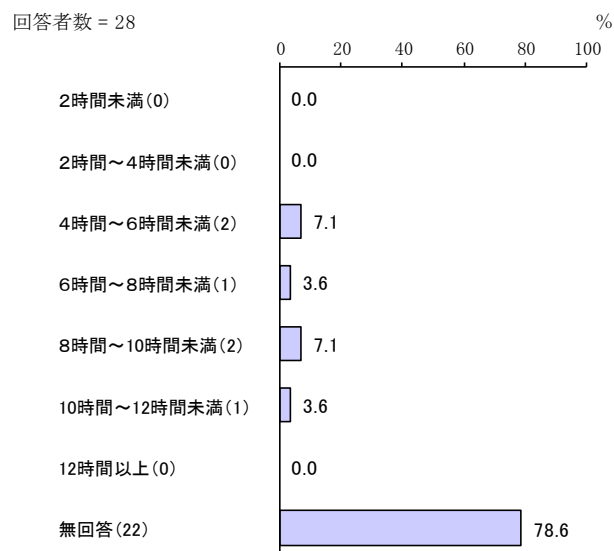
「18時台」の割合が25.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.4%となっています。



オ うち土・日の利用希望

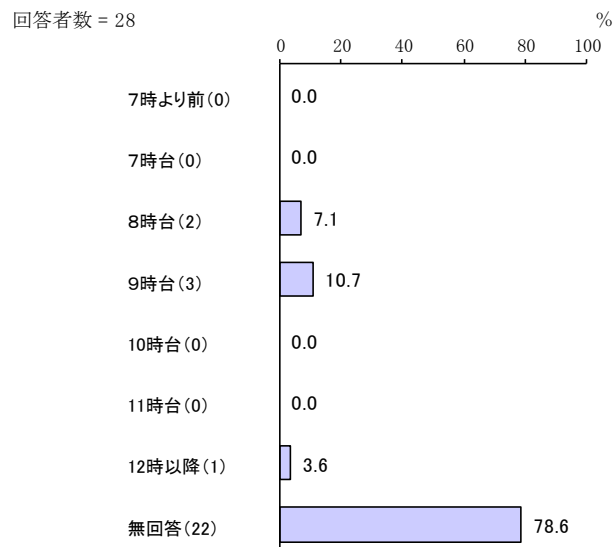
(ア) 利用時間

「4時間～6時間未満」、「8時間～10時間未満」の割合が7.1%と最も高くなっています。



(イ) 利用開始時刻

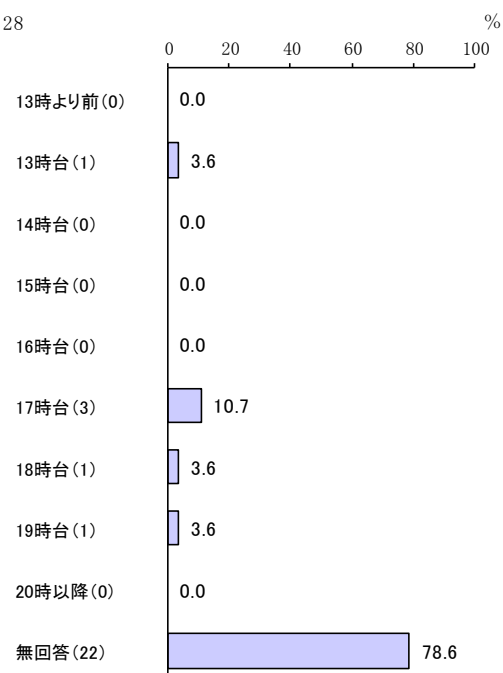
「9時台」の割合が10.7%と最も高くなっています。



(ウ) 利用終了時刻

「17時台」の割合が10.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 28

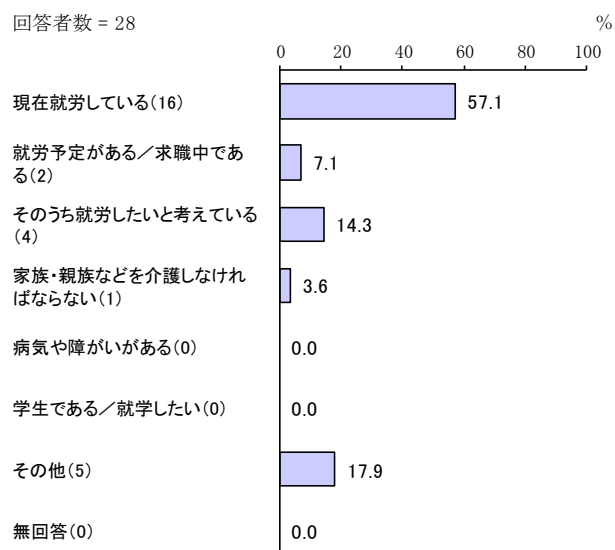


問 24 で「1 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

問 25 利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。

「現在就労している」の割合が57.1%と最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えている」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 28



問 26 すべての方にお伺いします。

宛名のお子さんについてお伺いします。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

「家で過ごす」の割合が61.4%と最も高く、次いで「習い事をする」の割合が52.2%、「留守家庭児童会を利用する」の割合が22.1%となっています。

回答者数 = 435

家で過ごす(267)

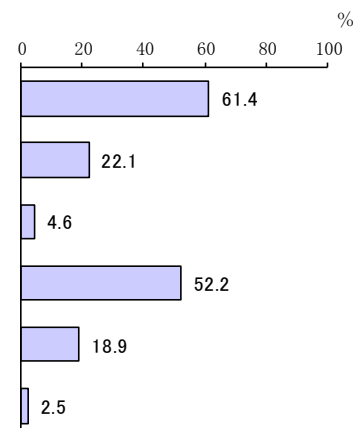
留守家庭児童会を利用する(96)

民間の放課後児童クラブを利用する(20)

習い事をする(227)

その他(82)

無回答(11)



ア 留守家庭児童会の利用したい学年

「6年生まで」の割合が32.3%と最も高く、次いで「3年生まで」の割合が28.1%、「4年生まで」の割合が24.0%となっています。

回答者数 = 96

1年生まで(0)

2年生まで(3)

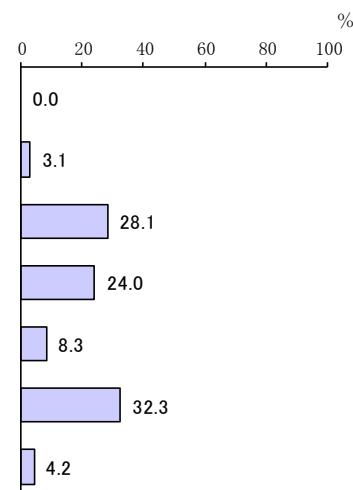
3年生まで(27)

4年生まで(23)

5年生まで(8)

6年生まで(31)

無回答(4)



イ 民間の放課後児童クラブの利用したい学年

「6年生まで」の割合が65.0%と最も高く、次いで「3年生まで」の割合が25.0%、「4年生まで」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 20

1年生まで(0)

2年生まで(0)

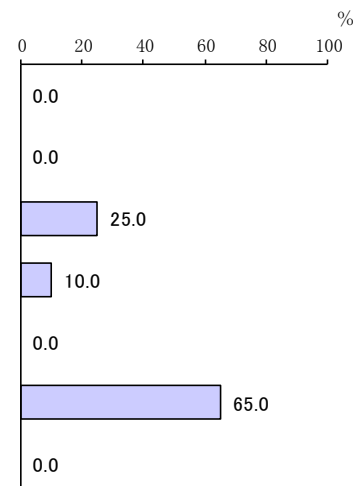
3年生まで(5)

4年生まで(2)

5年生まで(0)

6年生まで(13)

無回答(0)

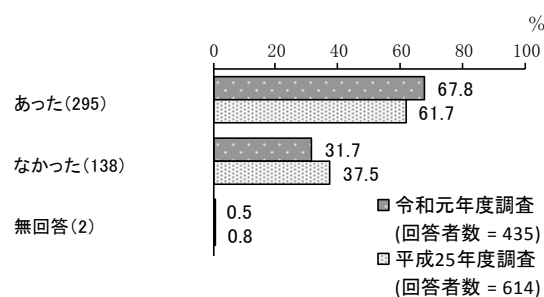


（６）子どもの病気の際の対応

問 27 この１年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

「あった」の割合が67.8%、「なかった」の割合が31.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、8歳（3年生）、9歳（4年生）で「あった」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、%（下段）

区分	有効回答数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
6歳(1年生)	78 100.0	45 57.7	33 42.3	— —
7歳(2年生)	81 100.0	50 61.7	31 38.3	— —
8歳(3年生)	102 100.0	76 74.5	24 23.5	2 2.0
9歳(4年生)	82 100.0	63 76.8	19 23.2	— —
10歳(5年生)	82 100.0	54 65.9	28 34.1	— —
11歳(6年生)	3 100.0	2 66.7	1 33.3	— —

【母親の就労状況別】

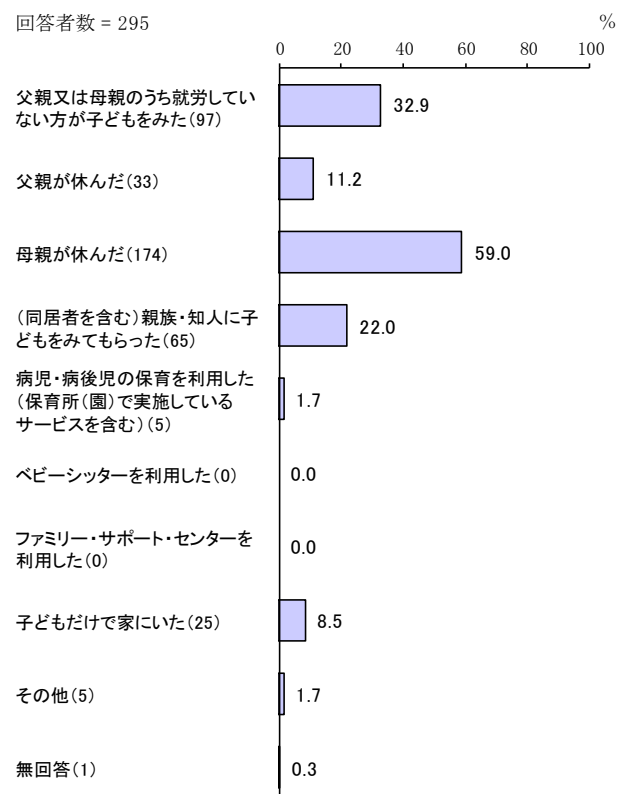
母親の就労状況別でみると、他に比べ、以前は就労していたが、現在は就労していないで「あった」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	120 100.0	75 62.5	45 37.5	— —
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2 100.0	— —	2 100.0	— —
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	206 100.0	145 70.4	61 29.6	— —
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3 100.0	— —	3 100.0	— —
以前は就労していたが、現在は就労していない	88 100.0	67 76.1	21 23.9	— —
これまで就労したことがない	7 100.0	2 28.6	5 71.4	— —

問27－１ お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この１年間に行った対応として当てはまる記号に○をつけ、それぞれのおおよその日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）（複数回答可）。

「母親が休んだ」の割合が59.0%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が32.9%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が22.0%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、6歳（1年生）で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が、7歳（2年生）で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった （同居者を含む）親族・知人に	病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施している サービスを含む）	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	子どもだけで家にいた	その他	無回答
6歳（1年生）	45 100.0	19 42.2	6 13.3	27 60.0	6 13.3	3 6.7	— —	— —	1 2.2	1 2.2	— —
7歳（2年生）	50 100.0	15 30.0	7 14.0	34 68.0	9 18.0	1 2.0	— —	— —	3 6.0	— —	— —
8歳（3年生）	76 100.0	27 35.5	7 9.2	44 57.9	17 22.4	1 1.3	— —	— —	7 9.2	1 1.3	— —
9歳（4年生）	63 100.0	15 23.8	9 14.3	37 58.7	19 30.2	— —	— —	— —	7 11.1	1 1.6	1 1.6
10歳（5年生）	54 100.0	17 31.5	3 5.6	28 51.9	12 22.2	— —	— —	— —	7 13.0	2 3.7	— —
11歳（6年生）	2 100.0	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した（保育所（園）で実施しているサービスを含む）	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	子どもだけで家にいた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	75 100.0	2 2.7	16 21.3	63 84.0	23 30.7	2 2.7	— —	— —	9 12.0	4 5.3	— —
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	— 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	145 100.0	29 20.0	14 9.7	102 70.3	38 26.2	2 1.4	— —	— —	15 10.3	1 0.7	— —
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	— 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
以前は就労していたが、現在は就労していない	67 100.0	63 94.0	2 3.0	3 4.5	3 4.5	1 1.5	— —	— —	1 1.5	— —	1 1.5
これまで就労したことがない	2 100.0	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【1年間の対応日数】

単位：件（上段）、％（下段）

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 15日	16日 ～ 20日	21日 以上	無回答
ア 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	97 100.0	18 18.6	12 12.4	12 12.4	5 5.2	12 12.4	26 26.8	4 4.1	1 1.0	1 1.0	6 6.2
イ 父親が休んだ	33 100.0	14 42.4	8 24.2	3 9.1	— —	4 12.1	2 6.1	— —	— —	— —	2 6.1
ウ 母親が休んだ	174 100.0	34 19.5	30 17.2	39 22.4	12 6.9	24 13.8	20 11.5	4 2.3	— —	2 1.1	9 5.2
エ（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	65 100.0	15 23.1	18 27.7	15 23.1	— —	5 7.7	7 10.8	— —	2 3.1	1 1.5	2 3.1
オ 病児・病後児の保育を利用した（保育所（園）で実施しているサービスを含む）	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
カ ベビーシッターを利用した	— 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	— 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
ク 子どもだけで家にいた	25 100.0	8 32.0	8 32.0	4 16.0	— —	2 8.0	1 4.0	— —	1 4.0	— —	1 4.0

問27-1で「イ. 父親が休んだ」「ウ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

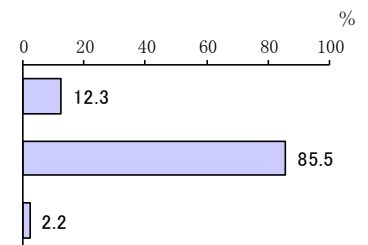
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が12.3%、「子どものためには利用したいとは思わない」の割合が85.5%となっています。

回答者数 = 179

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい(22)

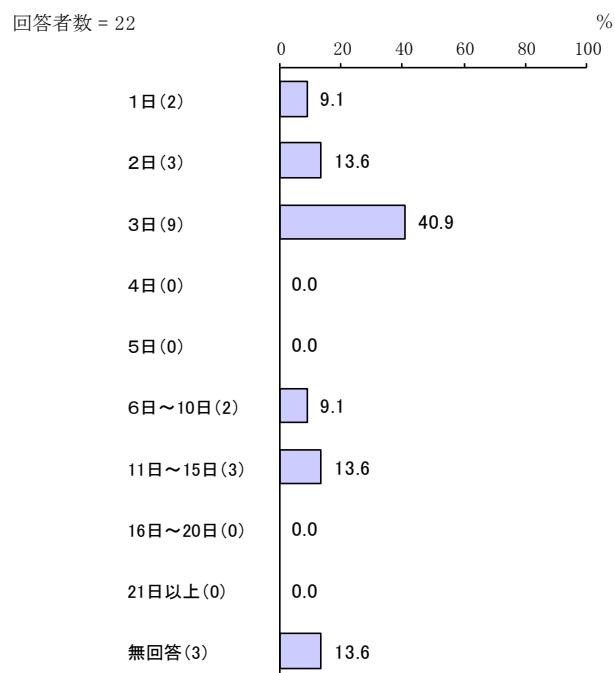
子どものためには利用したいとは思わない(153)

無回答(4)



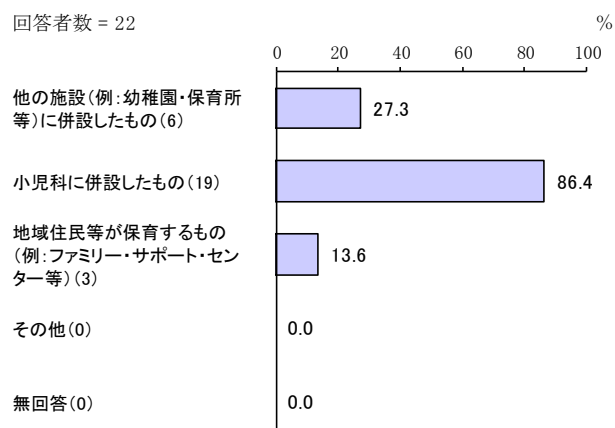
病児・病後児保育を利用したい日数

「3日」の割合が40.9%と最も高く、次いで「2日」、「11日～15日」の割合が13.6%となっています。



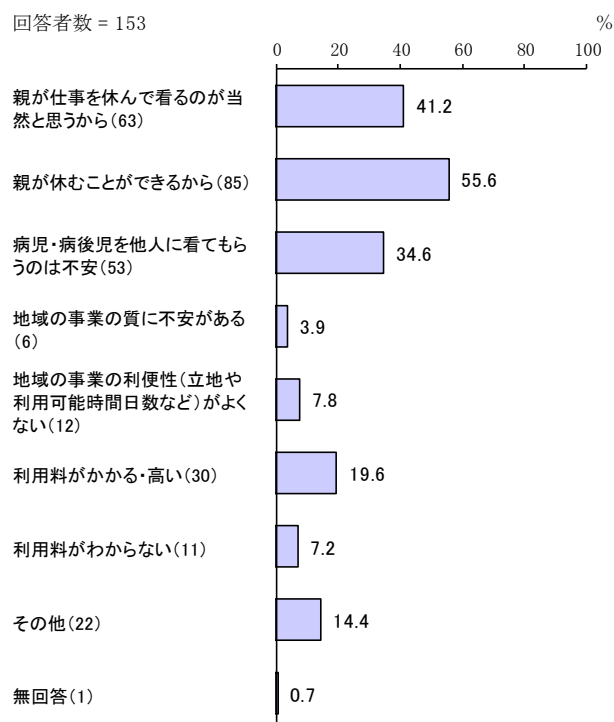
問27-3 問27-2で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「小児科に併設したもの」の割合が86.4%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が27.3%、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が13.6%となっています。



問27-4 問27-2で「子どものためには利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

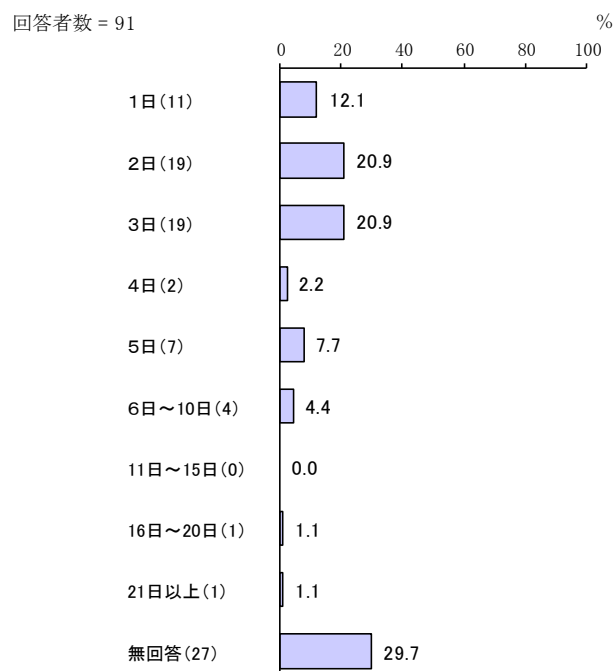
「親が休むことができるから」の割合が55.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで看るのが当然と思うから」の割合が41.2%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が34.6%となっています。



問27-1で「エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問27-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。

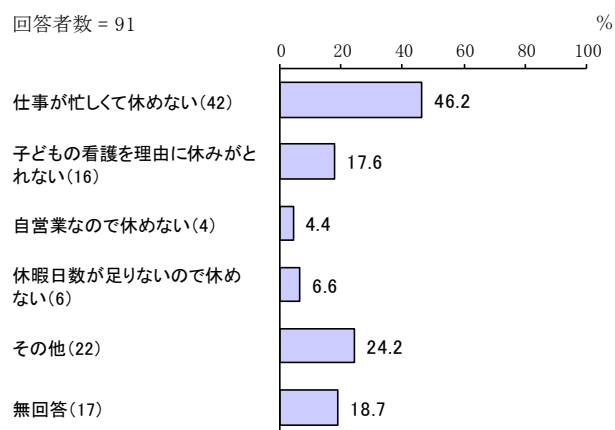
「2日」、「3日」の割合が20.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が12.1%となっています。



問27－6 休んで看ることができなかった理由について当てはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

「仕事が忙しくて休めない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 91

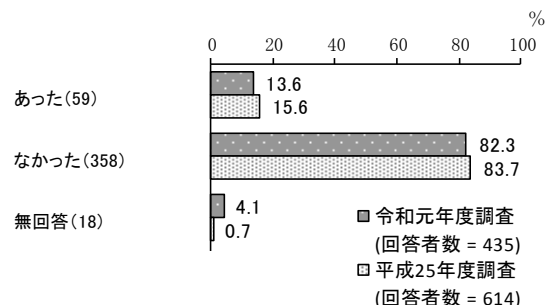


(7) 宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 28 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）（複数回答可）。

「あった」の割合が13.6%、「なかった」の割合が82.3%となっています。

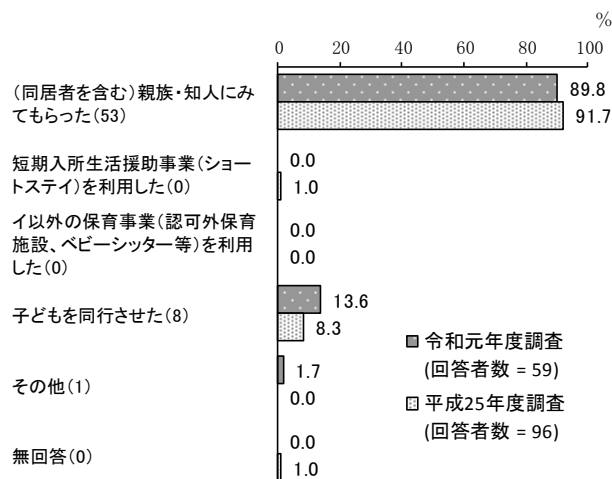
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 あった（内訳）

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が89.8%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」の割合が13.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもを同行させた」の割合が増加しています。



【１年間の対応日数】

単位：件（上段）、％（下段）

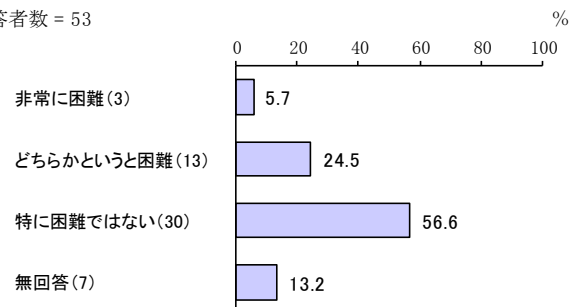
区分	有効回答数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 15泊	16泊 ～ 20泊	21泊 以上	無回答
ア（同居者を含む）親族・知人に みてもらった	53 100.0	13 24.5	10 18.9	4 7.5	5 9.4	5 9.4	10 18.9	— —	3 5.7	1 1.9	2 3.8
イ 短期入所生活援助事業 （ショートステイ）を利用した	— 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ウ 短期入所生活援助事業以外の 保育事業（認可外保育施設、 ベビーシッター等）を利用した	— 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
エ 子どもを同行させた	8 100.0	2 25.0	1 12.5	—	—	1 12.5	3 37.5	1 12.5	—	—	—
オ その他	1 100.0	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 28 で「１ あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問28－１ その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が56.6％と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が24.5％となっています。

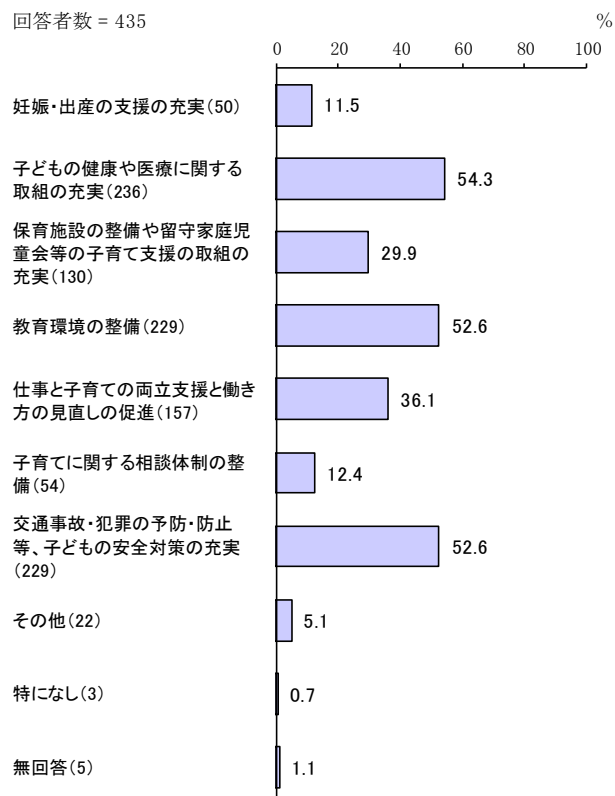
回答者数 = 53



(8) 子育て支援対策全般

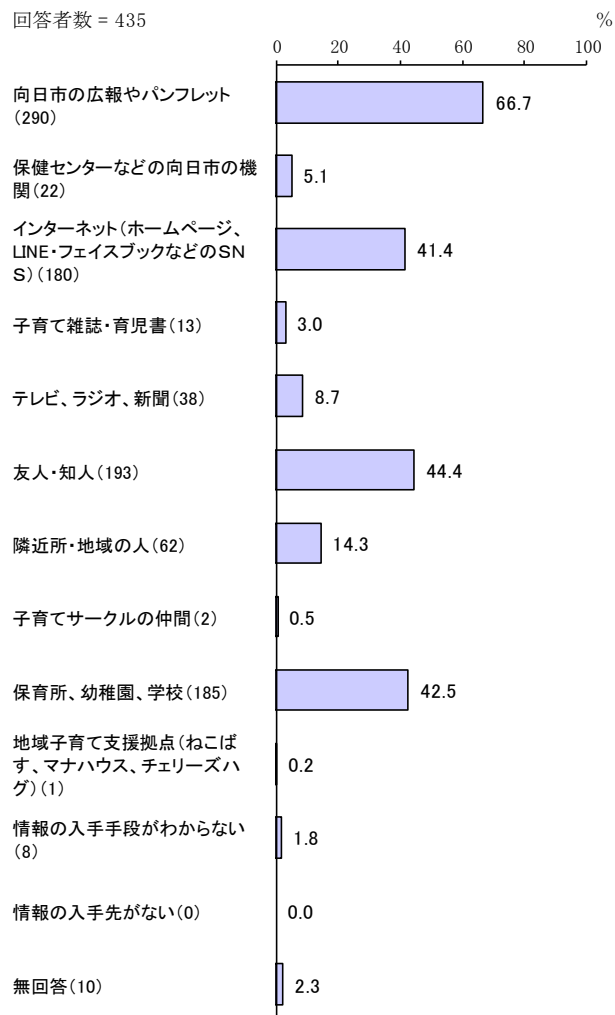
問 29 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(3つまで)

「子どもの健康や医療に関する取組の充実」の割合が54.3%と最も高く、次いで「教育環境の整備」、「交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実」の割合が52.6%となっています。



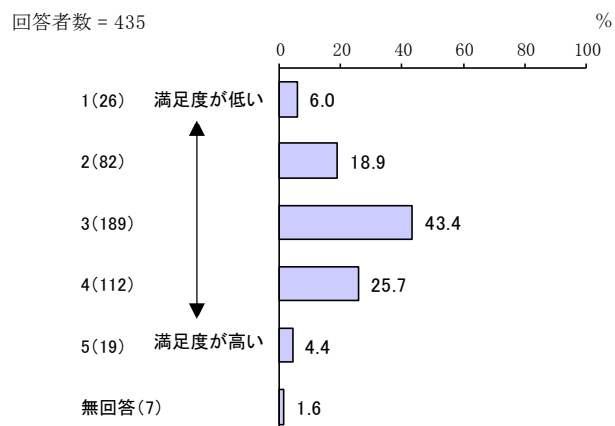
問 30 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。

「向日市の広報やパンフレット」の割合が66.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が44.4%、「保育所、幼稚園、学校」の割合が42.5%となっています。



問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

「3」の割合が43.4%と最も高く、次いで「4」の割合が25.7%、「2」の割合が18.9%となっています。



Ⅳ 自由意見

1 就学前児童保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計471件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は下記のとおりになります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

大分類	中分類	小分類	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	3年保育・受け入れの充実について	保育園等の延長保育	1
		幼稚園の預かり保育の充実	6
	施設整備について	幼稚園の増設	2
		保育所の増設	19
		待機児童の解消	24
		設備の充実	3
	夜間・休日、長期休暇の受け入れ	長期休暇の預け入れ	2
	保育料金・条件について	保育料金見直し	23
		幼稚園・保育園・認定こども園の入園条件見直し	35
	その他	幼稚園・保育園・認定こども園の園庭の開放	1
		園バスの実施	2
		保育士について	16
		その他	8
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	教育内容の充実と見直し	5
		教員体制の充実	1
		登下校時の安全確保	9
		老朽校舎の改修	5
		いじめ問題	1
		校庭の開放	1
		給食について	2
		PTA・子供会について	3
		その他	5
	児童館・学童クラブについて	休日・長期休暇中の実施	4
		利用条件見直し	4
		実施施設の増設	21
		その他	8

大分類	中分類	小分類	件数
3. 子育て支援全般について	地域子育てセンター、広場について	地域子育て支援拠点事業の充実	12
		イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	6
		その他	1
	その他の子育て支援サービスについて	病児・病後児保育事業の充実	13
		障害児への支援充実	7
		一時預かり事業の充実	6
		児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	6
		その他	1
	子育てに関する情報について	子育て支援に関する情報の充実	19
		子育てに関する相談先の充実	5
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園、遊び場等	68
		防犯、不審者、外灯	5
		防災（地震、火災、水害等）	3
		公共施設（図書館、プール、体育館、公民館等	8
		道路施設	26
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	21
		健診の充実	11
	地域のつながり、協力等について		5
	その他		5
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について		5
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について		3
	その他		1
6. その他	市政について		15
	アンケートについて		7
	その他		1

2 小学校児童保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計227件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は下記のとおりになります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

大分類	中分類	小分類	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	施設整備について	保育所の増設	1
		待機児童の解消	1
	保育料金・条件について	保育料金見直し	2
		幼稚園・保育園・認定こども園の入園条件見直し	1
	その他	保育士について	2
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	教育内容の充実と見直し	7
		教員体制の充実	13
		登下校時の安全確保	3
		老朽校舎の改修	10
		いじめ問題	1
		校庭の開放	1
		給食について	3
		P T A 関連・子ども会について	6
		その他	7
	児童館・学童クラブについて	休日・長期休暇中の実施	2
		利用料見直し	1
		実施施設の増設	3
		設備の充実について	6
		その他	5
3. 子育て支援全般について	地域子育てセンター、広場について	地域子育て支援拠点事業の充実	2
		イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	3
	その他の子育て支援サービスについて	病児・病後児保育事業の充実	4
		障害児への支援充実	5
		一時預かり事業の充実	4
		児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	13
	子育てに関する情報について	子育て支援に関する情報の充実	4
		子育てに関する相談先の充実	3

大分類	中分類	小分類	件数
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園、遊び場等	23
		防犯、不審者、外灯	15
		公共施設（図書館、プール、体育館、公民館等	6
		道路施設	10
		その他	2
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	24
		健診の充実	1
	地域のつながり、協力等について		6
	その他		3
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について		7
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について		2
	その他		1
6. その他	市政について		9
	その他		5